

鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事

令和 7 年 10 月

株式会社 栗本設計事務所

建築				構造				電気設備							
図面No	図面	縮尺(A1)	図面No	図面	縮尺(A1)	図面No	図面	縮尺(A1)	図面No	図面	縮尺(A1)	図面No	図面	縮尺(A1)	図面No
		縮尺(A3)			縮尺(A3)			縮尺(A3)			縮尺(A3)			縮尺(A3)	
A-1	図面リスト	NON	A-39	改修 矩計図(1)	S=1/50 S=1/100	S- 1	構造設計標準仕様	NON	E- 1	電気設備特記仕様書	NON				
A-2	改修工事特記仕様書(1)	NON	A-40	改修 矩計図(2)	S=1/50 S=1/100	S- 2	鉄骨構造標準図(1)	NON	E- 2	照明器具姿図(改修前・改修後)	NON				
A-3	改修工事特記仕様書(2)	NON	A-41	B1階・1階・2階建具伏図	S=1/400	S- 3	鉄骨構造標準図(2)	NON	E- 3	照明設備 B1階平面図	S=1/100 S=1/200				
A-4	改修工事特記仕様書(3)	NON	A-42	既存 建具表(1)	S=1/50 S=1/100	S- 4	梁伏図・軸組図	S=1/100 S=1/200	E- 4	照明設備 1階平面図	S=1/100 S=1/200				
A-5	改修工事特記仕様書(4)	NON	A-43	既存 建具表(2)	S=1/100	S- 5	鉄骨部材リスト・鉄骨詳細図	S=1/30 S=1/60	E- 5	照明設備 2階平面図	S=1/100 S=1/200				
A-6	改修工事特記仕様書(5)	NON	A-44	改修 建具表(1)	S=1/50 S=1/100	S- 6	既存カーテンウォール受け梁下伏図(参考図)	S=1/150 S=1/300							
A-7	改修工事特記仕様書(6)	NON	A-45	改修 建具表(2)	S=1/50 S=1/100	S- 7	既存トス梁下弦材レベル伏図(参考図)	S=1/150 S=1/300							
A-8	改修工事特記仕様書(7)	NON	A-46	部分詳細図(1)	S=1/5 S=1/10	S- 8	既存トス梁上弦材レベル伏図(参考図)	S=1/150 S=1/300							
A-9	改修工事特記仕様書(8)	NON	A-47	部分詳細図(2)	S=1/5 S=1/10	S- 9	既存鉄骨部材リスト	NON							
A-10	改修工事特記仕様書(9)	NON	A-48	改修 外構詳細図(1)	図示 図示										
A-11	改修工事特記仕様書(10)	NON	A-49	改修 外構詳細図(2)	図示 図示										
A-12	配置図・付近見取図	S=1/750 S=1/1500	A-50	改修 外構詳細図(3)	図示 図示										
A-13	B1階平面図	S=1/100 S=1/200	A-51	北側外壁劣化部調査図	S=1/100 S=1/200										
A-14	1階平面図	S=1/100 S=1/200	A-52	東側外壁劣化部調査図	S=1/100 S=1/200										
A-15	2階平面図	S=1/100 S=1/200	A-53	南側外壁劣化部調査図	S=1/100 S=1/200										
A-16	屋根伏図	S=1/100 S=1/200	A-54	西側外壁劣化部調査図	S=1/100 S=1/200										
A-17	改修工事概要・外部仕上表	NON	A-55	外構劣化部調査図(1)	S=1/100 S=1/200										
A-18	室内仕上表	NON	A-56	外構劣化部調査図(2)	S=1/100 S=1/200										
A-19	既存 北側立面図	S=1/100 S=1/200	A-57	仮設計画図	S=1/400 S=1/800										
A-20	既存 東側立面図	S=1/100 S=1/200													
A-21	既存 南側立面図	S=1/100 S=1/200													
A-22	既存 西側立面図	S=1/100 S=1/200													
A-23	改修 北側立面図	S=1/100 S=1/200													
A-24	改修 東側立面図	S=1/100 S=1/200													
A-25	改修 南側立面図	S=1/100 S=1/200													
A-26	改修 西側立面図	S=1/100 S=1/200													
A-27	改修 B1階天井伏図	S=1/100 S=1/200													
A-28	改修 1階天井伏図	S=1/100 S=1/200													
A-29	改修 2階天井伏図	S=1/100 S=1/200													
A-30	既存・改修 女子更衣室2 平面詳細図・展開図	S=1/50 S=1/100													
A-31	既存・改修 展開図(1)	S=1/50 S=1/100													
A-32	既存・改修 展開図(2)	S=1/50 S=1/100													
A-33	既存・改修 展開図(3)	S=1/50 S=1/100													
A-34	既存・改修 展開図(4)	S=1/50 S=1/100													
A-35	既存・改修 展開図(5)	S=1/50 S=1/100													
A-36	既存・改修 展開図(6)	S=1/50 S=1/100													
A-37	既存 矩計図(1)	S=1/50 S=1/100													
A-38	既存 矩計図(2)	S=1/50 S=1/100													

記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和7年 10月日	図面No.	縮尺	(株)栗本設計事務所		〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25
	図面	図面リスト				A-01	A1 NON A3 NON	-級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878		

建築改修工事特記仕様書【令和7年4月版】			
I 工事概要	1 工事名称 鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事 2 工事場所 山形県鶴岡市大岩川地内 3 用途地域等 都市計画区域 (内・外) 用途地域 (第2種住居地域) 防火域 (・防火・準防火) 指定なし (22条)	4 主要用途 中学校(体育館) 5 敷地面積 51133.10 m ² 6 工事の概要 1. 屋内体育館棟の外部改修工事 2. 屋内体育館棟の一部内部改修工事 3. 外構改修工事	上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること
7 別途工事	8 その他	9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。 ・構造特記仕様書・外構工事特記仕様書 ・解体工事特記仕様書 ○電気設備工事特記仕様書 ・機械設備工事特記仕様書	
II 建築工事仕様	1. 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官房部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。 ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。	2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の< >、()及び[]内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
一般共通事項	1. 一般事項 ○工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○受注者は、監督職員と隨時打合せを行い、工程の確認、調整及び工事の円滑な進捗をはかる。 ○施工体系図を現場に掲示すること。 ・工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 ※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月(東京都建設局編集)による ※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること 調査範囲 ※図示	2. 適用基準等 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官房部監修 令和4年版) ○建築工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官房部監修 令和5年版)及び工事写真撮影ガイドブック(国土交通省大臣官房官房部監修 令和5年版)	
3. 概工期	工事工期より 日前 <1.2.1>	4. 工事実績情報(CORINS)の登録 ※適用する(請負精算額が500万円以上の場合) <1.1.4> 受注時、変更時及び工事完成時に	

屋根露出防水(既存) 新設防水層の種別						
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	断熱材	備考	
種類	使用量					
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	・製造所の仕様	※製造所の仕様			
・M3D	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無		
・POD1	・DI-1 ・M3D1 ・M4D1	・製造所の仕様	※製造所の仕様	※3.3.2(9) 種類 厚さ	脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無	

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ ()mm以上

絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示による

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

(個)

屋根防水

改修工法	種別	施工箇所
・PIE	・E-1	
・P2E	・E-2	

保護層 ①設ける(※図示による)

②設けない

E-1の工程3を行う部位

※貯水槽、浴室等常時水に接する部位

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

屋上排水溝

※図示による

屋根露出防水(既存)
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	断熱材	備考	
種類	使用量					
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	・製造所の仕様	※製造所の仕様			
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1	・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無		
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3	・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無		
・M4ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1	・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.4.2(3)カ 脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無 防湿層 ・有・無		

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ ()mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ ()mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

(個)

新設防水層の種別						
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	断熱材	備考	
種類	使用量					
・S-F1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ①有・無 改修用ドレン ②有・無		
・S-F2		・製造所の仕様	※製造所の仕様			
・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様			
・S-M2	屋上	・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無		
・S-F1	・プレキシト シート下地	・製造所の仕様	※製造所の仕様			
・S-F2	・プレキシト シート下地	・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無		
・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様			
・S-M2		・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無		
・S-F1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無		
・S-F2		・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無		
・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無		
・S-M2		・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無		

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分

※R種

厚さ ()mm以上

絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示による

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

(個)

屋根防水

改修工法	種別	施工箇所
・E-1		
・E-2		

保護層 ①設ける(※図示による)

②設けない

E-1の工程3を行う部位

※貯水槽、浴室等常時水に接する部位

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

屋上排水溝

※図示による

屋根露出防水(既存)
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	断熱材	備考	
種類	使用量					
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	・製造所の仕様	※製造所の仕様			
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1	・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無		
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3	・製造所の仕様	※製造所の仕様	脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無		
・M4ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1	・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.4.2(3)カ 脱気装置 ・有・無 改修用ドレン ・有・無 防湿層 ・有・無		

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	2. 欠損部改修工法	<ul style="list-style-type: none"> ・シーリング材 充填材の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 <table border="1"> <tr><td>工法の種類</td><td>ひび割れ幅 (mm)</td><td>注入量 (mL/m)</td><td>延べ長さ (m)</td></tr> <tr><td>・バテ状エポキシ樹脂</td><td>0.2未満</td><td>図示による</td><td></td></tr> <tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>0.2未満</td><td>図示による</td><td></td></tr> </table>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)	・バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	図示による		・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による		2. ひび割れ部改修工法	<table border="1"> <tr><td>・樹脂注入法</td><td colspan="4"><4. 1. 4><4. 5. 6></td></tr> <tr><td>工法の種類</td><td>ひび割れ幅 (mm)</td><td>注入間隔 (mm)</td><td>注入量 (mL/m)</td><td>延べ長さ (m)</td></tr> <tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~1.0未満</td><td>※200~300</td><td>・130</td><td>図示による</td></tr> <tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~0.3未満</td><td>50~100</td><td>・40</td><td></td></tr> <tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上~0.5未満</td><td>100~200</td><td>・70</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>0.5以上~1.0未満</td><td>150~250</td><td>・130</td><td></td></tr> </table>		・樹脂注入法	<4. 1. 4><4. 5. 6>				工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130	図示による	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70			0.5以上~1.0未満	150~250	・130		<ul style="list-style-type: none"> 注入状況の確認方法 ※コアの抜取りを行う 抜取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個 抜取り部の補修方法 ※図示による 		<4. 1. 4><4. 3. 9. 10>	<table border="1"> <tr><td>材料</td><td>平均深さ (mm)</td><td>平均広さ (m)</td><td>延べ箇所数</td></tr> <tr><td>・ポリマーセメントモルタル</td><td>5~10未満</td><td>図示による</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>10~15未満</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>15~20未満</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>20~25未満</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>25~30未満</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・エポキシ樹脂モルタル</td><td>30~35未満</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>35~40未満</td><td></td><td></td></tr> </table>	材料	平均深さ (mm)	平均広さ (m)	延べ箇所数	・ポリマーセメントモルタル	5~10未満	図示による			10~15未満				15~20未満				20~25未満				25~30未満			・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満				35~40未満		
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)																																																																																
・バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	図示による																																																																																	
・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による																																																																																	
・樹脂注入法	<4. 1. 4><4. 5. 6>																																																																																		
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)																																																																															
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130	図示による																																																																															
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																																																
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																																																
	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																																																
材料	平均深さ (mm)	平均広さ (m)	延べ箇所数																																																																																
・ポリマーセメントモルタル	5~10未満	図示による																																																																																	
	10~15未満																																																																																		
	15~20未満																																																																																		
	20~25未満																																																																																		
	25~30未満																																																																																		
・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満																																																																																		
	35~40未満																																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・モルタル塗替え工法 材料 ・現場調合材料 ・既調合材料 ・現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による) ・既調合材料 () 			<ul style="list-style-type: none"> 既製目地材 ・使用する (形状 図示による) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による 																																																																																
3. 浮き部改修工法	3. 欠損部改修工法	<ul style="list-style-type: none"> ・タイル張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル 施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所 		<table border="1"> <tr><td>・タイル張替え工法</td><td colspan="4"><4. 1. 4><4. 4. 5. 7、8></td></tr> <tr><td>接着剤の種類</td><td>・ポリマーセメントモルタル</td><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・タイル張替え工法	<4. 1. 4><4. 4. 5. 7、8>				接着剤の種類	・ポリマーセメントモルタル	施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所			施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・タイル張替え工法 張替え用材料 ・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル (・現場調合材料 既調合モルタル) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書4. 4. 2による 																																																														
・タイル張替え工法	<4. 1. 4><4. 4. 5. 7、8>																																																																																		
接着剤の種類	・ポリマーセメントモルタル	施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																	
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 		<table border="1"> <tr><td>・伸縮調整目地その他の目地</td><td colspan="4"><4. 1. 4><4. 4. 5. 7、8></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・伸縮調整目地その他の目地	<4. 1. 4><4. 4. 5. 7、8>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。 																																																																					
・伸縮調整目地その他の目地	<4. 1. 4><4. 4. 5. 7、8>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
4. 浮き部改修工法	4. 浮き部改修工法	<ul style="list-style-type: none"> ・目地改修工法 		<table border="1"> <tr><td>・目地ひび割れ部改修工法</td><td colspan="4"><4. 1. 4><4. 4. 5. 16></td></tr> <tr><td>・伸縮調整目地改修工法</td><td colspan="4">伸縮調整目地の位置及び寸法</td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・目地ひび割れ部改修工法	<4. 1. 4><4. 4. 5. 16>				・伸縮調整目地改修工法	伸縮調整目地の位置及び寸法				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> シーリングは、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による。 																																																														
・目地ひび割れ部改修工法	<4. 1. 4><4. 4. 5. 16>																																																																																		
・伸縮調整目地改修工法	伸縮調整目地の位置及び寸法																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・目地改修工法 		<table border="1"> <tr><td>・目地改修工法</td><td colspan="4"><4. 1. 4><4. 4. 5. 16></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・目地改修工法	<4. 1. 4><4. 4. 5. 16>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> シーリングは、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による。 																																																																					
・目地改修工法	<4. 1. 4><4. 4. 5. 16>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	<ul style="list-style-type: none"> ・既存塗膜等の除去 ・下地処理及び下地調整 		<table border="1"> <tr><td>・既存塗膜等の除去</td><td colspan="4"><4. 5. 4></td></tr> <tr><td>・下地処理及び下地調整</td><td colspan="4"></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・既存塗膜等の除去	<4. 5. 4>				・下地処理及び下地調整					施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・既存塗膜等の除去 ・下地処理及び下地調整 																																																														
・既存塗膜等の除去	<4. 5. 4>																																																																																		
・下地処理及び下地調整																																																																																			
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・下地調整塗材 		<table border="1"> <tr><td>・下地調整塗材</td><td colspan="4"><4. 5. 2></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・下地調整塗材	<4. 5. 2>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・下地調整塗材 																																																																					
・下地調整塗材	<4. 5. 2>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	4. 浮き部改修工法	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上塗材仕上げ 		<table border="1"> <tr><td>・仕上塗材仕上げ</td><td colspan="4"><4. 1. 5><4. 5. 2><表4. 5. 1></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・仕上塗材仕上げ	<4. 1. 5><4. 5. 2><表4. 5. 1>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・新規仕上塗材の種類 																																																																			
・仕上塗材仕上げ	<4. 1. 5><4. 5. 2><表4. 5. 1>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・薄付け仕上塗材 		<table border="1"> <tr><td>・薄付け仕上塗材</td><td colspan="4"><4. 1. 5><4. 5. 2><表4. 5. 1></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・薄付け仕上塗材	<4. 1. 5><4. 5. 2><表4. 5. 1>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・新規仕上塗材の種類 																																																																					
・薄付け仕上塗材	<4. 1. 5><4. 5. 2><表4. 5. 1>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
5. 建具改修工事	1. 改修工法	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工法 		<table border="1"> <tr><td>・建具の種類</td><td colspan="4"><5. 1. 3></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・建具の種類	<5. 1. 3>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・改修工法 																																																																			
・建具の種類	<5. 1. 3>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・外壁用塗膜防水材塗り 		<table border="1"> <tr><td>・外壁用塗膜防水材塗り</td><td colspan="4"><4. 1. 5><4. 7. 2. 3><表4. 7. 1></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・外壁用塗膜防水材塗り	<4. 1. 5><4. 7. 2. 3><表4. 7. 1>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・外壁用塗膜防水材塗り 																																																																					
・外壁用塗膜防水材塗り	<4. 1. 5><4. 7. 2. 3><表4. 7. 1>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
5. 建具改修工事	2. 防火戸	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工法 		<table border="1"> <tr><td>・建具の種類</td><td colspan="4"><5. 1. 3></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・建具の種類	<5. 1. 3>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・改修工法 																																																																			
・建具の種類	<5. 1. 3>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・建具周囲のシーリング 		<table border="1"> <tr><td>・建具周囲のシーリング</td><td colspan="4"><5. 1. 4></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・建具周囲のシーリング	<5. 1. 4>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・建具周囲のシーリング 																																																																					
・建具周囲のシーリング	<5. 1. 4>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
5. 建具改修工事	3. 見本の製作等	<ul style="list-style-type: none"> ・見本の製作等 		<table border="1"> <tr><td>・見本の製作等</td><td colspan="4"><5. 1. 5></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・見本の製作等	<5. 1. 5>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・見本の製作等 																																																																			
・見本の製作等	<5. 1. 5>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯建物部品 		<table border="1"> <tr><td>・防犯建物部品</td><td colspan="4"><5. 1. 7></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・防犯建物部品	<5. 1. 7>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・防犯建物部品 																																																																					
・防犯建物部品	<5. 1. 7>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
5. 建具改修工事	4. 防犯建物部品	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯建物部品 		<table border="1"> <tr><td>・防犯建物部品</td><td colspan="4"><5. 1. 7></td></tr> <tr><td>施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所</td><td colspan="4"></td></tr> </table>		・防犯建物部品	<5. 1. 7>				施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所					<ul style="list-style-type: none"> ・防犯建物部品 																																																																			
・防犯建物部品	<5. 1. 7>																																																																																		
施工数量： 平均広さ () m 延べ箇所数 () 箇所																																																																																			
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	2. 欠損部改修工法	<ul style="list-style-type: none"> ・シーリング材 充填材の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 <table border="1"> <tr><td>工法の種類</td><td>ひび割れ幅 (mm)</td><td>注入量 (mL/m)</td><td>延べ長さ (m)</td></tr> <tr><td>・バテ状エポキシ樹脂</td><td>0.2未満</td><td>図示による</td><td></td></tr> <tr><td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>0.2未満</td><td>図示による</td><td></td></tr> </table>		工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)	・バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	図示による		・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による		<table border="1"> <tr><td>・樹脂注入法</td><td colspan="4"><4. 1. 4><4. 5. 6></td></tr> <tr><td>工法の種類</td><td>ひび割れ幅 (mm)</td><td>注入間隔 (mm)</td><td>注入量 (mL/m)</td><td>延べ長さ (m)</td></tr> <tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~1.0未満</td><td>※200~300</td><td>・130</td><td>図示による</td></</tr></table>	・樹脂注入法	<4. 1. 4><4. 5. 6>				工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130	図示による																																																				
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)																																																																																
・バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	図示による																																																																																	
・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	図示による																																																																																	
・樹脂注入法	<4. 1. 4><4. 5. 6>																																																																																		
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)																																																																															
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130	図示による																																																																															

20. ガラス ブロック積み	○複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ○建具表による 断熱性による区分 ・T1 · T2 ○T3 · T4 · T5 · T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ○G 乾燥気体の種類 ・空気 ○アルゴン ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による ・ 日射熱遮へい性による区分 ・1種 · 2種 · 3種 耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合） ・A類 · B類 ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による					
	ガラスの留め材及び溝の大きさ	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)			
	建具の種類	○シーリング材 ・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による			
	アルミニウム製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による			
	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による			
	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による			
	樹脂製	・グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・図示による			
	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地	防火性能
	・160 × 160	・95				
	・200 × 200	・95				
21. ガラス用 フィルム	壁用金属枠及び補強材 ※図示による					
	力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)					
	寸法 ※径5.5mm					
	形状 ※はしご形状複筋及び単筋					
	化粧目地モルタルの色 (・白 · グレー) シーリングの種類 (・SR-1 · PS-1)					
	金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製					
	寸法 ※図示による					
	形状 ※図示による					
	目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による					
	品質は、JIS A 5759による。					

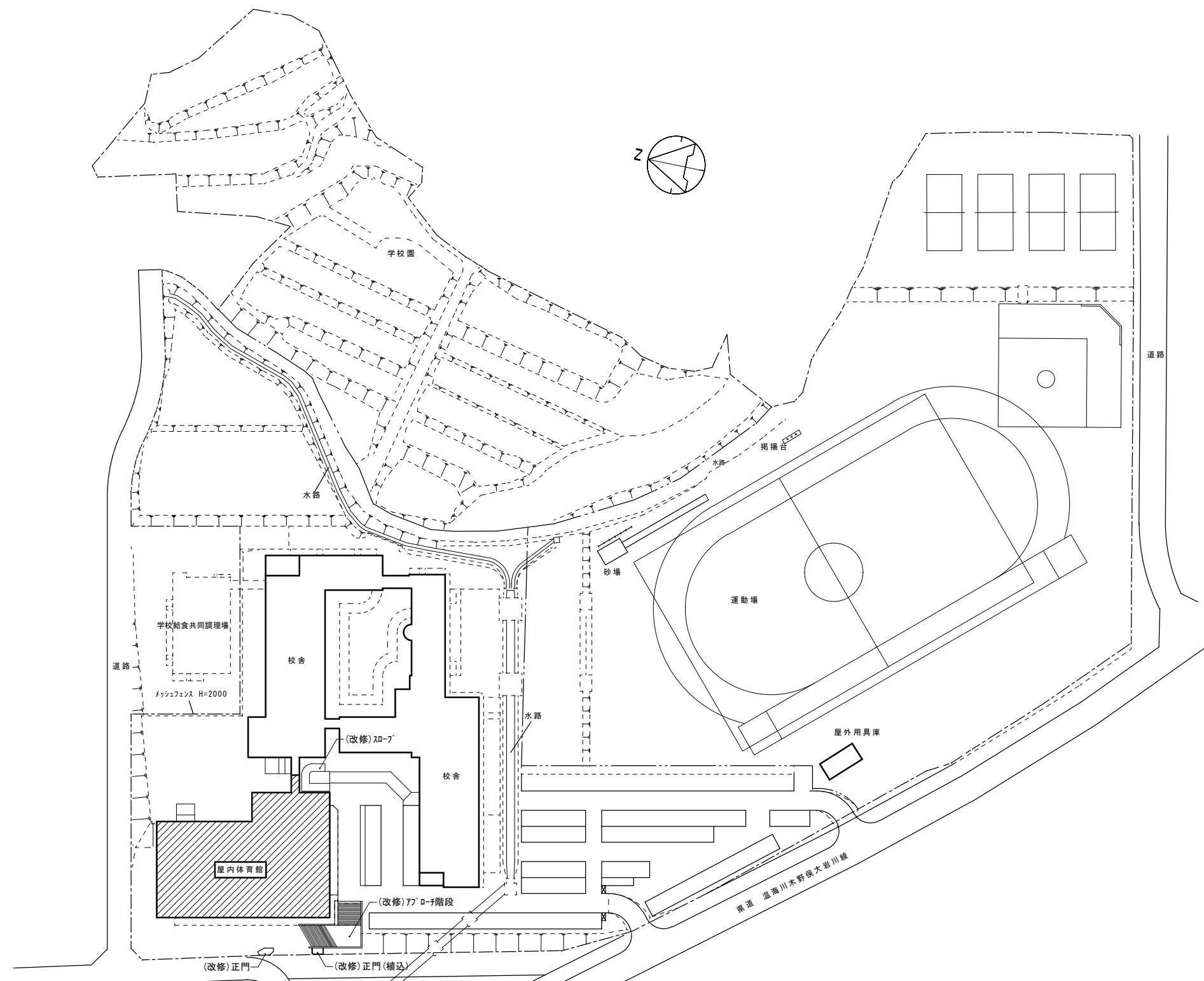
6 内 装 改 修 工 事	① 改修範囲 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示による ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ (接着剤とも) ・下地モルタル等 (・図示による ・除去範囲全て) 合成樹脂塗材の除去工法 ・機械的除去工法 ・自荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエボキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示による ○工事対象室内全て 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (全塗厚が25mmを超える場合の処置) ※図示による 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (a) (b)による ・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 ※2級 ※2級 ※A種 · B種 · ※A種 · B種 ·	7. 造作用単板 積層材 ・ JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理 ・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない ・ JAS 0701 以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 ※14%以下 ※14%以下 ・適用する ・適用しない ・ JAS 3079 に基づく直交集成板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) ・ JAS 0701 に基づく合板の日本農林規格による普通合板 施工箇所 厚さ (mm) 单板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 壁 5.5 しな ※1類 · 2類 広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・適用する ○適用しない ・ JAS 3079 に基づく合板の日本農林規格による構造用合板 施工箇所 等級 单板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 强度等級 ※2級以上 · 1級 ※1類 · 特類 ※C-D以上 ※12 ・適用する ・適用しない ・ JAS 3079 に基づく合板の日本農林規格による化粧ぱり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 单板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ・1類 · 特類 · 適用する ・適用しない ・ JAS 3079 に基づく合板の日本農林規格による天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する单板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 ・1類 · 2類 · 適用する ・適用しない ・ JAS 3079 に基づく合板の日本農林規格による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 单板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ・1類 · 2類 · 適用する ・適用しない ・ パーティクルボード 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) ※13タイプ ※P又はM ※15 ・ JAS 0360 に基づく構造用パネル 施工箇所 寸法 (mm) ・ MDF 施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 ・ MDF 施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 ・ 作成材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) ・材質 : 寸法 : 材質 : ・ F0A (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル) ・ 帯電防止床シート 種類 () 性能 () 厚さ (mm) () ・ 帯電防止床タイル 種類 () 性能 () 寸法 (mm) () × () 厚さ (mm) () ・ 視覚障害者用床タイル ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類 () 形状 () ・ 耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ (mm) ()	12. 内部間仕切軸組及び床組み ・間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松 ・床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松 13. 窓、出入口その他 ・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※吊元桟、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 14. 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋外 ※25形 · 19形 屋内 ※19形 · 25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 ・図示による ・周辺部の端からの間隔 ・図示による 野縁の間隔 ・図示による 既存の埋込みインサート ・使用する あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積積成材等の単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400N程度 ・ () N ※行わない ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法) ※図示による ・天井のふところが3.0mを超える場合 (補強方法) ※図示による ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所) ※図示による (補強方法) ※図示による 15. 軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4(5)による 16. ビニル床シート 種類の記号 色柄 厚さ (mm) 備考 ※FS (複層ビニル床シート) ・無地 ・マーブル柄 ・柄物 接合部の処理 ※熱溶接工法 17. ビニル床タイル 種類の記号 色柄 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考 ※KT (コンポジションビニル床タイル) ・無地 ・柄物 ・ TT (单層ビニル床タイル) ・無地 ・柄物 ○FT (複層ビニル床タイル) ○無地 ○柄物 ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・無地 ・柄物 ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル) ・無地 ・柄物 18. 特殊機能床材 ・ 帯電防止床シート 種類
---------------------------------	--	--	---

7 塗装改修工事	5. 塗装	<p>7.5.2~7.12.2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○合成樹脂調 合ペイント 塗り(SOP)</td> <td>木部屋外 木部屋内 鉄鋼面 種類 ※1種・2種 ・クリヤラッカーペイント(CL)</td> <td>※B種 ※B種 ※B種 ※A種 ・A種 種類 ・A種 ・A種 種類 ・A種</td> <td>※A種 ※B種 ※B種・A種 ※B種 ・A種 種類 ・A種 ・A種 種類 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・耐候性塗料 塗り(DP)</td> <td>上塗り等級()級 上塗り等級()級 コンクリート面及び 押出成形セメント板面</td> <td>・A-1種 ・B-1種 ・C-1種</td> <td>・A種 ・A種 ・A種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・つや有合成 樹脂エマルション ペイント塗り</td> <td>コンクリート面等 屋内の木部 屋内の鉄鋼面 (EP-G)</td> <td>※B種 ※B種 ※B種 ※A種</td> <td>・A種 ・A種 ・A種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>○合成樹脂エマルションペイント塗り ・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)</td> <td>※B種 ※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>・A種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・ステイン塗り</td> <td>・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> <td>・B種 ・A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、せっこうゴム面、せっこうゴム面、その他の面)の塗替えの場合のしみ止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシートとする</p> <p>合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシートとする</p> <p>クリヤラッカーペイントA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する(着色剤:溶剤系着色剤・油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステイン塗りの工程等</p>	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	○合成樹脂調 合ペイント 塗り(SOP)	木部屋外 木部屋内 鉄鋼面 種類 ※1種・2種 ・クリヤラッカーペイント(CL)	※B種 ※B種 ※B種 ※A種 ・A種 種類 ・A種 ・A種 種類 ・A種	※A種 ※B種 ※B種・A種 ※B種 ・A種 種類 ・A種 ・A種 種類 ・A種	・耐候性塗料 塗り(DP)	上塗り等級()級 上塗り等級()級 コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種	・A種 ・A種 ・A種 ・A種	・つや有合成 樹脂エマルション ペイント塗り	コンクリート面等 屋内の木部 屋内の鉄鋼面 (EP-G)	※B種 ※B種 ※B種 ※A種	・A種 ・A種 ・A種 ・A種	○合成樹脂エマルションペイント塗り ・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)	※B種 ※B種	・A種 ・B種	・A種 ・A種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	※B種	・A種	・A種	・ステイン塗り	・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)			・木材保護塗料塗り(WP)	※B種	・A種	・B種 ・A種	1. 鉄筋	<p>8.2.1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">鉄筋の種類等</th> <th colspan="2">8.2.1</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※SD295</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		鉄筋の種類等		8.2.1		種類の記号	呼び径(mm)	備考		※SD295				※SD345				・				・			
塗装の種類	塗装面	工程																																																													
		塗替え	新規																																																												
○合成樹脂調 合ペイント 塗り(SOP)	木部屋外 木部屋内 鉄鋼面 種類 ※1種・2種 ・クリヤラッカーペイント(CL)	※B種 ※B種 ※B種 ※A種 ・A種 種類 ・A種 ・A種 種類 ・A種	※A種 ※B種 ※B種・A種 ※B種 ・A種 種類 ・A種 ・A種 種類 ・A種																																																												
・耐候性塗料 塗り(DP)	上塗り等級()級 上塗り等級()級 コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種	・A種 ・A種 ・A種 ・A種																																																												
・つや有合成 樹脂エマルション ペイント塗り	コンクリート面等 屋内の木部 屋内の鉄鋼面 (EP-G)	※B種 ※B種 ※B種 ※A種	・A種 ・A種 ・A種 ・A種																																																												
○合成樹脂エマルションペイント塗り ・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)	※B種 ※B種	・A種 ・B種	・A種 ・A種																																																												
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	※B種	・A種	・A種																																																												
・ステイン塗り	・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)																																																														
・木材保護塗料塗り(WP)	※B種	・A種	・B種 ・A種																																																												
鉄筋の種類等		8.2.1																																																													
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																													
※SD295																																																															
※SD345																																																															
・																																																															
・																																																															
<p>8.2.2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">鉄線の形状等</th> <th colspan="2">8.2.2</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶接金網</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		鉄線の形状等		8.2.2		種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	・溶接金網	・			・鉄筋格子	・																																																
鉄線の形状等		8.2.2																																																													
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																												
・溶接金網	・																																																														
・鉄筋格子	・																																																														
8 耐震改修工事	6. 地盤	<p>8.2.3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">鉄筋の継手等</th> <th colspan="2">8.2.3</th> </tr> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径(mm)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接・機械式継手</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		鉄筋の継手等		8.2.3		部位	継手方法	呼び径(mm)		柱、梁の主筋	※ガス圧接・機械式継手			耐力壁の鉄筋	・重ね継手			その他の鉄筋	・重ね継手																																										
鉄筋の継手等		8.2.3																																																													
部位	継手方法	呼び径(mm)																																																													
柱、梁の主筋	※ガス圧接・機械式継手																																																														
耐力壁の鉄筋	・重ね継手																																																														
その他の鉄筋	・重ね継手																																																														
<p>8.2.4</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">鉄筋の定着</th> <th colspan="2">8.2.4</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>方法</th> <th>呼び径</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・摩擦圧接接合</td> <td>・蝶合グラウト固定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・嵌合グラウト固定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		鉄筋の定着		8.2.4		種類	方法	呼び径		・摩擦圧接接合	・蝶合グラウト固定			・嵌合グラウト固定																																																	
鉄筋の定着		8.2.4																																																													
種類	方法	呼び径																																																													
・摩擦圧接接合	・蝶合グラウト固定																																																														
・嵌合グラウト固定																																																															
8 耐震改修工事	5. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)	<p>8.2.5</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)</th> <th colspan="2">8.2.5</th> </tr> <tr> <th>最小かぶり厚さ</th> <th>・図示による</th> <th>・</th> <th></th> </tr> <tr> <td>・軽量コンクリートを適用する場合</td> <td>・あり</td> <td>適用箇所()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐久性上不利な箇所がある場合(塗害等を受けるおそれのある部分等)</td> <td>・あり</td> <td>適用箇所()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)		8.2.5		最小かぶり厚さ	・図示による	・		・軽量コンクリートを適用する場合	・あり	適用箇所()		・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm				耐久性上不利な箇所がある場合(塗害等を受けるおそれのある部分等)	・あり	適用箇所()		・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm																																							
鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)		8.2.5																																																													
最小かぶり厚さ	・図示による	・																																																													
・軽量コンクリートを適用する場合	・あり	適用箇所()																																																													
・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm																																																															
耐久性上不利な箇所がある場合(塗害等を受けるおそれのある部分等)	・あり	適用箇所()																																																													
・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm																																																															
<p>8.2.6</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">6. 圧接完了後の試験</th> <th colspan="2">8.2.6</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>方法</th> <th>呼び径</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ねじ式鉄筋継手</td> <td>・端部ねじ加工継手</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・無機グラウト方式</td> <td>・モルタル充填式継手</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		6. 圧接完了後の試験		8.2.6		種類	方法	呼び径		・ねじ式鉄筋継手	・端部ねじ加工継手			・無機グラウト方式	・モルタル充填式継手																																																
6. 圧接完了後の試験		8.2.6																																																													
種類	方法	呼び径																																																													
・ねじ式鉄筋継手	・端部ねじ加工継手																																																														
・無機グラウト方式	・モルタル充填式継手																																																														
8 耐震改修工事	7. 機械式継手	<p>8.2.7</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">7. 機械式継手</th> <th colspan="2">8.2.7</th> </tr> <tr> <th>適用箇所</th> <th>・</th> <th>箇所</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		7. 機械式継手		8.2.7		適用箇所	・	箇所		・	・	・																																																	
7. 機械式継手		8.2.7																																																													
適用箇所	・	箇所																																																													
・	・	・																																																													
<p>8.2.8</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.8</th> <th colspan="2">8.2.8</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>1. コンクリートの種類</th> <th colspan="2">8.1.3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・コンクリートの種類</td> <td colspan="2">※I類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート)</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.8		8.2.8		コントロール工事	1. コンクリートの種類	8.1.3		・	・コンクリートの種類	※I類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート)																																																			
8.2.8		8.2.8																																																													
コントロール工事	1. コンクリートの種類	8.1.3																																																													
・	・コンクリートの種類	※I類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート)																																																													
8 耐震改修工事	8. 地盤	<p>8.2.9</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.9</th> <th colspan="2">8.2.9</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>2. コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度</th> <th colspan="2">8.1.3×8.1.4×8.2.5×8.9.2</th> </tr> <tr> <th>・</th> <th>・普通コンクリート</th> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>スランプ(cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・24</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・2.3程度</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.9		8.2.9		コントロール工事	2. コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度	8.1.3×8.1.4×8.2.5×8.9.2		・	・普通コンクリート	設計基準強度(N/mm ²)	スランプ(cm)	・	・	・24	・	・	・	・	・2.3程度																																								
8.2.9		8.2.9																																																													
コントロール工事	2. コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度	8.1.3×8.1.4×8.2.5×8.9.2																																																													
・	・普通コンクリート	設計基準強度(N/mm ²)	スランプ(cm)																																																												
・	・	・24	・																																																												
・	・	・	・2.3程度																																																												
<p>8.2.10</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.10</th> <th colspan="2">8.2.10</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>3. セメント</th> <th colspan="2">8.2.5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">構造体強度補正値※改修標準仕様書表8.2.4による</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.10		8.2.10		コントロール工事	3. セメント	8.2.5		・	・	構造体強度補正値※改修標準仕様書表8.2.4による																																																			
8.2.10		8.2.10																																																													
コントロール工事	3. セメント	8.2.5																																																													
・	・	構造体強度補正値※改修標準仕様書表8.2.4による																																																													
8 耐震改修工事	8. 地盤	<p>8.2.11</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.11</th> <th colspan="2">8.2.11</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>4. 骨材</th> <th colspan="2">8.2.5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">構造体強度補正値※改修標準仕様書表8.2.4による</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.11		8.2.11		コントロール工事	4. 骨材	8.2.5		・	・	構造体強度補正値※改修標準仕様書表8.2.4による																																																	
8.2.11		8.2.11																																																													
コントロール工事	4. 骨材	8.2.5																																																													
・	・	構造体強度補正値※改修標準仕様書表8.2.4による																																																													
<p>8.2.12</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.12</th> <th colspan="2">8.2.12</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>5. 混和材料</th> <th colspan="2">8.2.5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・混和剤</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.12		8.2.12		コントロール工事	5. 混和材料	8.2.5		・	・	・混和剤																																																			
8.2.12		8.2.12																																																													
コントロール工事	5. 混和材料	8.2.5																																																													
・	・	・混和剤																																																													
8 耐震改修工事	8. 地盤	<p>8.2.13</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.13</th> <th colspan="2">8.2.13</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>6. 構造体用モルタル</th> <th colspan="2">8.2.6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">構造体用モルタル</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.13		8.2.13		コントロール工事	6. 構造体用モルタル	8.2.6		・	・	構造体用モルタル																																																	
8.2.13		8.2.13																																																													
コントロール工事	6. 構造体用モルタル	8.2.6																																																													
・	・	構造体用モルタル																																																													
<p>8.2.14</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.14</th> <th colspan="2">8.2.14</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>7. 暑中コンクリート</th> <th colspan="2">構造体強度補正値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・※6N/mm²</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.14		8.2.14		コントロール工事	7. 暑中コンクリート	構造体強度補正値		・	・	・※6N/mm ²																																																			
8.2.14		8.2.14																																																													
コントロール工事	7. 暑中コンクリート	構造体強度補正値																																																													
・	・	・※6N/mm ²																																																													
8 耐震改修工事	8. 地盤	<p>8.2.15</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.15</th> <th colspan="2">8.2.15</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>8. マスコンクリート</th> <th colspan="2">構造体強度補正値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・適用箇所</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.15		8.2.15		コントロール工事	8. マスコンクリート	構造体強度補正値		・	・	・適用箇所																																																	
8.2.15		8.2.15																																																													
コントロール工事	8. マスコンクリート	構造体強度補正値																																																													
・	・	・適用箇所																																																													
<p>8.2.16</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.16</th> <th colspan="2">8.2.16</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>9. 無筋コンクリート</th> <th colspan="2">構造体強度補正値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・コンクリートの種類</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.16		8.2.16		コントロール工事	9. 無筋コンクリート	構造体強度補正値		・	・	・コンクリートの種類																																																			
8.2.16		8.2.16																																																													
コントロール工事	9. 無筋コンクリート	構造体強度補正値																																																													
・	・	・コンクリートの種類																																																													
8 耐震改修工事	8. 地盤	<p>8.2.17</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.17</th> <th colspan="2">8.2.17</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>10. 流動化コンクリート</th> <th colspan="2">構造体強度補正値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・適用箇所</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.17		8.2.17		コントロール工事	10. 流動化コンクリート	構造体強度補正値		・	・	・適用箇所																																																	
8.2.17		8.2.17																																																													
コントロール工事	10. 流動化コンクリート	構造体強度補正値																																																													
・	・	・適用箇所																																																													
<p>8.2.18</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.18</th> <th colspan="2">8.2.18</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>11. 打継ぎの位置</th> <th colspan="2">構造体強度補正値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・打継ぎの位置</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.18		8.2.18		コントロール工事	11. 打継ぎの位置	構造体強度補正値		・	・	・打継ぎの位置																																																			
8.2.18		8.2.18																																																													
コントロール工事	11. 打継ぎの位置	構造体強度補正値																																																													
・	・	・打継ぎの位置																																																													
8 耐震改修工事	8. 地盤	<p>8.2.19</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.19</th> <th colspan="2">8.2.19</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>12. 構造体コンクリートの仕上り</th> <th colspan="2">構造体コンクリートの仕上り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.19		8.2.19		コントロール工事	12. 構造体コンクリートの仕上り	構造体コンクリートの仕上り		・	・	・合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ																																																	
8.2.19		8.2.19																																																													
コントロール工事	12. 構造体コンクリートの仕上り	構造体コンクリートの仕上り																																																													
・	・	・合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ																																																													
<p>8.2.20</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.20</th> <th colspan="2">8.2.20</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>13. 打増し厚さ(打放し仕上部)</th> <th colspan="2">打増し厚さ(打放し仕上部)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・打増し厚さ(打放し仕上部)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る)</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.20		8.2.20		コントロール工事	13. 打増し厚さ(打放し仕上部)	打増し厚さ(打放し仕上部)		・	・	・打増し厚さ(打放し仕上部)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る)																																																			
8.2.20		8.2.20																																																													
コントロール工事	13. 打増し厚さ(打放し仕上部)	打増し厚さ(打放し仕上部)																																																													
・	・	・打増し厚さ(打放し仕上部)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る)																																																													
8 耐震改修工事	8. 地盤	<p>8.2.21</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.21</th> <th colspan="2">8.2.21</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>14. 型枠</th> <th colspan="2">打増し厚さ(打放し仕上部)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・打増し厚さ(打放し仕上部)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る)</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.21		8.2.21		コントロール工事	14. 型枠	打増し厚さ(打放し仕上部)		・	・	・打増し厚さ(打放し仕上部)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る)																																																	
8.2.21		8.2.21																																																													
コントロール工事	14. 型枠	打増し厚さ(打放し仕上部)																																																													
・	・	・打増し厚さ(打放し仕上部)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る)																																																													
<p>8.2.22</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.22</th> <th colspan="2">8.2.22</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>15. 型枠の加工及び組立</th> <th colspan="2">シアコネクタをセパレーターとして使用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・シアコネクタをセパレーターとして使用</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.22		8.2.22		コントロール工事	15. 型枠の加工及び組立	シアコネクタをセパレーターとして使用		・	・	・シアコネクタをセパレーターとして使用																																																			
8.2.22		8.2.22																																																													
コントロール工事	15. 型枠の加工及び組立	シアコネクタをセパレーターとして使用																																																													
・	・	・シアコネクタをセパレーターとして使用																																																													
8 耐震改修工事	8. 地盤	<p>8.2.23</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.23</th> <th colspan="2">8.2.23</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>16. 塗装</th> <th colspan="2">塗装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・適用箇所</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.23		8.2.23		コントロール工事	16. 塗装	塗装		・	・	・適用箇所																																																	
8.2.23		8.2.23																																																													
コントロール工事	16. 塗装	塗装																																																													
・	・	・適用箇所																																																													
<p>8.2.24</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">8.2.24</th> <th colspan="2">8.2.24</th> </tr> <tr> <th>コントロール工事</th> <th>17. 塗装</th> <th colspan="2">塗装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td colspan="2">・適用箇所</td> </tr> </tbody> </table>		8.2.24		8.2.24		コントロール工事	17. 塗装	塗装		・	・	・適用箇所																																																			
8.2.24		8.2.24																																																													
コントロール工事	17. 塗装	塗装																																																													
・	・	・適用箇所																																																													

16. コンクリート の打込み工法等	コンクリートの打設工法の種類 補強工法 打設工法 部位 ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・流込み工法 8.21.8(1)(7), (2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4), (3) ・柱補強工事 (溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法) ・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7), (2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4), (3)			<8. 21. 8><8. 23. 5>		7. アンカーボルト ・構造用アンカーボルト 種類 ・ABR400 ABR490 ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・図示による() 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ボルトの締端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による 8. 溶接材料 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による 9. スタッド 種類等 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 10. 製作精度 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による 11. 仮組 仮組を行う範囲 ・図示による() 12. 溶接作業を行う技能資格者 技能付加試験 試験の要領 ・図示による() 13. 溶接接合 開先の形状 ・図示による() ・鋼製エンドタブ の切断する部分 切断する箇所 ・図示による() 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(a)(b)(2)による スカラップの形状 ・図示による() 14. 入熱、バス間温度の溶接条件 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、フレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 15. 溶接部の試験 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]1.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 16. 鎌止め塗装 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() 塗料の種別 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の 鎌止め塗料の種別 ※A種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別	(7. 2. 4) (7. 3. 2)		17. 耐火被覆 種類、材料、工法等 種類 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分) ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・耐火板張り ・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・耐火材巻付け ・高断熱ロックウール ・ ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料 18. アンカーボルト等の設置等 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による() 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による() 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による() 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・A種 B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別 厚さ 種別 ※A種 B種 19. 鉄骨プレース 設置後の仕上げ ・図示による()	<8. 18. 2>～<8. 18. 8>		8-5 1. 柱底均しモルタル及びグラウト材 グラウト工事 ・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント 砂 特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態は、規定しない。 無収縮性 ・下地による流下時間 コンシスティンシー 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒 フリージング 練り混ぜ2時間後のフリージング率 : 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0 N/mm² 以上 材齢 28日 40.0 N/mm² 以上 塩化物量 0.30kg/m³ 以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	<8. 2. 12>	

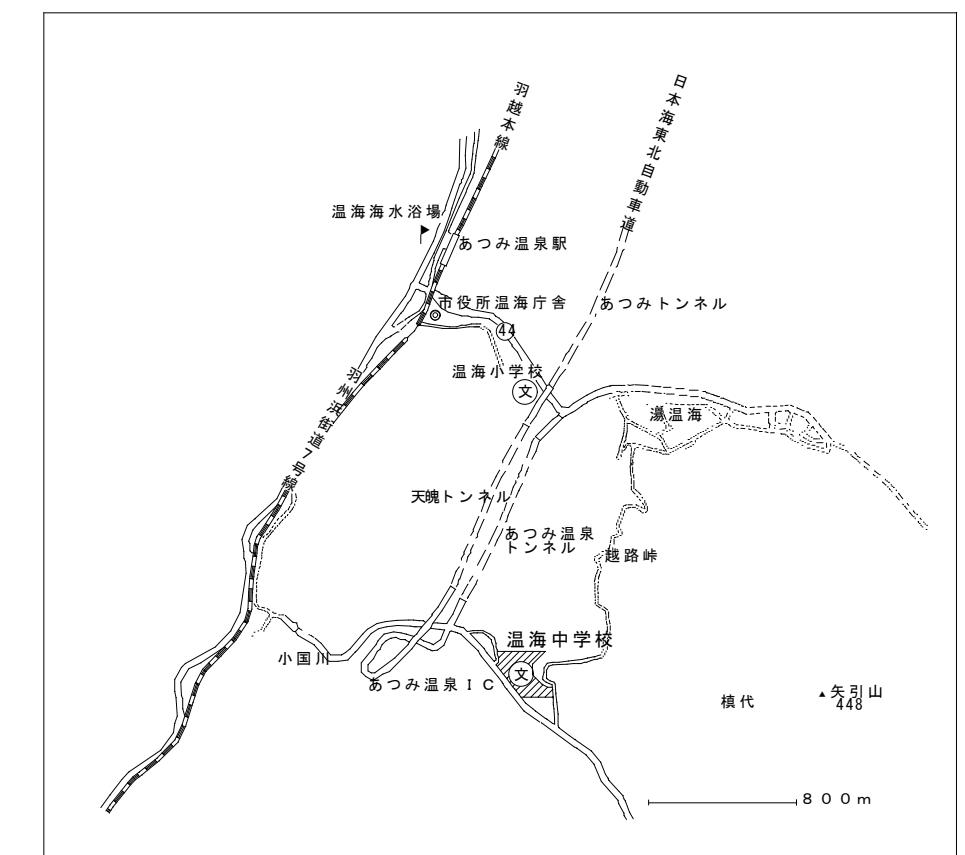
土工事及び地業工事	8-8	1. 埋戻し及び盛土	<p>材料及び工法</p> <p>・材料() 工法()</p> <p>※改修標準仕様書表8.28.1による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() ・D種 適用場所() ・土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() <p>(品質 粒径分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)</p>	9 環境配慮改修工事	<p>施工調査</p> <p>※石綿含有建材の除去工事</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。</p> <p>調査範囲(・) 図示(・) 貸与資料(調査報告書(6種))</p> <p>・石綿粉じん濃度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数(各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定 2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定 3</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定 4</td> <td></td> <td>セキュリティーゾーン入口</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速 1m/s以下の位置</td> </tr> <tr> <td>・測定 6</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定 7</td> <td>処理作業後(シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定 8</td> <td>処理作業後(シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・測定 9</td> <td>(1週間以降)</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <p>・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th colspan="3">測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			適用測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)	・測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計 点	・測定 2		調査対象室外部の付近	・計 点	・測定 3		処理作業室内	・計 点	・測定 4		セキュリティーゾーン入口	・計 点	・測定 5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置	・測定 6		処理作業室内	・計 点	・測定 7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計 点	・測定 8	処理作業後(シート撤去後)	処理作業室内	・計 点	・測定 9	(1週間以降)	調査対象室外部の付近	・計 点	測定名称	測定方法			・測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定			・測定 5				測定名称	メンブレンフィルタ	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	・測定 4	25	5	30	・測定 5	47	10	120	・測定	47	10	240	・測定				・測定				・測定			
適用測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)																																																																																				
・測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計 点																																																																																				
・測定 2		調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																				
・測定 3		処理作業室内	・計 点																																																																																				
・測定 4		セキュリティーゾーン入口	・計 点																																																																																				
・測定 5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置																																																																																				
・測定 6		処理作業室内	・計 点																																																																																				
・測定 7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計 点																																																																																				
・測定 8	処理作業後(シート撤去後)	処理作業室内	・計 点																																																																																				
・測定 9	(1週間以降)	調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																				
測定名称	測定方法																																																																																						
・測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																						
・測定 5																																																																																							
測定名称	メンブレンフィルタ	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																				
・測定 4	25	5	30																																																																																				
・測定 5	47	10	120																																																																																				
・測定	47	10	240																																																																																				
・測定																																																																																							
・測定																																																																																							
・測定																																																																																							

10 ユ ニ ット 及 び そ の 他 の 工 事	1. フリーアクセス フロア	(20. 2. 2)	施工箇所 構法 寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上材 ・置敷式 500×500 1.0G 3,000N 帯電防止床タイル ・支柱調整式 0.6G 5,000N タイルヘッド
	寸法精度 ※標準仕様書20. 2. 2(才) (a) ~ (c)による ・以下による パネルの長さの寸法精度 () パネルの平面形状(角度)の寸法精度 () フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 ()		
	帶電防止性能 ・評価値 (U) ≥0.6以上 ・評価値 (U) ≥1.2以上		
	感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≥1×10 ⁶ Ω		
	2. 可動間仕切	(20. 2. 3)	
	構造形式による種類 構成基材の種類 パネル表面仕上げ 遮音性 (dB/500Hz) 防火性能 ・スタッド式(内蔵) スタッド バル メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 0 不燃 ・スタッド式(露出) バル 壁紙張り 12 20 28 36 ・スタッドパネル式 ・パネル式		
	パネル内に取付ける建具 ・有り(※図示による) ・無し		
	パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、鍵前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。 パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆		
	3. 移動間仕切	(20. 2. 4)	
	走行方向 操作方法による種類 パネル圧接装置の操作方法 総厚さ (mm) パネル表面材 遮音性 (dB/500Hz) ・平行方向 手動式 ブッシュ式 550 0 36未満 ・移動式 電動式 ハンドル式 600 36以上 ・二方向 部分電動式 650		
	パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ・図示による パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ・ ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの ・		
	4. トイレブース	(20. 2. 5)	
	表面材の材料 脚部 ドアエッジ 種類 材質 ・メラミン樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ※製造所の仕様による ・ボリエステル樹脂系化粧板		
	5. 手すり	(20. 2. 6)	
	材料の種類及び仕上げ ・SUS304 表面処理 ※HL程度 ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14. 2. 2による種別()種) ・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14. 2. 1による種別()種) 色合い・標準色()・特注色()		
	手すりの握り部分 ・集成材 (材種:)・クリアラッカー ・ビニル製		
10 ユ ニ ット 及 び そ の 他 の 工 事	6. 階段滑り止め	(20. 2. 7)	
	材種 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 形状 ・タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂合等) ・タイヤレス型 寸法(幅) ・35mm程度 40mm程度 50mm程度 取付け工法 ・接着工法 ・埋込み工法		
	7. 黒板及びホワイトボード ・黒板 区分 ・焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色 ・緑 ・ホワイトボード 取付け箇所() 寸法 (mm) ・図示による 厚さ (mm) ・5 ・	(20. 2. 9)	
	8. 鏡 取付け箇所() 寸法 (mm) ・図示による 厚さ (mm) ・5 ・	(20. 2. 10)	
	9. 表示 衝突防止表示 ・設置する(設置場所:※図示による) 形状・寸法(・30φ) 材質(※ステンレス製) ・設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による) ※図示による	(20. 2. 11)	
	10. タラップ 材質及び仕上げ ・SUS304(スリップ止め加工※あり ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14. 2. 2による種別()種) ・	(20. 2. 12)	
	11. 煙突ライニング 適用安全使用温度 工法 ※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)	(20. 2. 13)	
	12. ブラインド 形状 ※図示による	(20. 2. 14)	
	13. ロールスクリーン 縦型ブラインドのスラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工	(20. 2. 15)	
	14. カーテン スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの	(20. 2. 16)	
10 ユ ニ ット 及 び そ の 他 の 工 事	15. カーテンレール 材による区分 ・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 強さによる区分 ・10-90 仕上げ ・アルマイト 形状 ・角形 ・	(20. 2. 16)	
	16. ブラインドボックス及びカーテンボックス 材種 ・木製(仕上げ:杉材) ※アルミニウム製押出し型材(市販品) 標準仕様書表14. 2. 1による種別 ・BC-1種 BC-2種 色合い ・標準色()・特注色() ・鋼製(仕上げ:)		
	17. 天井点検口 材種 ・アルミニウム製 寸法 ・450×450 600×600 形式 ・一般形 屋内外用 ・密閉形 屋内用 ・気密形 外枠 ・額縁タイプ 内枠 ・額縁タイプ ・目地タイプ ・目地タイプ		
	18. 床点検口 材種 ・アルミニウム製 寸法 ・450×450 600×600 形式 ・一般形 屋内外用 ・密閉形 屋内用 ・鍵付き 備考 ・		
	19. くつふきマット 材種 ・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 受け枠 ・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・		
	20. 流し台ユニット 材種 ・流し台 寸法 (mm) ・1200 550 800 ・1500 600 850 ・1800 650 備考 市販品 トラップ付き 天板ステンレス製 ・コンロ台 ・600 550 620 ・600 650 670 市販品 バックガード有り 天板ステンレス製 ・つり戸棚 ・1200 450 500 ・900 700 市販品 ・水切り ・1200 900 600 ・900 600 市販品 ステンレス製 ・1段式 ・		
	21. 旗竿 形状 ※図示による		
	22. 旗竿受金物 材種 ・ステンレス製(SUS 304)		
	23. 車止めさく 形式 ・上下式鎖内蔵式 標準品 ・スプリング式 ・		
	24. フェンス フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示による ・		
10 ユ ニ ット 及 び そ の 他 の 工 事	25. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み 材種 ・花こう岩 ・凝灰岩 種類 ・A ・B 質量区分 ・	(20. 4. 2, 3)	
	積み方 ・谷積み 布積み 目塗り ・図示による 伸縮調整目地 材種 ・図示による 厚さ ・図示による ・		
	26. 鋼製書架及び物品棚 種類 ・鋼製書架 規格等 JIS S 1039 の規格による ・1種 2種 3種 ・鋼製物品棚 ・4種 5種 6種		
	27. 屋内掲示板 枠の材質 ・アルミニウム製 表面の材質 ・塗装発泡シート張り ・		
	28. 洗面カウンター 材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石 奥行き (mm) ・約450 約600 ・		
	29. 防煙垂れ壁 ・固定式 材質 ・網入り磨き板ガラス 厚さ (mm) ・約6.8 高さ (mm) ・約500 備考 ・アルミ製枠付き ・可動式 種類 ・垂直降下式(巻取り型) ・不燃認定品 高さ (mm) ・500 800 備考 ・ガードレール ・可動式(壁埋込型) ・回転降下式 ・鋼板製又はアルミ製 高さ (mm) ・500 800 備考 ・表面仕上げ ・天井材張り ・		
	30. 屋外掲示板 降下機構 ・煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型) 照明器具 ・有り ・無し 施錠 ・有り ・無し 製造所 ・		
	31. 収納家具 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ・F☆☆☆☆ ・材質、形状、寸法 ・図示による ・		
	1. 一般事項 試料採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。		
	2. 測定対象化学物質 測定対象化学物質は、下記4 1), 2)の区分に従い、表の①から⑪の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。		
11 総 揮 発 性 有 機 化 合 物 (T V O C) 測 定	3. 測定方法 1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。 2) トルエン換算で 2.0 μg/m ³ 未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。		
	表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値 化学物質名 室内濃度指針値 ①ホルムアルデヒド 100 μg/m ³ 0.08 ppm ②トルエン 260 μg/m ³ 0.07 ppm ③キシレン 200 μg/m ³ 0.05 ppm ④エチルベンゼン 3,800 μg/m ³ 0.88 ppm ⑤ステレン 220 μg/m ³ 0.05 ppm ⑥パラジクロロベンゼン 240 μg/m ³ 0.04 ppm ⑦テトラデカノン 330 μg/m ³ 0.04 ppm ⑧アセトアルデヒド 48 μg/m ³ 0.03 ppm ⑨ノナール (暫定) 41 μg/m ³ 0.007 ppm ⑩フタル酸ジ-n-ブチル 17 μg/m ³ 0.0015 ppm ⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル 100 μg/m ³ 0.0063 ppm ⑫クロルビリホス 1 μg/m ³ 0.0007 ppm ⑬ダイアジノン 0.29 μg/m ³ 0.0002 ppm ⑭フェノブカルブ 33 μg/m ³ 0.0038 ppm ⑮総揮発性有機化合物(TVOC) 400 μg/m ³ (暫定目標値)		
	4. 測定する室 1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・室名: 2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・室名: ・屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)		
	5. 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を2部提出する。 1) 測定結果(アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。) 2) 試料採取時の状況(気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し		
	6. その他 表の化学物質①から⑯のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。		



■ 本工事対象部分

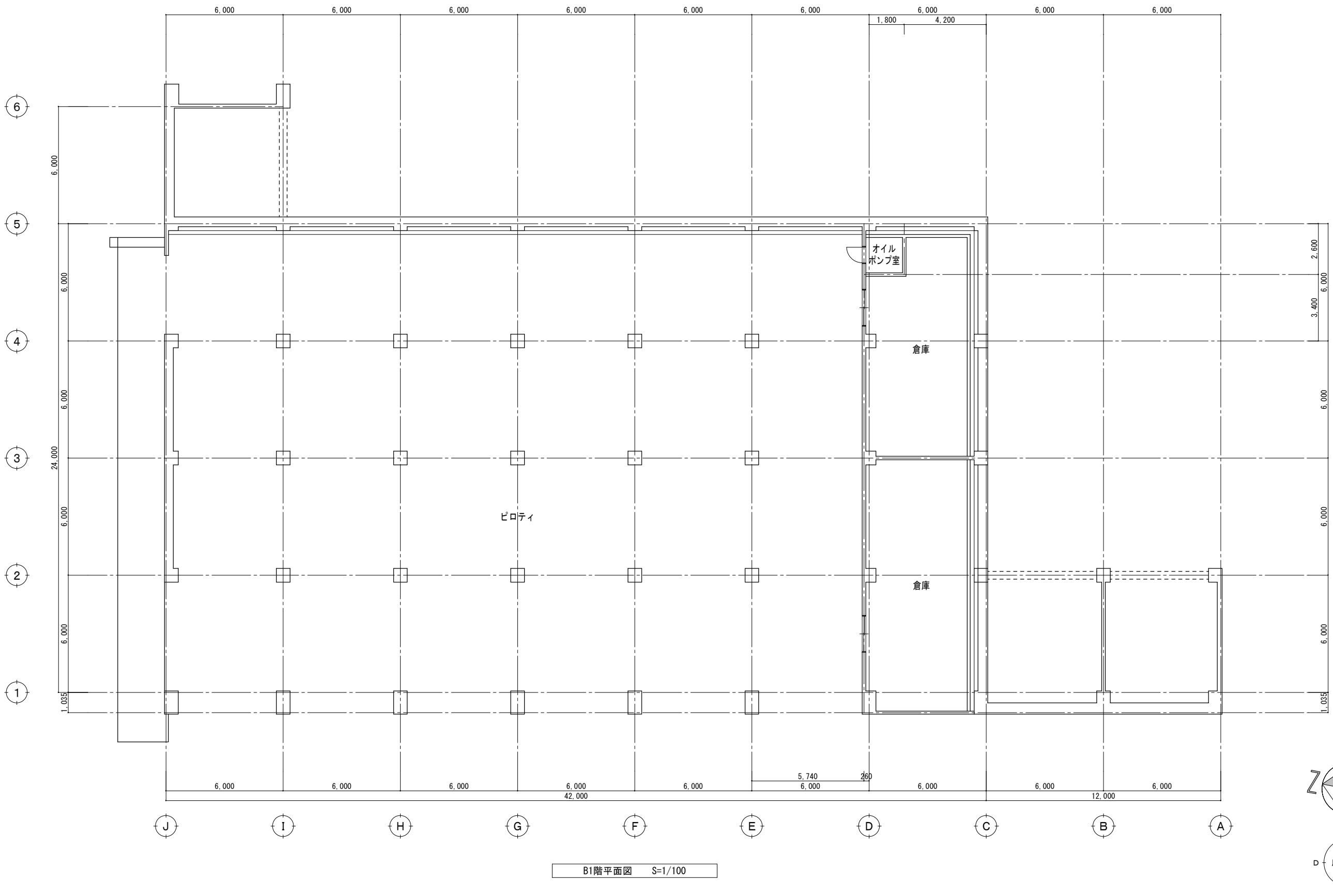
配置図 1/750



付近見取図

0 5 10 30 50

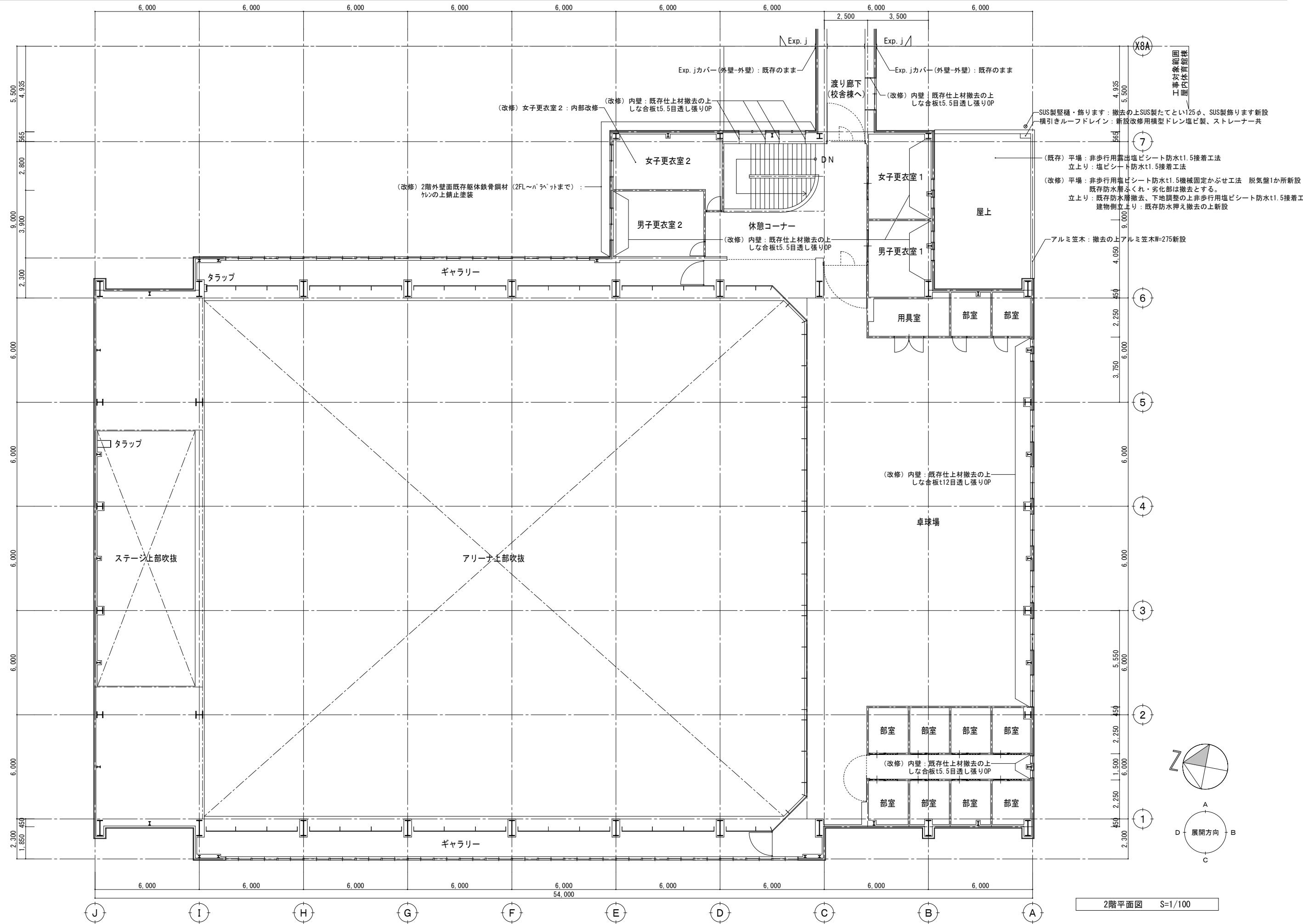
記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和7年 10月 日	図面 No.	縮尺	(株)栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
	図面	配置図・付近見取図				A-12		

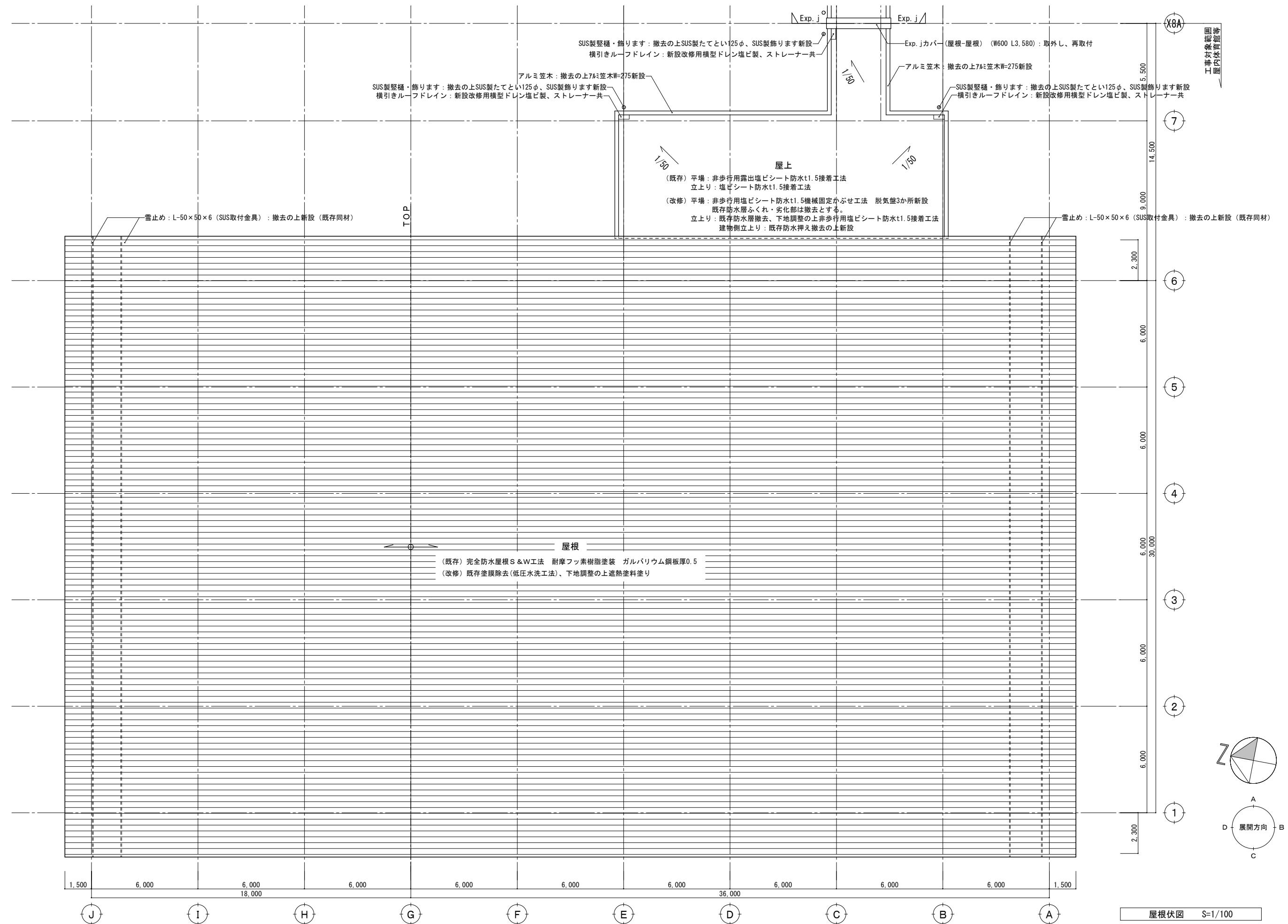


記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和7年 10月日	図面No.	縮尺	(株)栗本設計事務所		
								A-13	A1 S=1/100 A3 S=1/200	
	図面	B1階平面図						〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878		



記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No. A-14	縮 尺 A1 S=1/100 A3 S=1/200	(株)栗本設計事務所 一級建築士事務所第2096号 一級建築士第32642号 栗本 健太郎 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
図面		1階平面図						

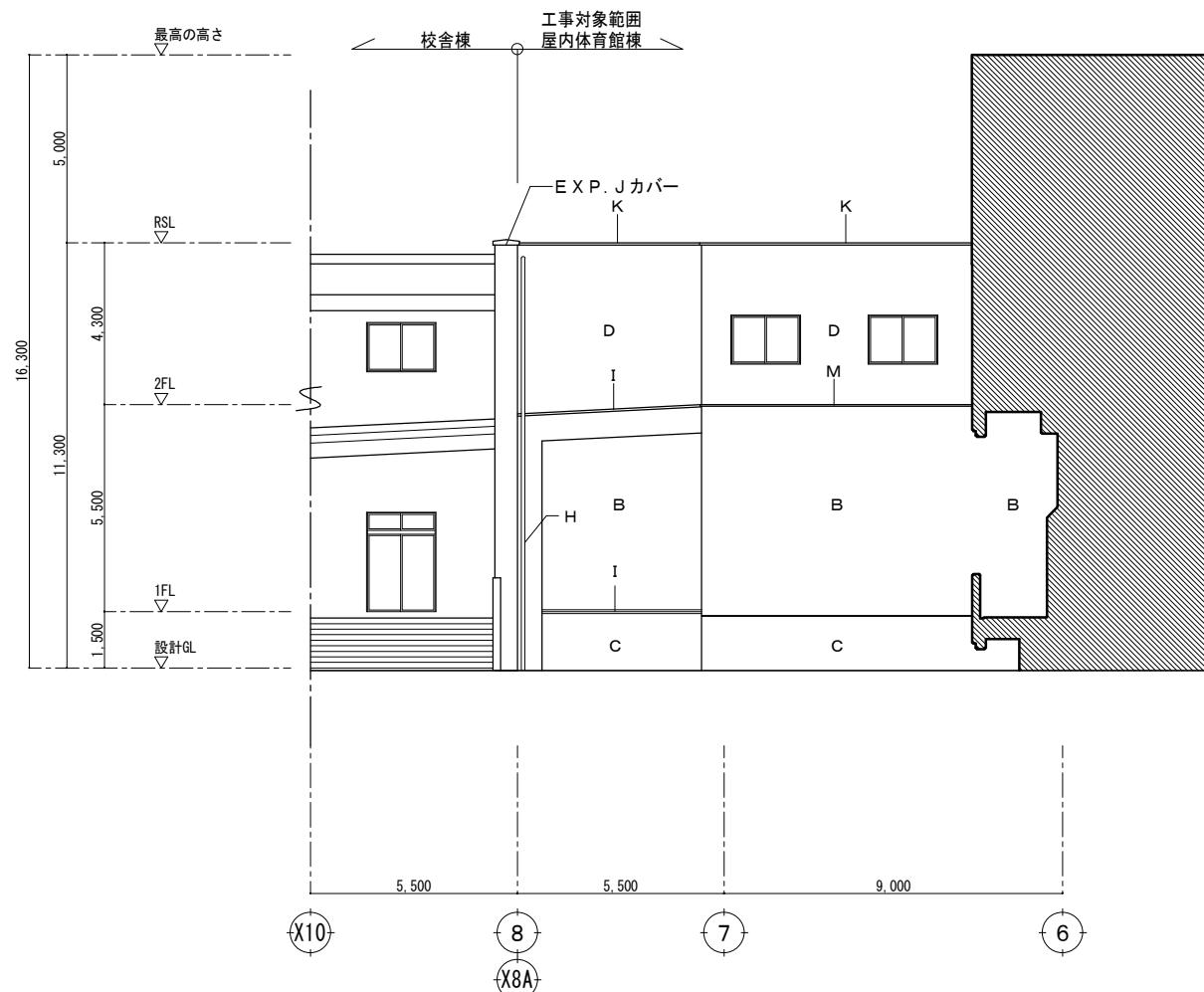




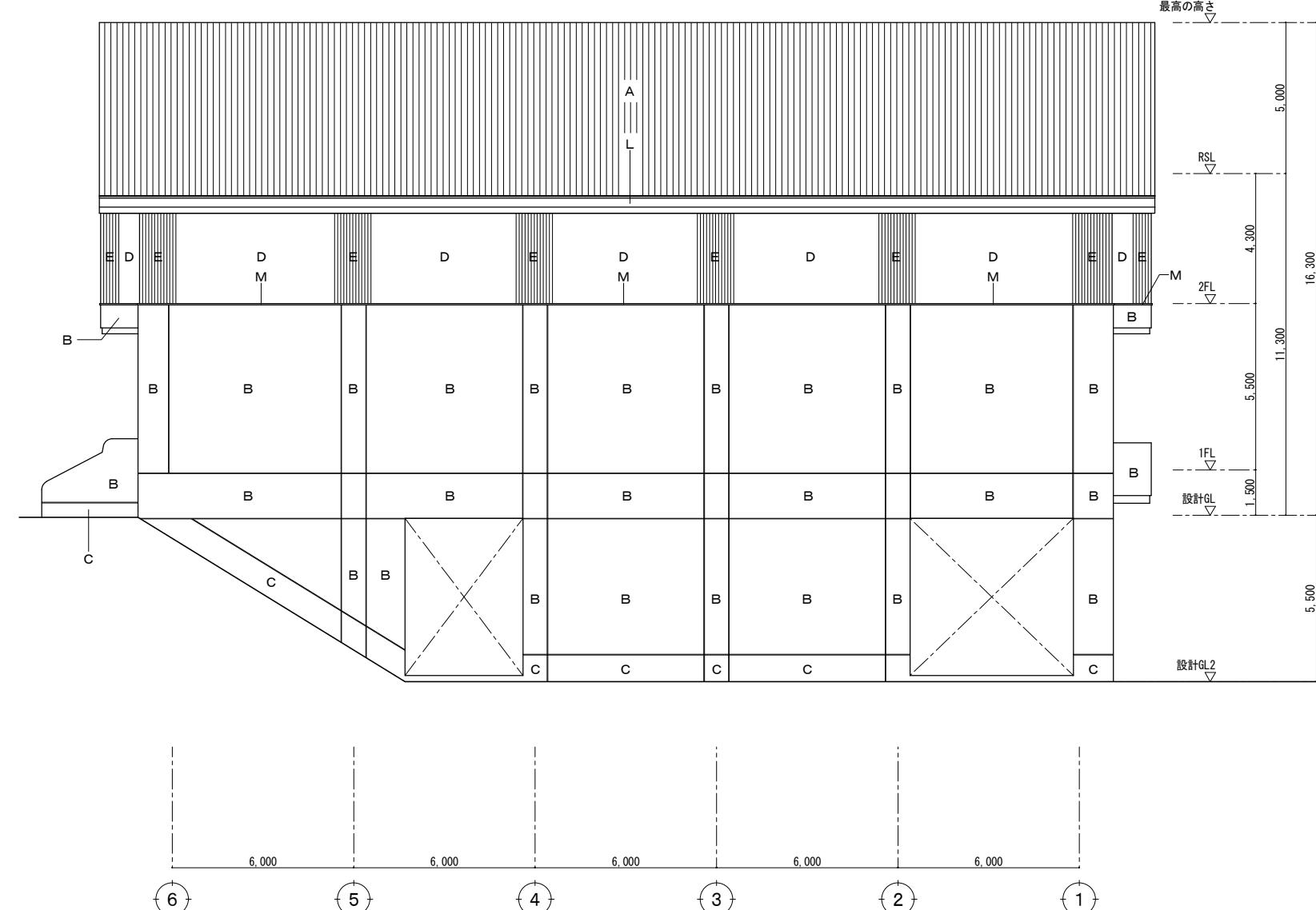
記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No. A-16	縮 尺 A1 S=1/100 A3 S=1/200	(株)栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
図面		屋根伏図						

改修工事概要			外部仕上表							
工事種目	改修工事概要	位置	区分	仕上						
屋根改修工事	1. 7リ-チ屋根：既存既存塗膜除去の上塗装改修 破風・鼻隠し共 雪止め：既存撤去の上新設 ※1階×2箇所 脊用具室上部の雨漏り調査を行い修繕を行う。	7リ-チ屋根	現況	耐火野地板t25、アスファルトルーフィング 22kg下地フッ素樹脂塗装GL鋼板t0.5S&W工法 鼻隠し：耐火野地板t12下地フッ素樹脂塗装GL鋼板t0.5包み 破風(R部)：フッ素樹脂塗装GL鋼板t1.2加工 雪止め：SUS製 L-50x50x6 2段 (取付金物：SUS製)						
	2. 屋上：平場：既存防水層部分補修の上新設シート防水 (機械固定工法) 立上り：既存防水層撤去の上新設シート防水 (接着工法)		改修	既存塗膜除去(低圧洗浄)、下地調整の上遮熱塗料塗り 鼻隠し・破風(R部)：既存塗膜除去(低圧水洗工法)、下地調整の上遮熱塗料塗り 目地：既存シーリング撤去、新設シーリング打替え (MS-2) 雪止め：既存雪止め撤去の上、SUS製 L-50x50x6 2段 (取付金物：SUS製) 新設						
	3. バラベット笠木：既存笠木撤去の上新設アミ笠木 4. ドレン：既存ドレン清掃の上改修ドレン新設 5. 樋：既存堅樋撤去の上SUS製たてとい新設 (支持金具共) 飾ります：既存飾ります撤去の上SUS製飾ります新設	更衣室 屋上 ホーチ 屋上 渡り廊下 屋上	現況	非歩行用露出塗ビシート防水t1.5 ドレン：横引ルーフドレンt25φ						
			改修	平場：非歩行用塗ビシート防水t1.5機械固定かぶせ工法 (7-キヤマリバットルーフSW 強風仕様同等※仕様は部分詳細図参照) 既存防水層ふくれ・劣化部は撤去とする。 ドレン：既存ドレン清掃の上改修用横型ドレン塗ビ製、ストレーナー共新設						
	6. RC外壁のひび割れ及び欠損部の補修 7. B1・1階外壁 (RC部)：既存塗膜除去 (高圧水洗工法) の上塗装改修 8. 2階外壁 (押出成形セメント板部)：既存仕上材の上 (一部既存仕上げ材撤去・新設)、新設胴縁組、SUSスパンドレル縦張りかべ工法 9. 腰壁：塗装改修 10. 7リ-チ軒天：既存仕上材の上塗装改修 11. テラス・テラス下部軒天 (RC部)：既存塗膜除去 (高圧水洗工法) の上塗装改修 12. シーリング (建具廻り・伸縮目地・化粧目地)：既存シーリング撤去の上、新設シーリング打替え	バラベット	現況	立上り：ラシート、モタル下地立上り用シート防水t1.5 笠木：アミ製t2.0 W=225 Exp. jかべ：アミ製 壁面防水押え金物：アミ製						
			改修	立上り：既存防水層撤去、下地調整の上非歩行用塗ビシート防水t1.5接着工法 笠木：既存笠木撤去の上アミ笠木W=275新設 Exp. jかべ：取外し、再取付 壁面防水押え金物：既存撤去の上新設アミ製防水押え						
	13. アリ-チ軒天	現況	GB-Rt12.5下地大平板t6 吹付タイル 軒天見切：フッ素樹脂塗装GL鋼板t0.6加工							
		改修	下地調整の上弾性アクリルシングル 軒天見切：新設か-SUST0.4加工							
	14. テラス軒天 (梁型)	現況	ボーリングフォーム複合バーリt40 吹付タイル 梁型：コンクリート打放し 吹付タイル							
		改修	下地調整の上EP吹付 梁型：既存塗膜除去 (高圧水洗工法)、劣化部補修、下地調整の上ケレン外壁化粧防水材仕上							
	15. テラス下軒天 (梁型)	現況	コンクリート打放し 吹付タイル 梁型：コンクリート打放し 吹付タイル							
		改修	既存塗膜除去 (高圧水洗工法) 下地調整の上弾性アクリルシングル仕上 梁型：既存塗膜除去 (高圧水洗工法)、劣化部補修、下地調整の上ケレン外壁化粧防水材仕上							
	16. ホーチ天井	現況	アルミスパンドレル							
		改修	既存仕上材撤去の上アルミスパンドレル張り							
	17. 外壁 (柱型・梁型)	現況	B1・1階：コンクリート打放し 吹付タイル 化粧目地仕上 シーリング：伸縮目地20x50、縦化粧目地：20x20、横化粧目地20x50 外壁見切：フッ素樹脂塗装GL鋼板厚0.6加工 水切：アミ製t2.0							
		改修	2階：押出成形セメント板t15(平板)縦張り 吹付タイル、一部押出成形セメント板t15(リブ)縦張り 吹付タイル B1・1階：既存塗膜除去 (高圧水洗工法)、劣化部補修、下地調整の上ケレン外壁化粧防水材仕上 シーリング：伸縮目地20x50、縦化粧目地：20x20、横化粧目地20x50 既存シーリング撤去、新設シーリング打替え (MS-2) 外壁見切：既存見切材の上か-SUST0.4加工 水切：既存撤去の上アミ製t2.0 D=150程度 新設							
	18. 電気設備改修工事	現況	2階：既存仕上材の上 (一部既存仕上げ材撤去・新設)、透湿防水シート下地胴縁新設、か-SUST0.4加工 シーリング：伸縮目地20x50、縦化粧目地：20x20、横化粧目地20x50 既存シーリング撤去、新設シーリング打替え (MS-2) 外壁見切：既存見切材の上か-SUST0.4加工 水切：既存撤去の上アミ製t2.0 D=150程度 新設							
	19. アスペクト含有建材	現況	2階：既存仕上材の上 (一部既存仕上げ材撤去・新設)、透湿防水シート下地胴縁新設、か-SUST0.4加工 シーリング：伸縮目地：20x20 既存シーリング撤去、新設シーリング打替え (MS-2)							
		改修	腰壁	現況	コンクリート打放し補修 シーリング：伸縮目地：20x20					
			改修		劣化部補修、既存下地調整の上ボーリングセメント系微弾性塗材 シーリング：伸縮目地：20x20 既存シーリング撤去、新設シーリング打替え (MS-2)					
	20. 樋	現況	既存撤去の上、SUS製たてとい125φ 支持金具：SUS製 飾ります：SUS製							
		改修	既存撤去の上、SUS製たてとい125φ 支持金具：SUS製新設 飾ります：SUS製新設							
	21. 外部階段手摺壁	現況	コンクリート打放し 吹付タイル 化粧目地仕上							
		改修	既存塗膜除去 (高圧水洗工法)、劣化部補修、下地調整の上ケレン外壁化粧防水材仕上							
	22. 玄関脇ローブ手摺壁	現況	コンクリート打放し アクリル系クリア塗装							
		改修	既存塗膜除去 (高圧水洗工法)、劣化部補修、下地調整の上ケレン外壁化粧防水材仕上							
記事		下記石綿含有材の解体、改修時の切断・ビス打ち等は関係法令を遵守の上施工すること ・石綿の含有「有」 1. 2階女子更衣室 床材 「Pタイル (下地調整材)」 2. 外壁サ行 インガ 材 「押出成形セメント板 (平板)」 3. 外壁サ行 インガ 材 「押出成形セメント板 (リブ付)」 4. 「外壁仕上塗材 (下地調整材)」 5. 「腰壁仕上塗材 (下地調整材)」 ・石綿の含有「無」 1. 2階女子更衣室 外壁面 「ロックウール吹付材」	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	索図	令和7年 10月日	図面No. A-17	縮尺 A1 NON A3 NON	(株)栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
			図面							

室内仕上表																				
特記事項 1) 使用する内装建材及び塗料等は全てF☆☆☆☆とする。 2) 内部改修を行う室のみの記載とする。記載のない室は内部改修は行わない。																				
棟	階	室名	床		巾木		内装制限	壁				天井		廻り縁	天井高	摘要				
			床下地組	床 (改修前)	床 (改修後)	巾木 (改修前)	巾木 (改修後)	関係法令	壁	壁下地組	腰壁高	腰壁 (改修前)	腰壁 (改修後)	壁 (改修前)	壁 (改修後)	天井下地組	天井 (改修前)	廻り縁 (改修前)	天井高 (改修前)	天井高 (改修後)
屋内体育館棟	B1階	ピロティ	CON	コンクリート金目地切仕上 水勾配付 既存のまま	-150 (±0)	木製H75 OP-2 既存のまま	CON	H=900	コンクリート打放し仕上 既存下地調整の上ガリセメント系弾性塗材	CON	既存LGS	コンクリート打放し仕上 既存下地調整の上ガリセメント系弾性塗材	既存のまま	GB-Dt9.5張り 仕上材が撤去されている部分: GB-Dt9.5復旧 (1m程度)	既存LGS	GB-Dt9.5張り 既存のまま	塩ビ	CH=5,970 既存のまま	CH=3,000 既存のまま	天井の復旧は雨漏水を調査、修繕を行った上施工のこと
	1階	用具室2	鋼製床組	合板t12下地複合パーリングt15張り 既存のまま	±0 (±0)	木製H75 OP-2 既存のまま			既存LGS			しな合板t5.5目透し張り OP-2 既存のまま		既存LGS	GB-Dt9.5張り 仕上材が撤去されている部分: GB-Dt9.5復旧 (1m程度)	既存のまま	塩ビ	CH=3,000 既存のまま	CH=3,000 既存のまま	天井の復旧は雨漏水を調査、修繕を行った上施工のこと
	2階	女子更衣室1	CON	モルタル下地ピール床タイルt2.0張り 既存のまま	±0 (±0)	木製H75 OP-2 南面: 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t5.5目透し張り OP-2 南面: 既存仕上材撤去の上しな合板t5.5目透し張りSOP		既存LGS	GB-Dt9.5張り 壁改修部直上: 既存仕上材撤去の上GB-Dt9.5張り	既存のまま	塩ビ	CH=2,400 既存のまま	CH=2,400 既存のまま	改修部: 塩ビ新設
			CON	モルタル下地ピール床タイルt2.0張り 既存のまま	±0 (±0)	木製H75 OP-2 南面: 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t5.5目透し張り OP-2 南面: 既存仕上材撤去の上しな合板t5.5目透し張りSOP		既存LGS	GB-Dt9.5張り 壁改修部直上: 既存仕上材撤去の上GB-Dt9.5張り	既存のまま	塩ビ	CH=2,400 既存のまま	CH=2,400 既存のまま	改修部: 塩ビ新設
	女子更衣室2	CON	モルタル下地ピール床タイルt2.0張り 既存仕上材の上セラミックタイル下地ピール床タイルt2.5張り	±0 (±0)	木製H75 OP-2 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t5.5目透し張り OP-2 既存仕上材撤去の上しな合板t5.5目透し張りSOP		既存LGS	GB-Dt9.5張り 既存仕上材撤去の上GB-Dt9.5張り	既存のまま	塩ビ	CH=2,400 既存のまま	CH=2,400 既存のまま	改修部: 塩ビ新設	
			CON	モルタル下地ピール床タイルt2.0張り 既存のまま	±0 (±0)	木製H75 OP-2 北面: 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t5.5目透し張り OP-2 北面: 既存仕上材撤去の上しな合板t5.5目透し張りSOP		既存LGS	GB-Dt9.5張り 壁改修部直上: 既存仕上材撤去の上GB-Dt9.5張り	既存のまま	塩ビ	CH=2,400 既存のまま	CH=2,400 既存のまま	改修部: 塩ビ新設
	東側ギャラリー	CON	コンクリート金目地仕上 既存のまま	±0 (±0)	木製H75 OP-2 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t5.5目透し張り OP-2 既存のまま			屋根下地材の上現場発泡ケルト30表し 既存のまま			CH=7,310~9,300 既存のまま	CH=7,310~9,300 既存のまま	カーテンボックス: 既存撤去の上木製SOP 暗幕カーテン: 既存撤去上暗幕新設	
			CON	コンクリート金目地仕上 既存のまま	±0 (±0)	木製H75 OP-2 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t5.5目透し張り OP-2 既存のまま			屋根下地材の上現場発泡ケルト30表し 既存のまま			CH=7,310~9,300 既存のまま	CH=7,310~9,300 既存のまま	カーテンボックス: 既存撤去の上木製SOP新設 暗幕カーテン: 既存撤去上暗幕新設
	西側ギャラリー	CON	コンクリート金目地仕上 既存のまま	±0 (±0)	木製H75 OP-2 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t5.5目透し張り OP-2 既存のまま			屋根下地材の上現場発泡ケルト30表し 既存のまま			CH=7,310~9,300 既存のまま	CH=7,310~9,300 既存のまま	カーテンボックス: 既存撤去の上木製SOP新設 暗幕カーテン: 既存撤去上暗幕新設	
			CON	モルタル下地/シリコン塗り床t2.0仕上 既存のまま	±0 (±0)	木製H75 OP-2 南面: 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t12目透し張り OP-2 南面: 既存仕上材撤去の上しな合板t12目透し張りSOP			屋根下地材の上現場発泡ケルト30表し 既存のまま			CH=4,280~5,355 既存のまま	CH=4,280~5,355 既存のまま	カーテンボックス: 既存撤去の上木製SOP、暗幕カーテン: 取外し再取付
	卓球場	CON	モルタル下地/シリコン塗り床t2.0仕上 既存のまま	±0 (±0)	木製H75 OP-2 南面: 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t12目透し張り OP-2 南面: 既存仕上材撤去の上しな合板t12目透し張りSOP			屋根下地材の上現場発泡ケルト30表し 既存のまま			CH=4,280~5,355 既存のまま	CH=4,280~5,355 既存のまま	カーテンボックス: 既存撤去の上木製SOP、暗幕カーテン: 取外し再取付	
			CON	モルタル下地/シリコン塗り床t2.0張り 既存のまま	±0 (±0)	木製H75 OP-2 南面: 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t5.5目透し張り OP-2 南面: 既存仕上材撤去の上しな合板t5.5目透し張りSOP		既存LGS	GB-Dt9.5張り 壁改修部直上: 既存仕上材撤去の上GB-Dt9.5張り	既存のまま	塩ビ	CH=2,700 既存のまま	CH=2,700 既存のまま	改修部: 塩ビ新設
	廊下	CON	モルタル下地防滑性ビニール床シートt2.5張り 既存のまま	0~425.8 (±0)	木製H75 OP-2 南面: 既存撤去の上木製H75 SOP			既存LGS			しな合板t5.5目透し張り OP-2 南面一部: 既存仕上材撤去の上しな合板t5.5目透し張りSOP		既存LGS	GB-Dt9.5張り 壁改修部直上: 既存仕上材撤去の上GB-Dt9.5張り	既存のまま	塩ビ	CH=2,700 既存のまま	CH=2,700 既存のまま	改修部: 塩ビ新設	
			CON																	
屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設	屋外施設		



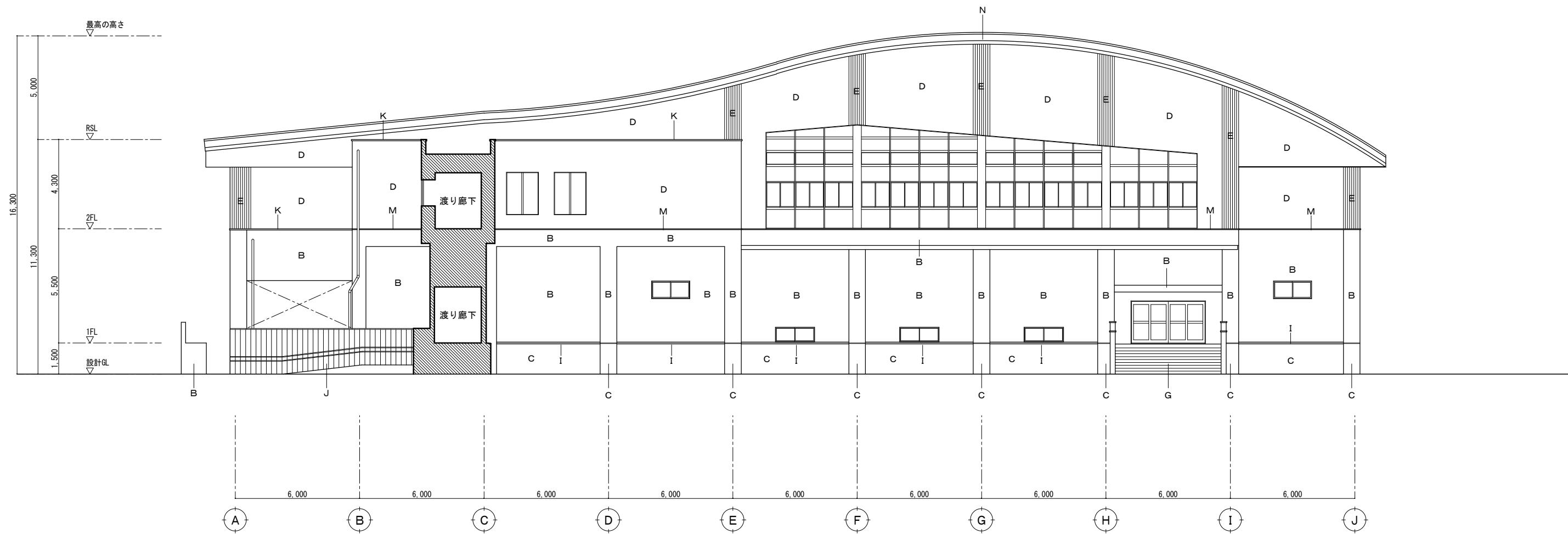
既存 北側立面図 S=1/100



既存 北側立面図 S=1/100

既存外部什上 丹佛

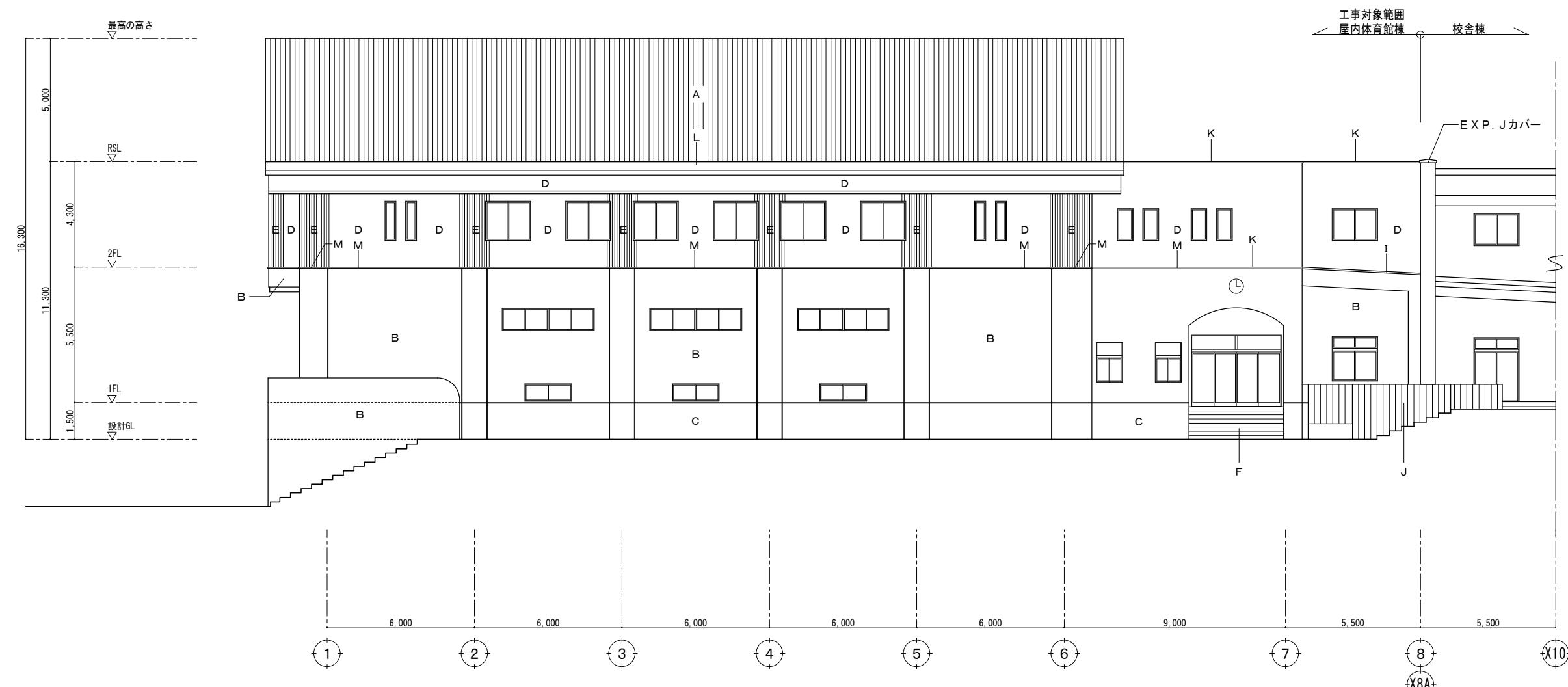
記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
A	完全防水屋根S&W工法 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板厚0.5	F	階段:100角磁器タイル 段鼻同材タイル	K	笠木:アルミ製シルバー
B	コンクリート打放し アクリル系吹付タイル 化粧目地仕上	G	階段:モルタル金ゴテ仕上 段鼻タイル	L	鼻隠し:耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.5曲加工
C	コンクリート打放し補修 化粧目地切仕上	H	豎樋:ステンレス (SUS 304 HL) φ125	M	外壁見切:耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.6曲加工
D	押出成型セメント板厚15縦張り アクリル系吹付タイル	I	アルミ製水切厚2.0	N	破風:耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚1.2加工
E	押出成型セメント板厚15縦張り (リブ) アクリル系吹付タイル	J	コンクリート打放し アクリル系 クリヤー塗装		



既存 東側立面図 S=1/100

既存外部仕上 凡例

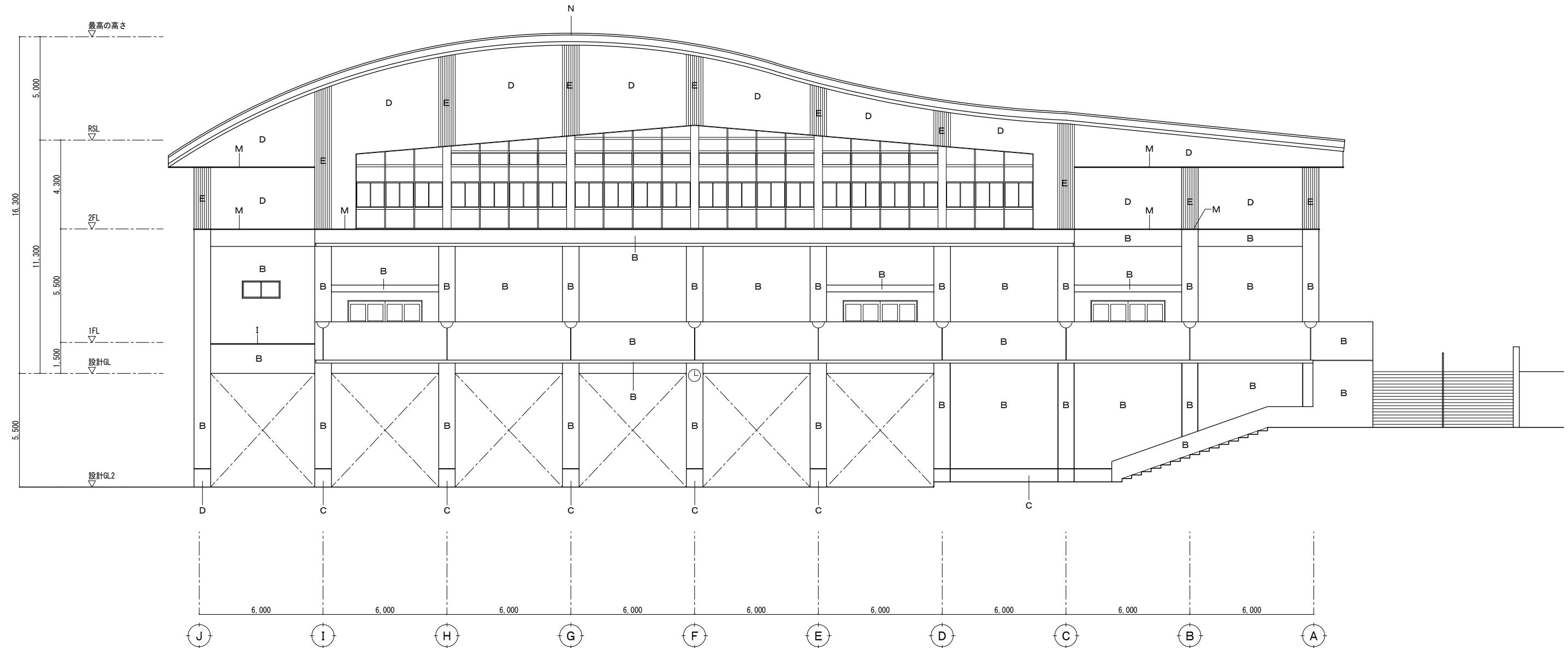
記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
A	完全防水屋根S&W工法 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板厚0.5	F	階段: 100角磁器タイル 段鼻同材タイル	K	笠木: アルミ製シルバー
B	コンクリート打放し アクリル系吹付タイル 化粧目地仕上	G	階段: モルタル金ゴテ仕上 段鼻タイル	L	鼻隠し: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.5曲加工
C	コンクリート打放し補修 化粧目地仕上	H	堅縫: ステンレス (SUS 304 HL) φ125	M	外壁見切: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.6曲加工
D	押出成型セメント板厚15繊張り アクリル系吹付タイル	I	アルミ製水切厚2.0	N	破風: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚1.2加工
E	押出成型セメント板厚15繊張り (リブ) アクリル系吹付タイル	J	コンクリート打放し アクリル系 クリヤー塗装		



既存 南側立面図 S=1/100

既存外部仕上 凡例

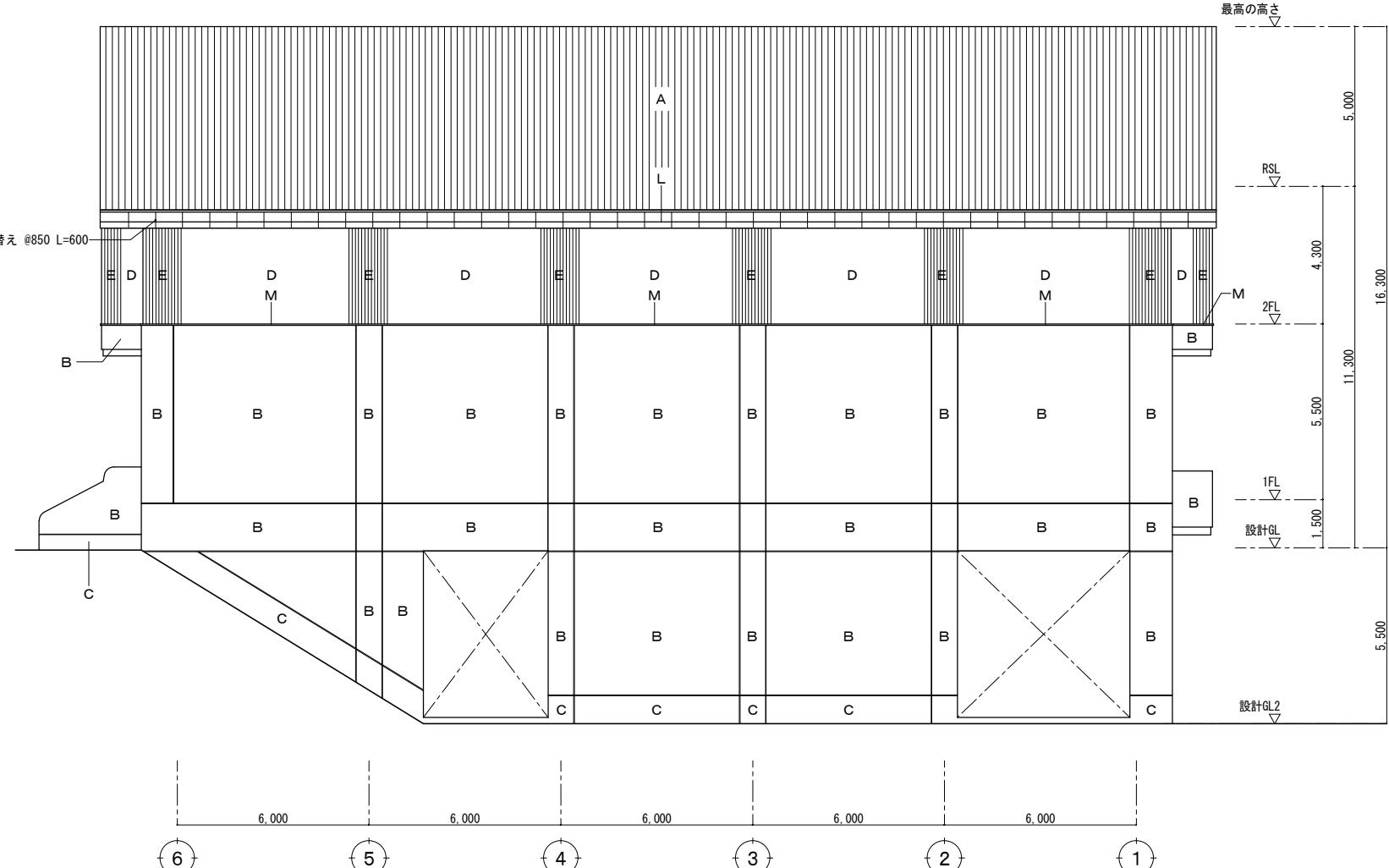
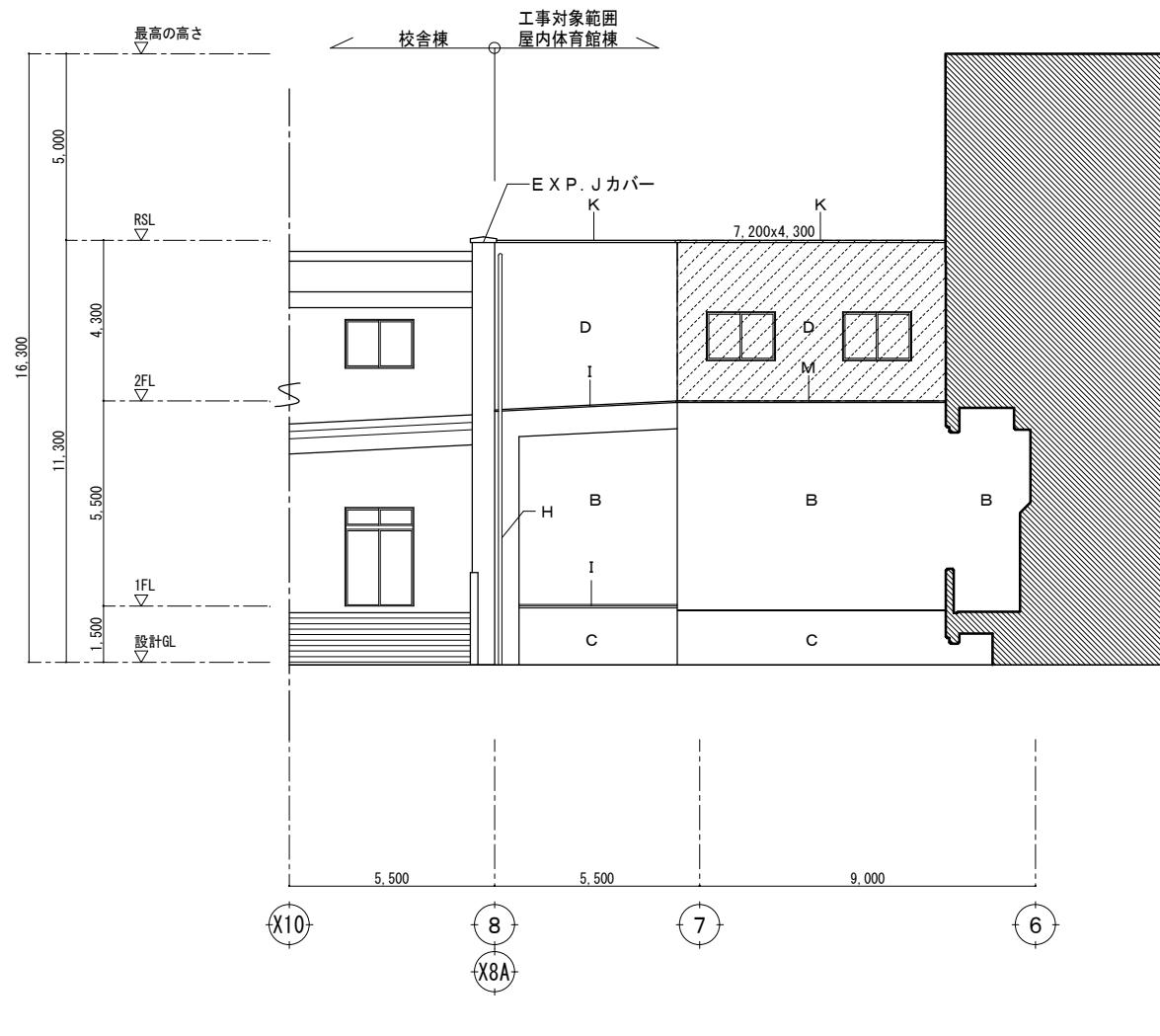
記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
A	完全防水屋根S&W工法 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板厚0.5	F	階段: 100角磁器タイル 段鼻同材タイル	K	笠木: アルミ製シルバー
B	コンクリート打放し アクリル系吹付タイル 化粧目地仕上	G	階段: モルタル金ゴテ仕上 段鼻タイル	L	鼻隠し: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.5曲加工
C	コンクリート打放し補修 化粧目地仕上	H	縦檻: ステンレス (SUS 304 HL) φ125	M	外壁見切: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.6曲加工
D	押出成型セメント板厚15縦張り アクリル系吹付タイル	I	アルミ製水切厚2.0	N	破風: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚1.2加工
E	押出成型セメント板厚15縦張り (リブ) アクリル系吹付タイル	J	コンクリート打放し アクリル系 クリヤー塗装		



既存 西側立面図 S=1/100

既存外部仕上 凡例

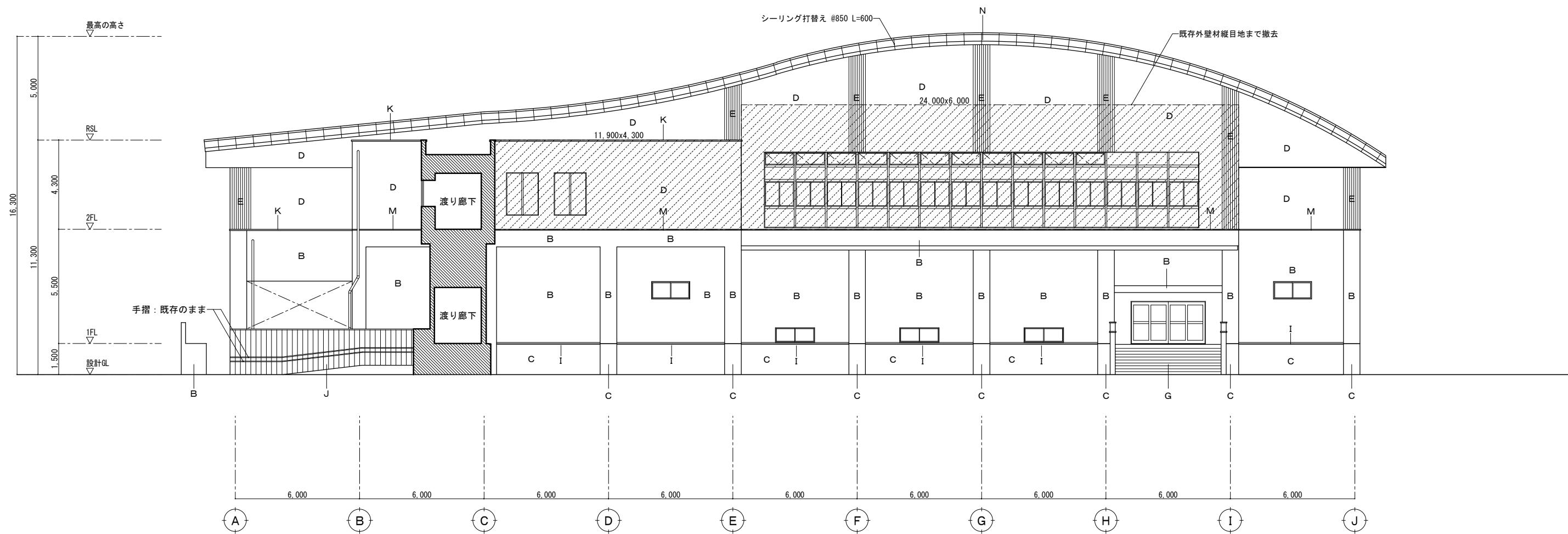
記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
A	完全防水屋根S&W工法 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板厚0.5	F	階段:100角磁器タイル 段鼻同材タイル	K	笠木:アルミ製シルバー
B	コンクリート打放し アクリル系吹付タイル 化粧目地仕上	G	階段:モルタル金ゴテ仕上 段鼻タイル	L	鼻隠し:耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.5曲加工
C	コンクリート打放し補修 化粧目地仕上	H	堅縫:ステンレス(SUS 304 HL) φ125	M	外壁見切:耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.6曲加工
D	押出成型セメント板厚15繊張り アクリル系吹付タイル	I	アルミ製水切厚2.0	N	破風:耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚1.2加工
E	押出成型セメント板厚15繊張り(リブ) アクリル系吹付タイル	J	コンクリート打放し アクリル系 クリヤー塗装		



改修外部仕上 凡例

記号	既存仕様	記号	既存仕様	記号	既存仕様
	改修仕様		改修仕様		改修仕様
A	完全防水屋根S&W工法 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板厚0.5	F	階段:100角磁器タイル 段鼻同材タイル	K	笠木:アルミ製W=225
	既存塗膜除去(低圧洗浄)、下地調整の上遮熱塗料塗り		既存のまま		既存撤去、アルミ笠木W=275新設
B	コンクリート打放し アクリル系吹付タイル 化粧目地仕上	G	階段:モルタル金ゴテ仕上 段鼻タイル	L	鼻隠し:耐火野地板t12下地フッ素樹脂塗装GL鋼板t0.5包み
	既存塗膜除去(高圧水洗工法)、劣化部補修、下地調整の上カケン外壁化粧防水材仕上 伸縮目地・化粧目地:既存シーリング撤去、新設シーリング打替え(MS-2)		既存のまま		既存塗膜除去、下地調整の上遮熱塗料塗り
C	コンクリート打放し補修 化粧目地仕上	H	堅縫:ステンレス(SUS 304 HL)φ125	M	外壁見切:耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.6加工
	劣化部補修、下地調整の上シリコン系微弾性塗材 化粧目地:既存シーリング撤去、新設シーリング打替え(MS-2)		既存撤去の上、SUS製たてとい125φ 支持金具:SUS製新設 飾ります:SUS製新設		既存の上、新設カラーSUS0.4加工
D	押出成型セメント板厚15縫張り アクリル系吹付タイル	I	アルミ製水切厚2.0	N	破風:耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚1.2加工
	透湿防水シート、新設胴縁組の上カラーSUS0.4スパンドレルt15(平板)縫張り		既存水切撤去、アルミ製t2.0水切D=150新設		既存塗膜除去、下地調整の上遮熱塗料塗り
E	押出成型セメント板厚15縫張り(リブ) アクリル系吹付タイル	J	コンクリート打放し アクリル系 クリヤー塗装		
	透湿防水シート、新設胴縁組の上カラーSUS0.4スパンドレルt15(リブ)縫張り		既存塗膜除去(高圧水洗工法)、劣化部補修、下地調整の上カケン外壁化粧防水材仕上		

凡例
既存押出成型セメント板撤去、既存サッシ撤去・新設の上 新設押出成型セメント板t15(神島化学工業ラムダ同等)縫張り(1時間耐火) 耐火被覆:外壁裏及び下地材にロックウールt35吹付 耐火時間FP060NE-9305による施工 上記施工の上スパンドレル改修工とする

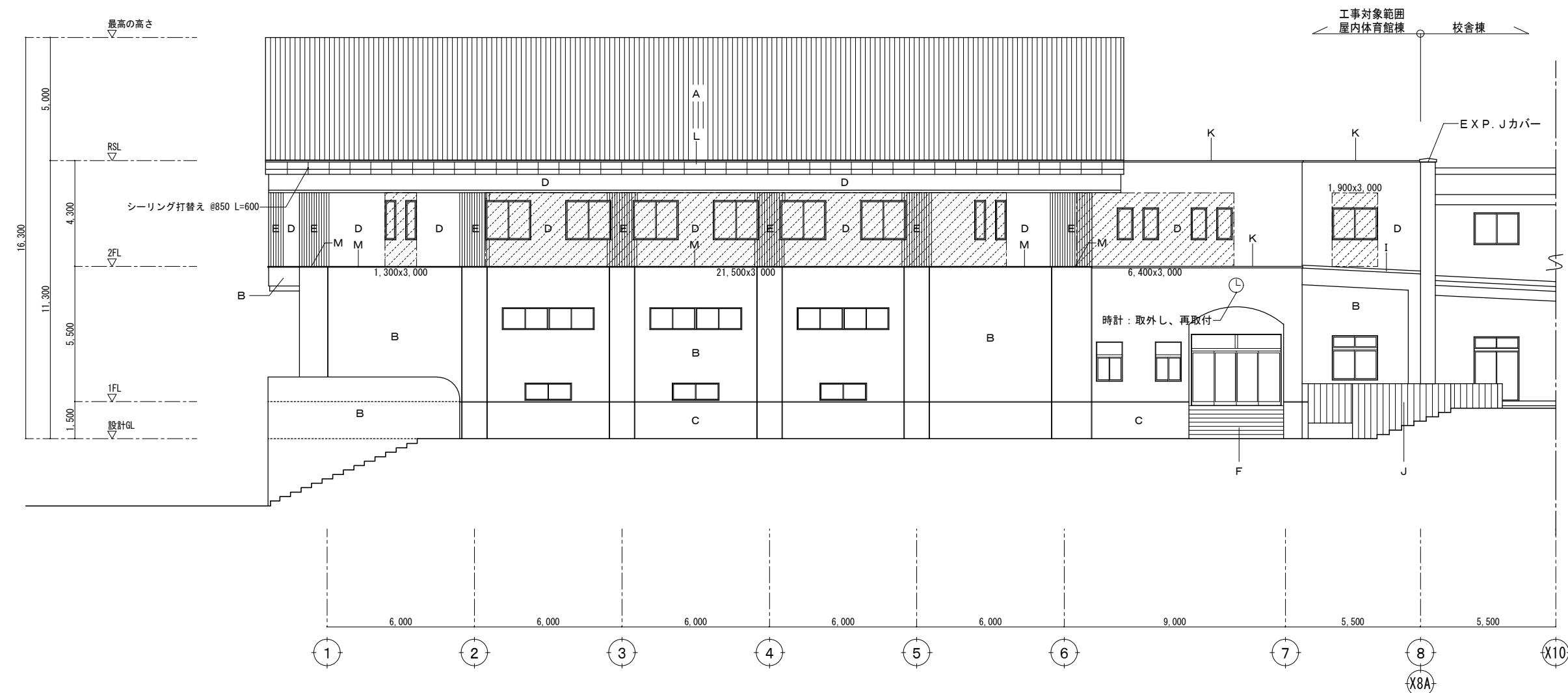


改修 東側立面図 S=1/100

改修外部仕上 凡例

記号	既存仕様	記号	既存仕様	記号	既存仕様
	改修仕様		改修仕様		改修仕様
A	完全防水屋根 S & W工法 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板厚0.5	F	階段: 100角磁器タイル 段鼻同材タイル	K	笠木: アルミ製W=225
	既存塗膜除去(低圧洗浄)、下地調整の上遮熱塗料塗り		既存のまま		既存撤去、アルミ笠木W=275新設
B	コンクリート打放し アクリル系吹付タイル 化粧目地仕上	G	階段: モルタル金ゴテ仕上 段鼻タイル	L	鼻隠し: 耐火野地板t12下地フッ素樹脂塗装GL鋼板t0.5包み
	既存塗膜除去(高圧洗浄法)、劣化部補修、下地調整の上カケン外壁化粧防水材仕上 伸縮目地・化粧目地: 既存シーリング撤去、新設シーリング打替え(MS-2)		既存のまま		既存塗膜除去、下地調整の上遮熱塗料塗り
C	コンクリート打放し補修 化粧目地切仕上	H	堅縫: ステンレス (SUS 304 HL) φ125	M	外壁見切: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.6加工
	劣化部補修、下地調整の上シリコン系微弾性塗材 化粧目地: 既存シーリング撤去、新設シーリング打替え(MS-2)		既存撤去の上、SUS製たてとい125φ 支持金具: SUS製新設 飾ります: SUS製新設		既存の上、新設カラーSUS0.4加工
D	押出成型セメント板厚15縦張り アクリル系吹付タイル	I	アルミ製水切厚2.0	N	破風: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚1.2加工
	透湿防水シート、新設胴縁組の上カラーSUS0.4スパンドレルt15(平板)縦張り		既存水切撤去、アルミ製t2.0水切D=150新設		既存塗膜除去、下地調整の上遮熱塗料塗り
E	押出成型セメント板厚15縦張り(リブ) アクリル系吹付タイル	J	コンクリート打放し アクリル系 クリヤー塗装		
	透湿防水シート、新設胴縁組の上カラーSUS0.4スパンドレルt15(リブ)縦張り		既存塗膜除去(高圧洗浄法)、劣化部補修、下地調整の上カケン外壁化粧防水材仕上		

凡例
既存押出成型セメント板撤去、既存サッシ撤去・新設の上 新設押出成型セメント板t15(神島化学工業ラムダ同等)縦張り(1時間耐火) 耐火被覆: 外壁裏及び下地材にロックウールt35吹付 耐火時間FP060NE-9305による施工 上記施工の上スパンドレル改修施工とする

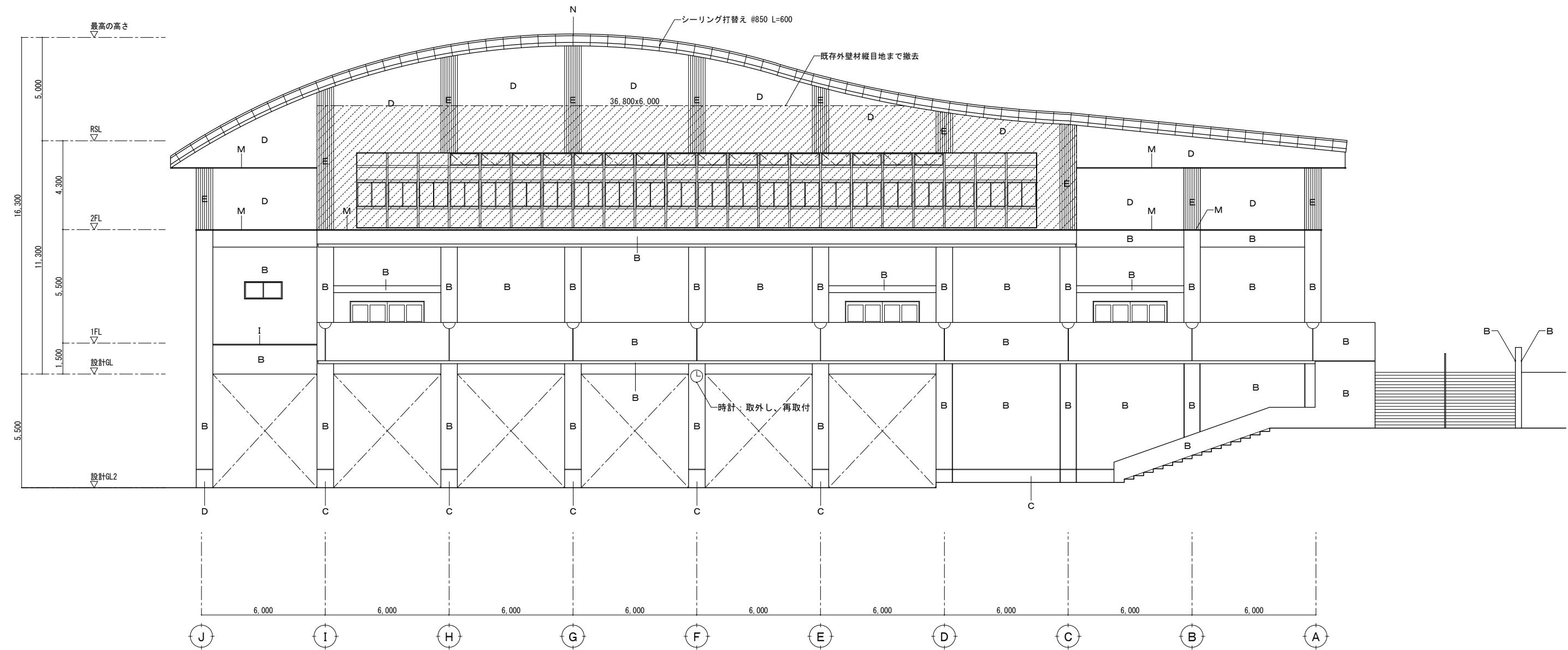


改修 南側立面図 S=1/100

改修外部仕上 凡例

記号	既存仕様	記号	既存仕様	記号	既存仕様
	改修仕様		改修仕様		改修仕様
A	完全防水屋根 S & W工法 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板厚0.5	F	階段: 100角磁器タイル 段鼻同材タイル	K	笠木: アルミ製W=225
	既存塗膜除去(低圧洗浄)、下地調整の上遮熱塗料塗り		既存のまま		既存撤去、アルミ笠木W=275新設
B	コンクリート打放し アクリル系吹付タイル 化粧目地仕上	G	階段: モルタル金ゴテ仕上 段鼻タイル	L	鼻隠し: 耐火野地板t12下地フッ素樹脂塗装GL鋼板t0.5包み
	既存塗膜除去(高圧洗浄法)、劣化部補修、下地調整の上カケン外壁化粧防水材仕上 伸縮目地・化粧目地: 既存シーリング撤去、新設シーリング打替え(MS-2)		既存のまま		既存塗膜除去、下地調整の上遮熱塗料塗り
C	コンクリート打放し補修 化粧目地切仕上	H	堅縫: ステンレス (SUS 304 HL) φ125	M	外壁見切: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.6加工
	劣化部補修、下地調整の上シリコン系微弾性塗材 化粧目地: 既存シーリング撤去、新設シーリング打替え(MS-2)		既存撤去の上、SUS製たてとい125φ 支持金具: SUS製新設 飾ります: SUS製新設		既存の上、新設カラーSUS0.4加工
D	押出成型セメント板厚15縫張り アクリル系吹付タイル	I	アルミ製水切厚2.0	N	破風: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚1.2加工
	透湿防水シート、新設胴縁組の上カラーSUS0.4スパンドレルt15(平板)縫張り		既存水切撤去、アルミ製t2.0水切D=150新設		既存塗膜除去、下地調整の上遮熱塗料塗り
E	押出成型セメント板厚15縫張り (リブ) アクリル系吹付タイル	J	コンクリート打放し アクリル系 クリヤー塗装		
	透湿防水シート、新設胴縁組の上カラーSUS0.4スパンドレルt15(リブ)縫張り		既存塗膜除去(高圧洗浄法)、劣化部補修、下地調整の上カケン外壁化粧防水材仕上		

凡例
既存押出成型セメント板撤去、既存サッシ撤去・新設の上 新設押出成型セメント板t15(神島化学工業ラムダ同等)縫張り(1時間耐火) 耐火被覆: 外壁裏及び下地材にロックウールt35吹付 耐火時間FP060NE-9305による施工 上記施工の上スパンドレル改修施工とする



改修 西側立面図 S=1/100

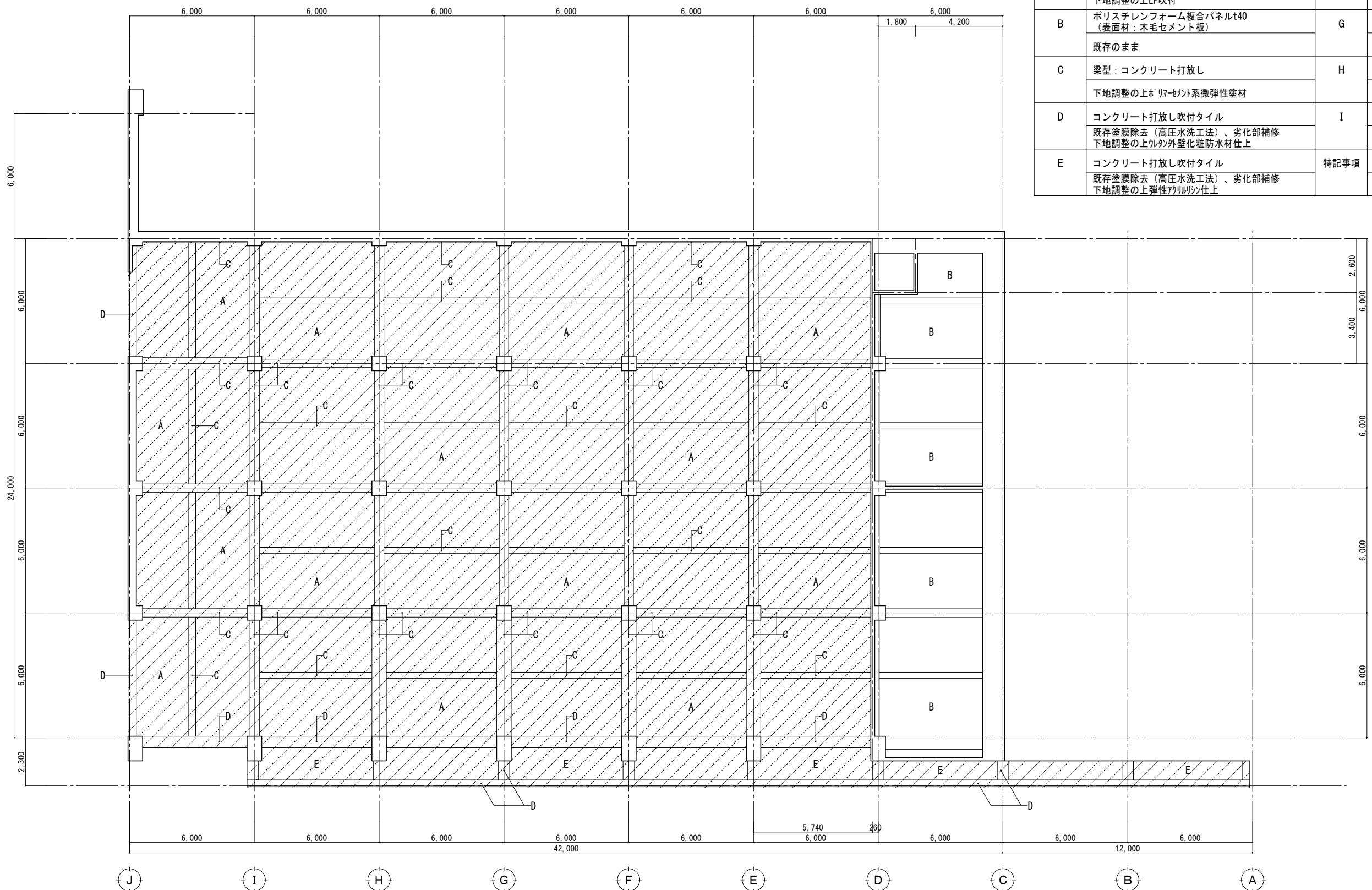
改修外部仕上 凡例

記号	既存仕様	記号	既存仕様	記号	既存仕様
	改修仕様		改修仕様		改修仕様
A	完全防水屋根S&W工法 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板厚0.5	F	階段: 100角磁器タイル 段鼻同材タイル	K	笠木: アルミ製W=225
	既存塗膜除去(低圧洗浄)、下地調整の上遮熱塗料塗り		既存のまま		既存撤去、アルミ笠木W=275新設
B	コンクリート打放し アクリル系吹付タイル 化粧目地仕上	G	階段: モルタル金ゴテ仕上 段鼻タイル	L	鼻隠し: 耐火野地板t12下地フッ素樹脂塗装GL鋼板t0.5包み
	既存塗膜除去(高圧水洗工法)、劣化部補修、下地調整の上カケン外壁化粧防水材仕上 伸縮目地・化粧目地: 既存シーリング撤去、新設シーリング打替え(MS-2)		既存のまま		既存塗膜除去、下地調整の上遮熱塗料塗り
C	コンクリート打放し補修 化粧目地仕上	H	堅縫: ステンレス(SUS 304 HL) φ125	M	外壁見切: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚0.6加工
	劣化部補修、下地調整の上リマセメント系微弾性塗材 化粧目地: 既存シーリング撤去、新設シーリング打替え(MS-2)		既存撤去の上、SUS製たてとい125φ 支持金具: SUS製新設 飾ります: SUS製新設		既存の上、新設カラーSUS0.4加工
D	押出成型セメント板厚15縦張り アクリル系吹付タイル	I	アルミ製水切厚2.0	N	破風: 耐摩フッ素樹脂塗装 ガルバリウム鋼板 厚1.2加工
	透湿防水シート、新設胴縁組の上カラーSUS0.4スパンドレルt15(平板)縦張り		既存水切撤去、アルミ製t2.0水切D=150新設		既存塗膜除去、下地調整の上遮熱塗料塗り
E	押出成型セメント板厚15縦張り(リブ) アクリル系吹付タイル	J	コンクリート打放し アクリル系 クリヤー塗装		
	透湿防水シート、新設胴縁組の上カラーSUS0.4スパンドレルt15(リブ)縦張り		既存塗膜除去(高圧水洗工法)、劣化部補修、下地調整の上カケン外壁化粧防水材仕上		

凡例
既存押出成型セメント板撤去、既存サッシ撤去・新設の上 新設押出成型セメント板t15(神島化学工業ラムダ同等)縦張り(1時間耐火) 耐火被覆: 外壁裏及び下地材にロックウールt35吹付 耐火1時間FP060NE-9305による施工 上記施工の上スパンドレル改修工とする

改修天井仕上 凡例

記 号	既存仕様	記 号	既存仕様
	改修仕様		改修仕様
A	ポリスチレンフォーム複合パネルt40 (表面材:木モセメント板)アクリルシン吹付	F	ポリスチレンフォーム複合パネルt40 (表面材:木モセメント板)吹付タイル
	下地調整の上EP吹付		下地調整の上EP吹付
B	ポリスチレンフォーム複合パネルt40 (表面材:木モセメント板)	G	GB-Rt12.5下地太平板t6吹付タイル
	既存のまま		下地調整の上弹性アクリルシ仕上
C	梁型:コンクリート打放し	H	アルミスパンドレル 曲面施工
	下地調整の上ポリモセメント系微弹性塗材		既存仕上材撤去の上アルミスパンドレル(曲面)張り(平型)
D	コンクリート打放し吹付タイル	I	GB-D(ジブトーン)t9.5張り
	既存塗膜除去(高圧水洗工法)、劣化部補修 下地調整の上アクリル外壁化粧防水材仕上		既存GB-Dt9.5撤去、既存LGSの上 GB-D(ジブトーン)t9.5張り
E	コンクリート打放し吹付タイル 既存塗膜除去(高圧水洗工法)、劣化部補修 下地調整の上弹性アクリルシ仕上	特記事項	本工事の改修範囲を示す 上記改修範囲外は既存のまま

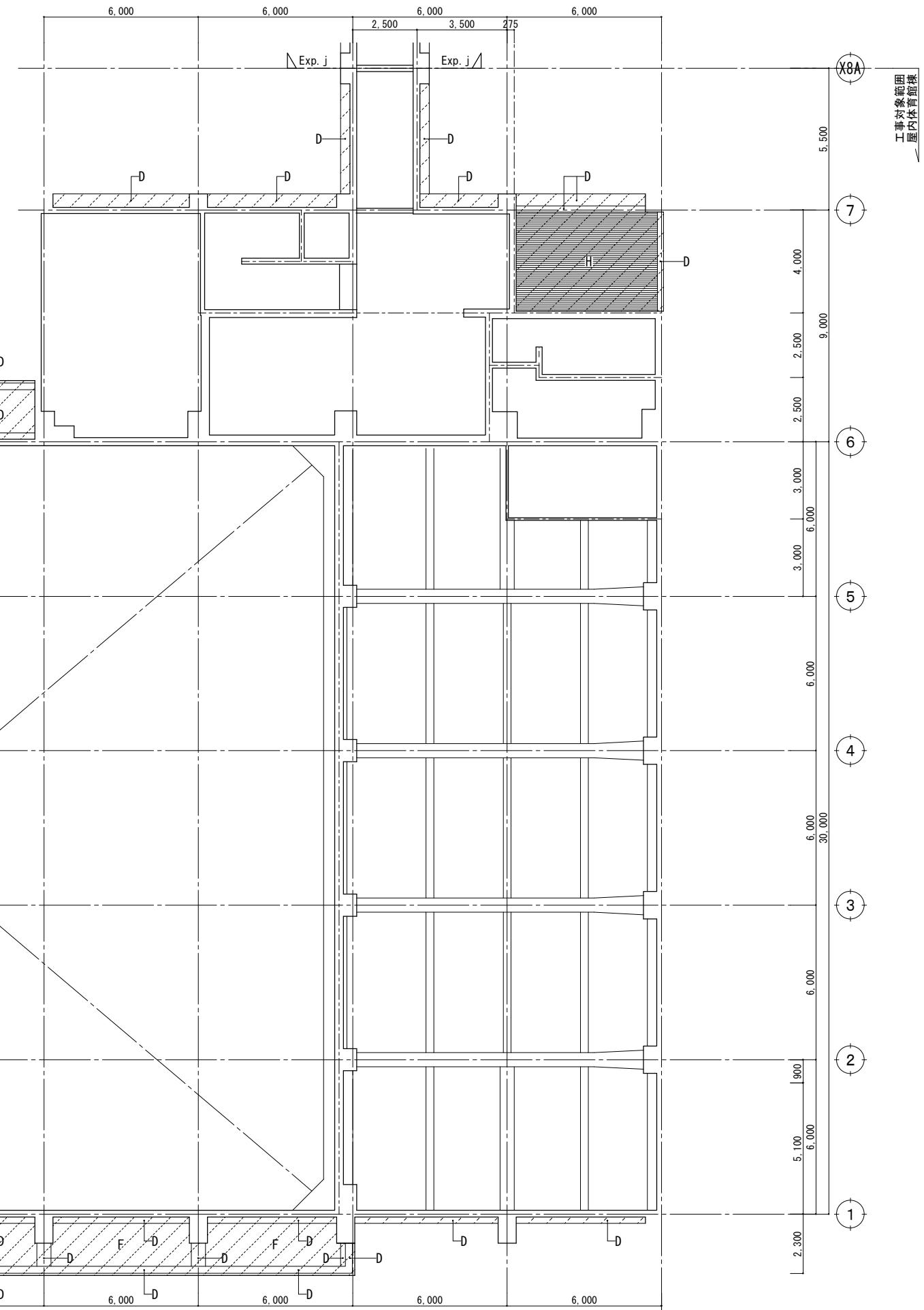


記事

工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和7年 10月日	図面 No.	縮 尺	(株)栗本設計事務所	
	改修 B1階天井伏図						〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25	一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878

改修天井仕上 凡例

記号	既存仕様	記号	既存仕様
	改修仕様		改修仕様
A	ポリスチレンフォーム複合パネルt40 (表面材:木毛セメント板) アクリルリシン吹付	F	ポリスチレンフォーム複合パネルt40 (表面材:木毛セメント板) 吹付タイル
	下地調整の上EP吹付		下地調整の上EP吹付
B	ポリスチレンフォーム複合パネルt40 (表面材:木毛セメント板)	G	GB-Rt12.5下地太平板t6吹付タイル
	既存のまま		下地調整の上弾性アクリルシ仕上
C	梁型:コンクリート打放し	H	アルミスパンドレル 曲面施工
	下地調整の上ボルタセメント系微弾性塗材		既存仕上材撤去の上アルミスパンドレル(曲面)張り(平型)
D	コンクリート打放し吹付タイル	I	GB-D(ジブトーン)t9.5張り
	既存塗膜除去(高圧水洗工法)、劣化部補修 下地調整の上アクリル外壁化粧防水材仕上		既存GB-Dt9.5撤去、既存LGSの上 GB-D(ジブトーン)t9.5張り
E	コンクリート打放し吹付タイル	特記事項	— 本工事の改修範囲を示す
	既存塗膜除去(高圧水洗工法)、劣化部補修 下地調整の上弾性アクリルシ仕上		上記改修範囲外は既存のまま



改修 1階天井伏図 S=1/100

記事

工事名称	図面	作図	査図	令和7年 10月日	図面 No.	縮尺	(株)栗本設計事務所	
							10月日	A-28
鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	改修 1階天井伏図						〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25	一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878

改修天井仕上 凡例

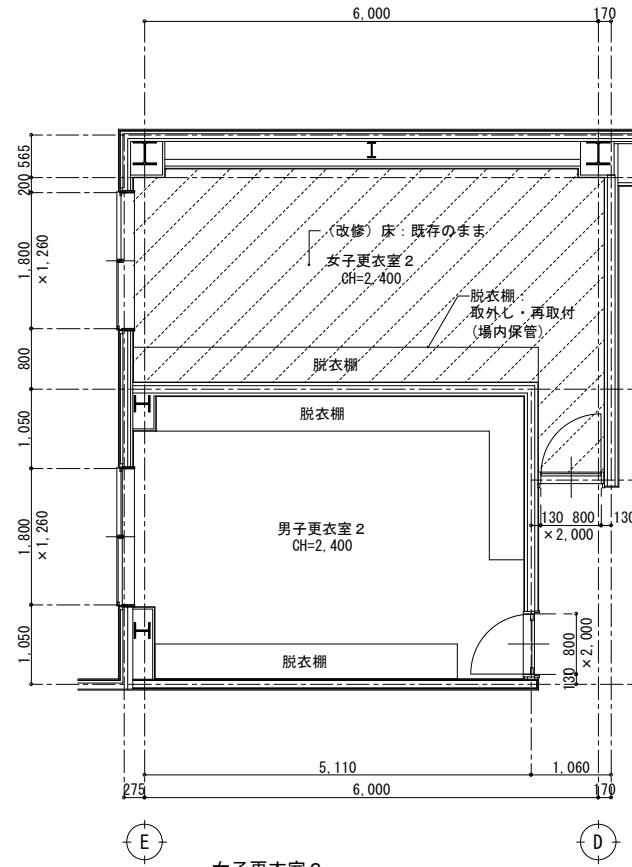
記号	既存仕様	記号	既存仕様
	改修仕様		改修仕様
A	ポリスチレンフォーム複合パネルt40 (表面材:木毛セメント板)アクリルシン吹付	F	ポリスチレンフォーム複合パネルt40 (表面材:木毛セメント板)吹付タイル
	下地調整の上EP吹付		下地調整の上EP吹付
B	ポリスチレンフォーム複合パネルt40 (表面材:木毛セメント板)	G	GB-Rt12.5下地太平板t6吹付タイル
	既存のまま		下地調整の上弹性アクリルシ仕上
C	梁型:コンクリート打放し	H	アルミスパンドレル 曲面施工
	下地調整の上ポリマーセメント系微弹性塗材		既存仕上材撤去の上アルミスパンドレル(曲面)張り(平型)
D	コンクリート打放し吹付タイル	I	GB-D(ジブトーン)t9.5張り
	既存塗膜除去(高压水洗工法)、劣化部補修 下地調整の上ガルバ外壁化粧防水材仕上		既存GB-Dt9.5撤去、既存LGSの上 GB-D(ジブトーン)t9.5張り
E	コンクリート打放し吹付タイル	特記事項	□ - 本工事の改修範囲を示す
	既存塗膜除去(高压水洗工法)、劣化部補修 下地調整の上弹性アクリルシ仕上		上記改修範囲外は既存のまま



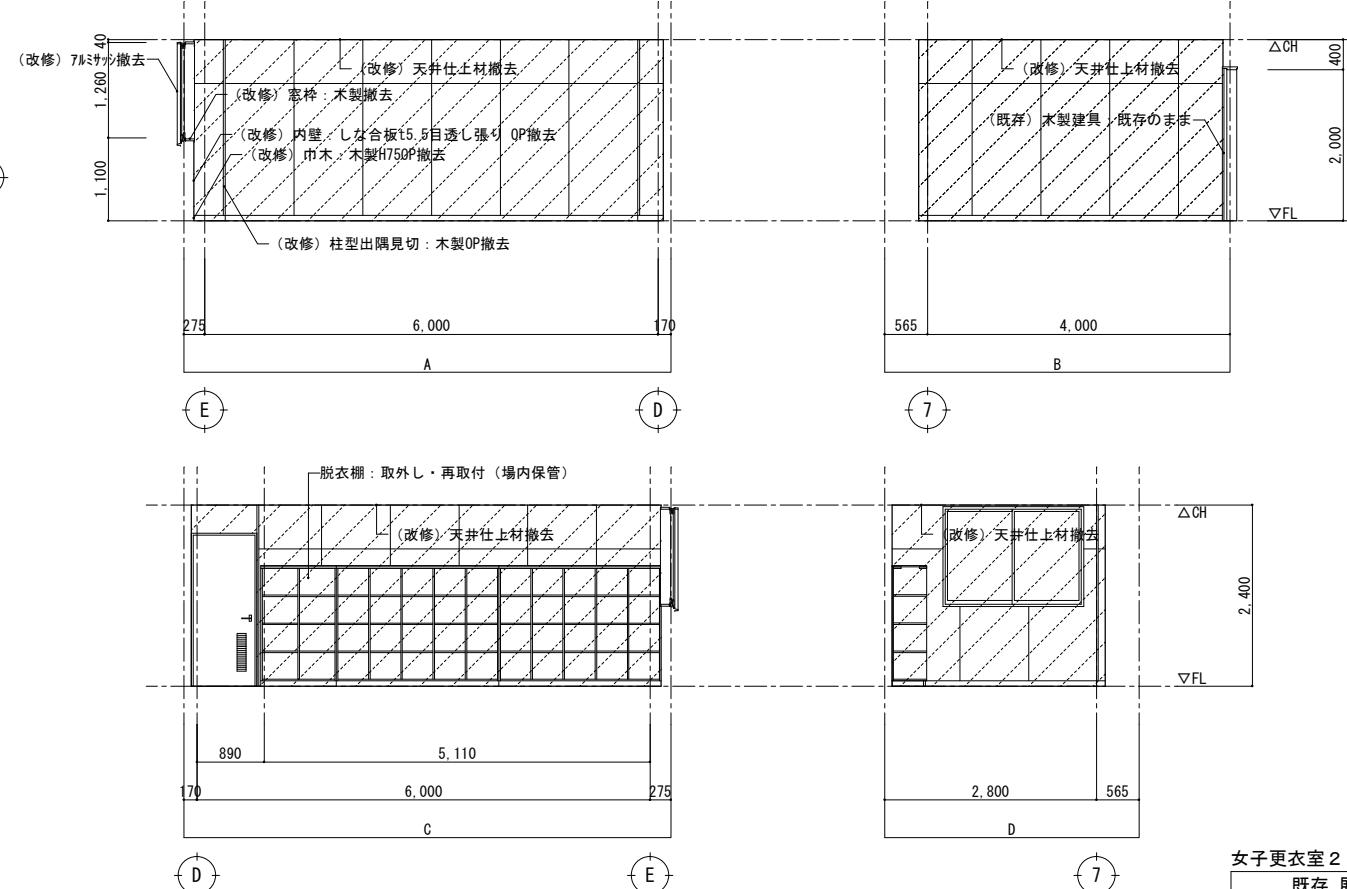
記事

工事名称	図面	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No.	縮尺	(株)栗本設計事務所		
							10月	10月	TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	改修 2階天井伏図			A-29	A1 S=1/100 A3 S=1/200		〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25		

改修前

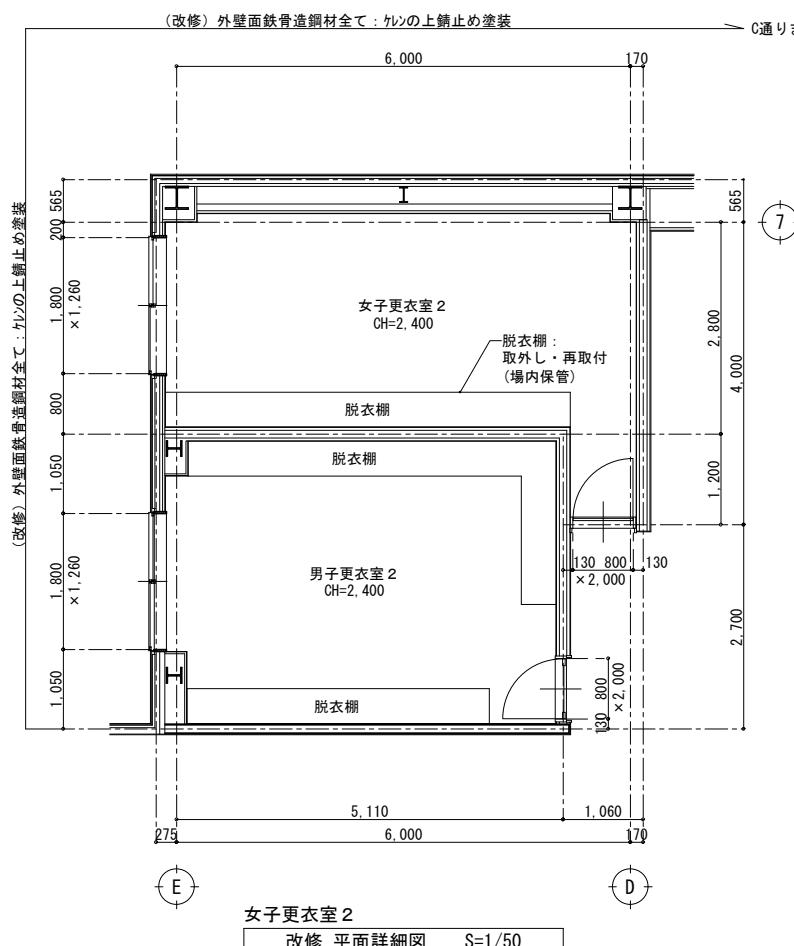


女子更衣室 2

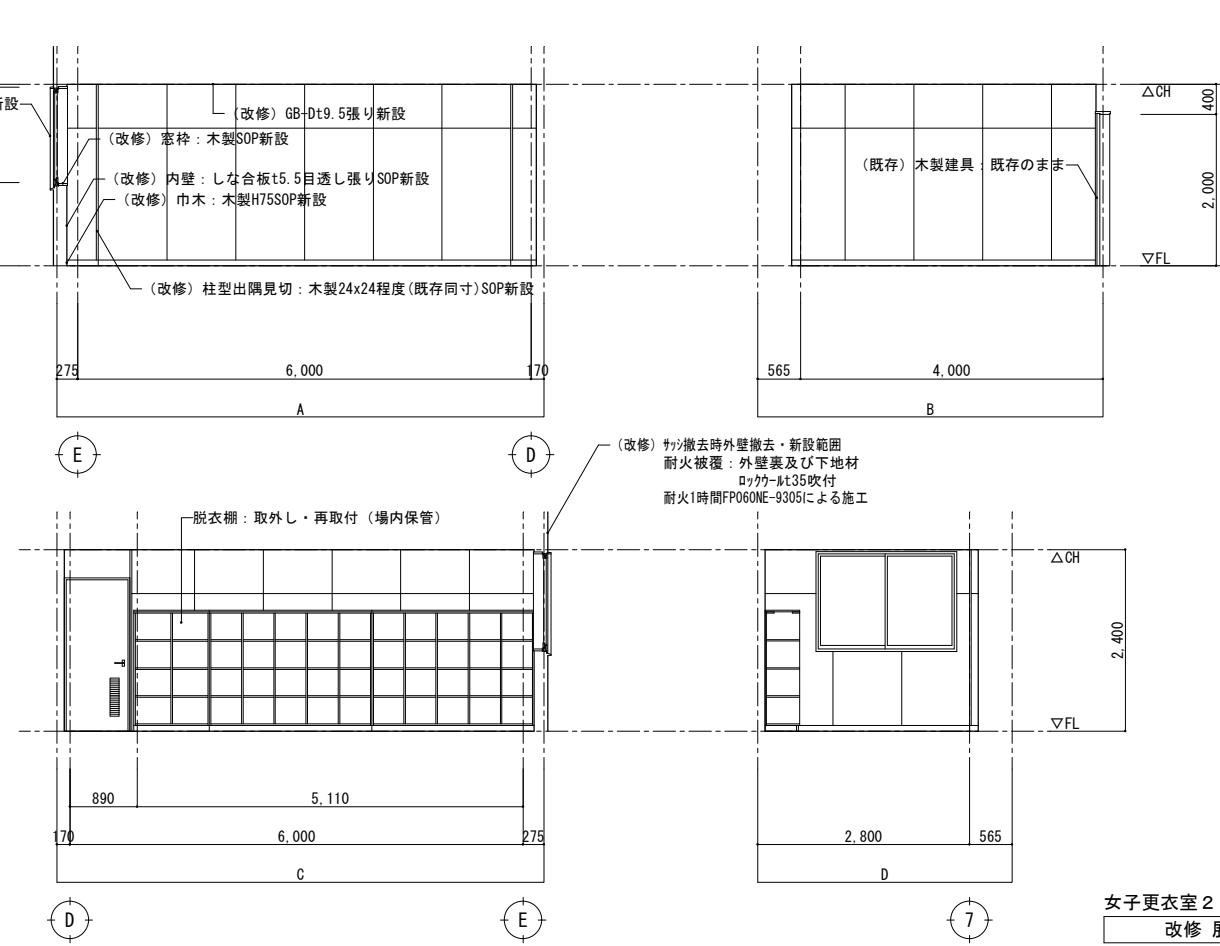


女子更衣室 2
既存 展開図 S=1/50

改修行



女子更衣室 2



女子更衣室 2

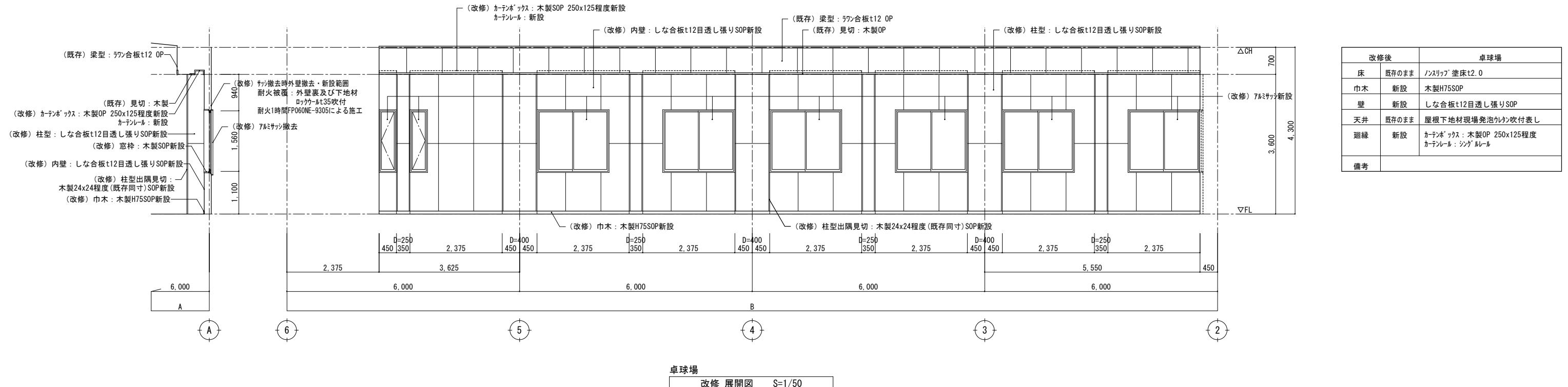
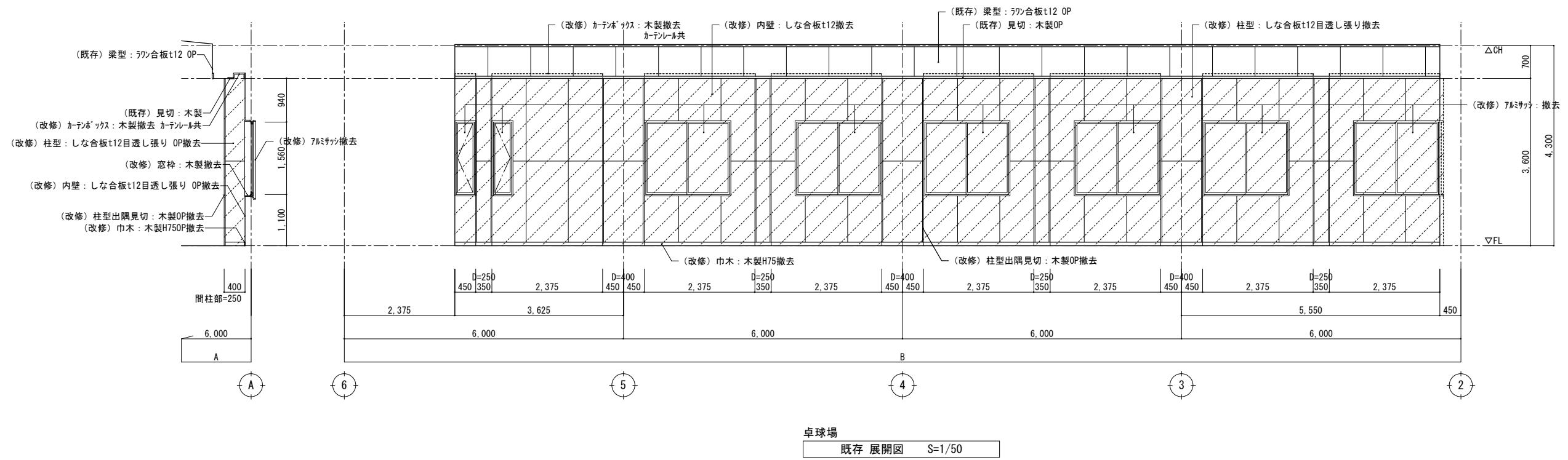
改修前		女子更衣室
床	既存のまま	ビニール床タiles2.0張り
巾木	撤去	木製H75 OP
壁	撤去	しな合板t5.5目透し張り OP
天井	撤去	GB-Dt9.5張り
廻縁	撤去	塩ビ
備考	改修範囲は図面表記の範囲とする	

— 改修範囲を示す

改修後		女子更衣室2
床	改修	既存仕上材の上セメントリング下地ビニール床マット2.5張り
巾木	改修	木製H75 SOP
壁	改修	既存LGS、木桐縁組の上しな合板t5.5目透し張りSOP
天井	改修	既存LGSの上GB-Dt9.5張り
廻縁	改修	塩ビ
備考		

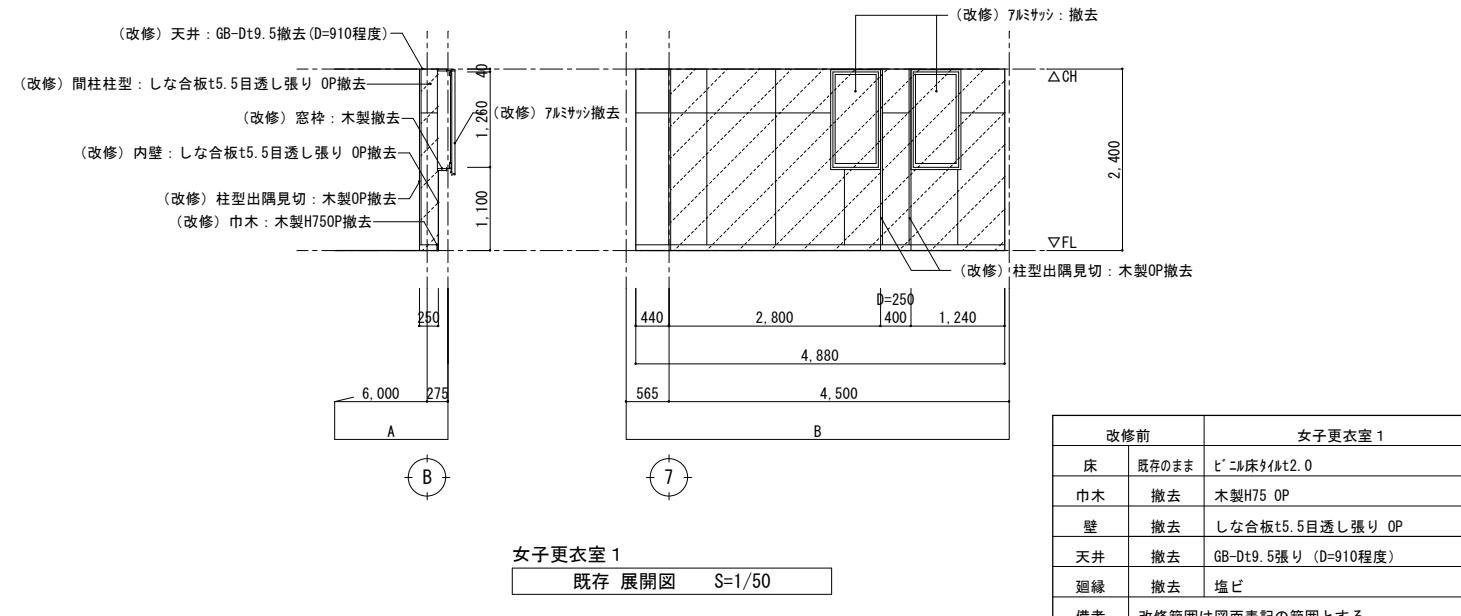
記事

記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No. A-30	縮 尺 A1 S=1/50 A3 S=1/100	(株)栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
図面	既存・改修 女子更衣室 2 平面詳細図・展開図							



改修

改修前

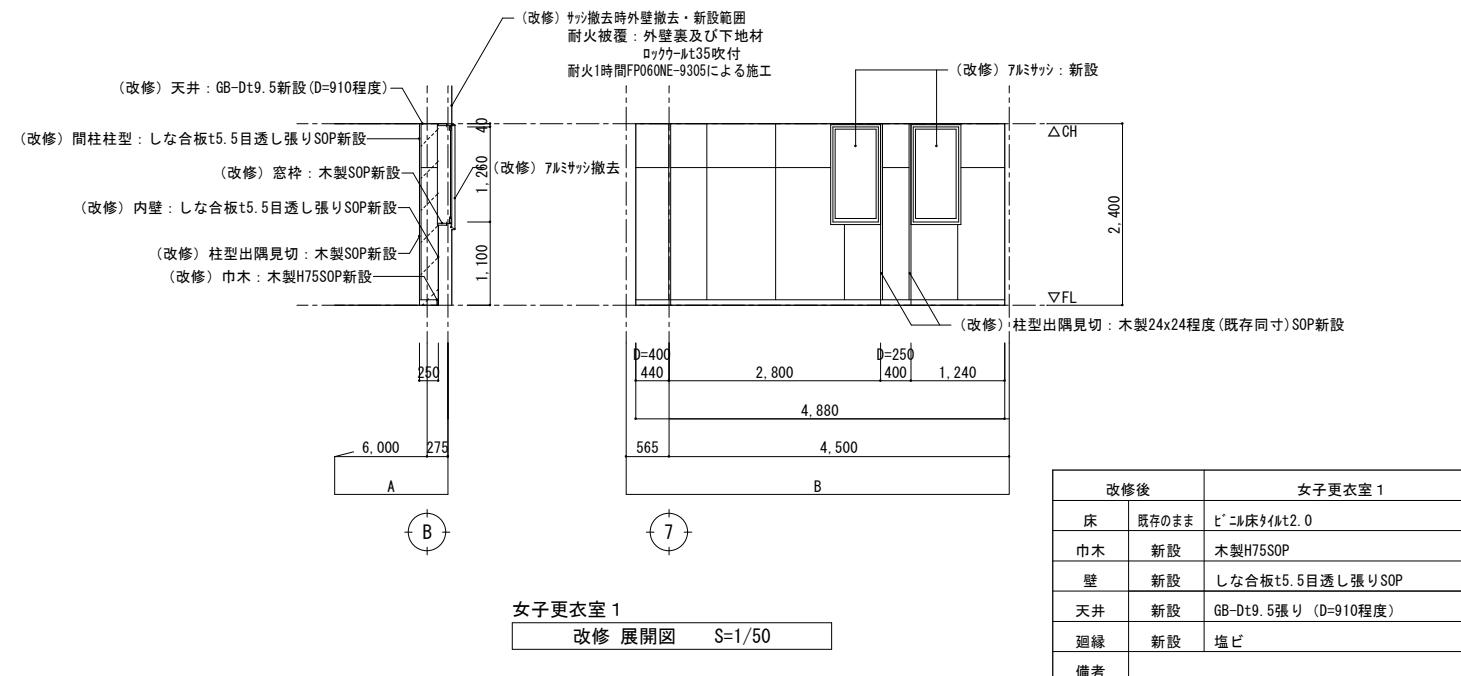


— 改修範囲を示す

— 改修範囲を示す

改修後

改修行

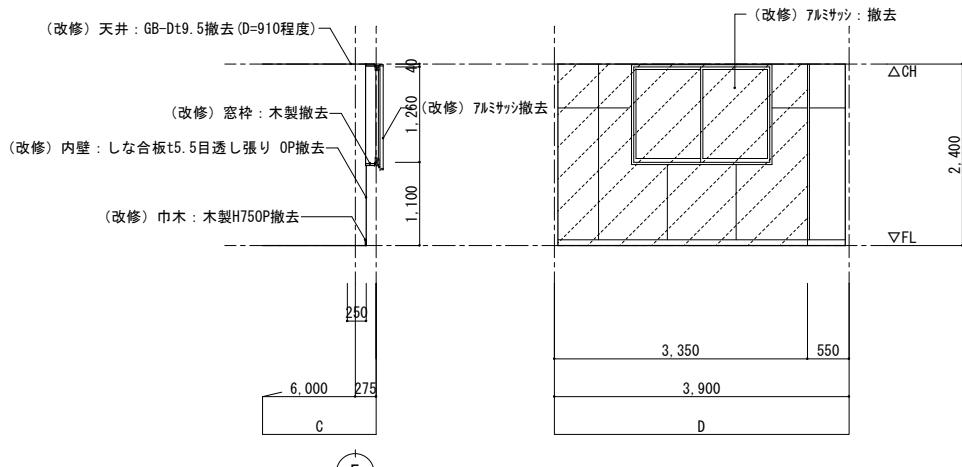


改修後		女子更衣室 1
床	既存のまま	ヒンケル床タイルt2.0
巾木	新設	木製H75SOP
壁	新設	しな合板t5.5目透し張りSOP
天井	新設	GB-Dt9.5張りり (D=910程度)
廻縁	新設	塩ビ
備考		

男子更衣室 1

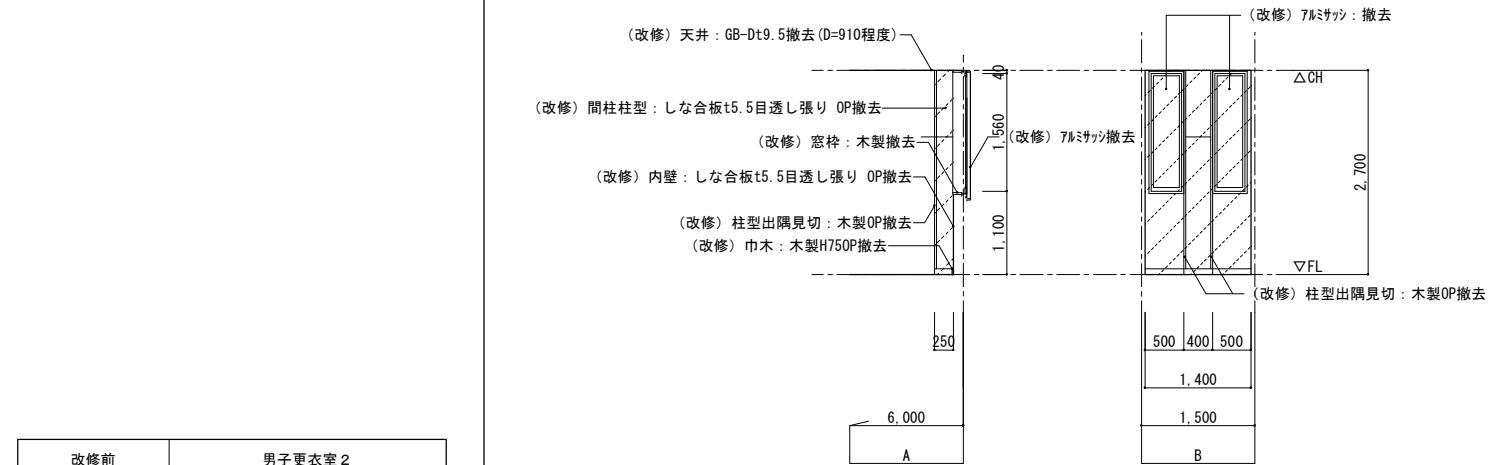
改修後		男子更衣室 1
床	既存のまま	ビニール床タイルt2.0
巾木	新設	木製H75SOP
壁	新設	しな合板t5.5目透し張りSOP
天井	新設	GB-Dt9.5張り (D=910程度)
廻縁	新設	塩ビ
備考		

改修前



男子更衣室 2
既存 展開図 S=1/50

改修前



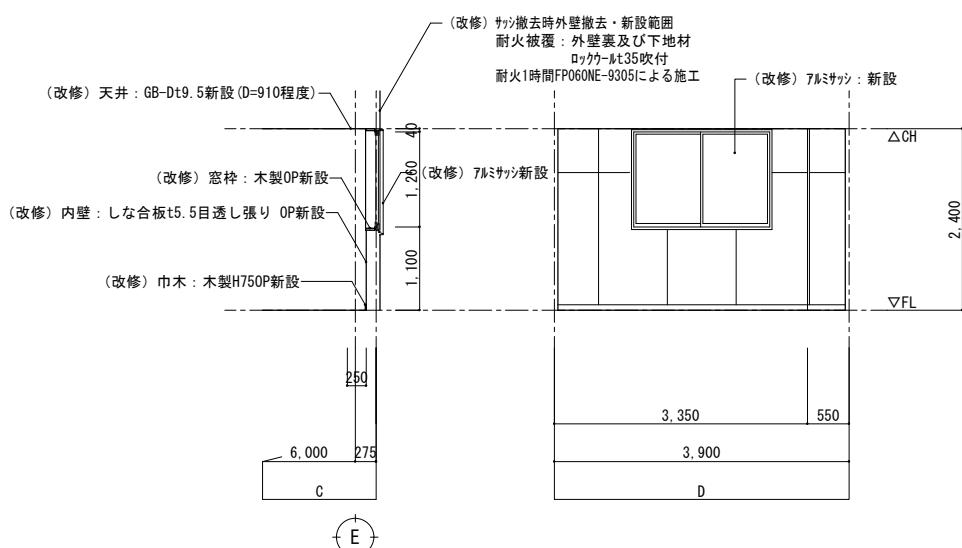
部室前廊下
既存 展開図 S=1/50

改修前	部室前廊下
床 既存のまま ピ'ニル床タイルt2.0	ピ'ニル床タイルt2.0
巾木 撤去 木製H75 OP	木製H75 OP
壁 撤去 しな合板t5.5目透し張り OP	しな合板t5.5目透し張り OP
天井 撤去 GB-Dt9.5張り (D=910程度)	GB-Dt9.5張り (D=910程度)
廻縁 撤去 塩ビ	塩ビ
備考 改修範囲は図面表記の範囲とする	改修範囲は図面表記の範囲とする

[diagonal hatching] - 改修範囲を示す

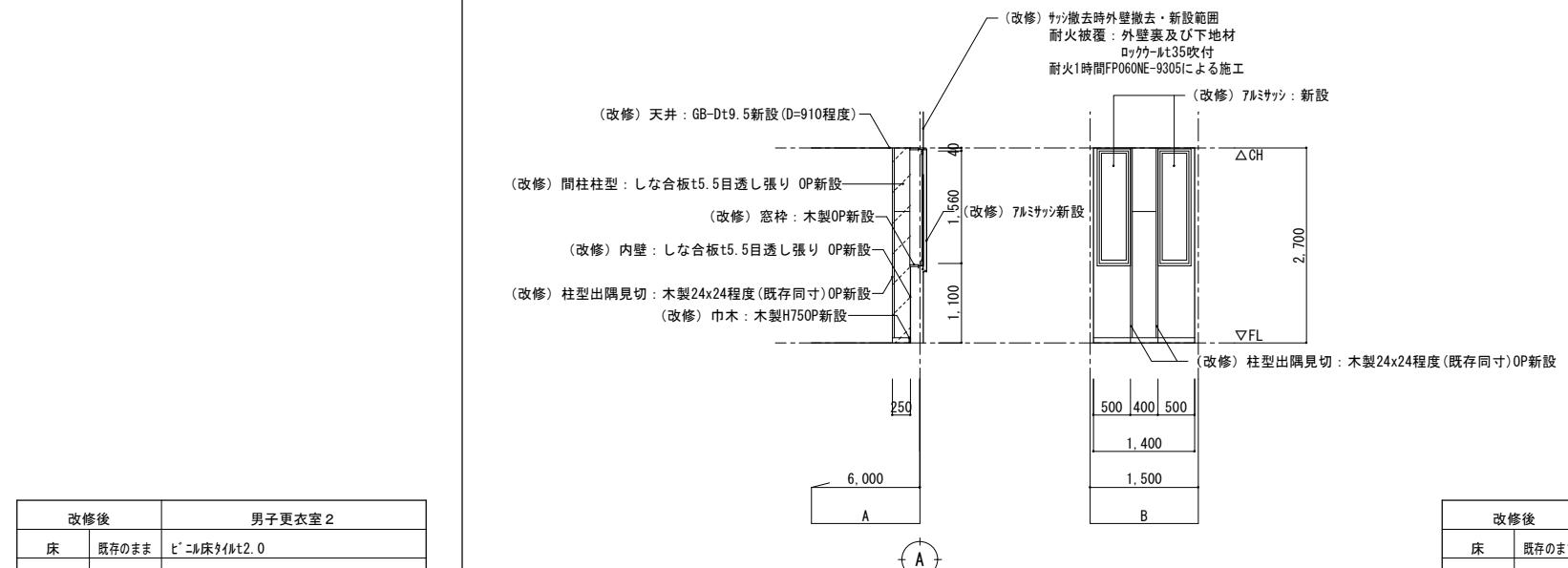
[diagonal hatching] - 改修範囲を示す

改修後



男子更衣室 2
改修 展開図 S=1/50

改修後



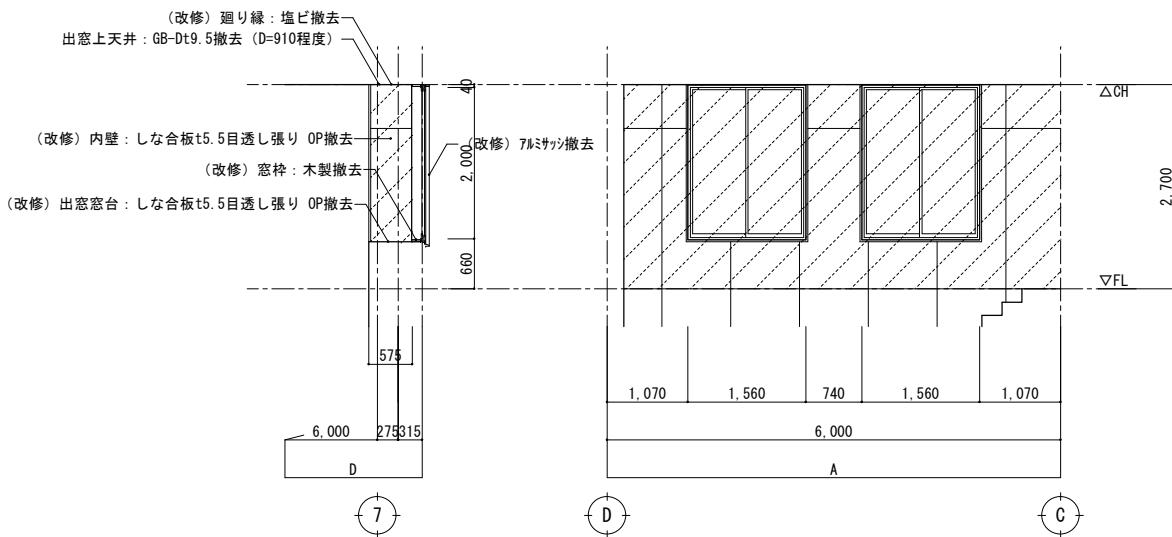
部室前廊下
既存 展開図 S=1/50

改修後	部室前廊下
床 既存のまま ピ'ニル床タイルt2.0	ピ'ニル床タイルt2.0
巾木 新設 木製H75 OP	木製H75 OP
壁 新設 しな合板t5.5目透し張り OP	しな合板t5.5目透し張り OP
天井 新設 GB-Dt9.5張り (D=910程度)	GB-Dt9.5張り (D=910程度)
廻縁 新設 塩ビ	塩ビ
備考	

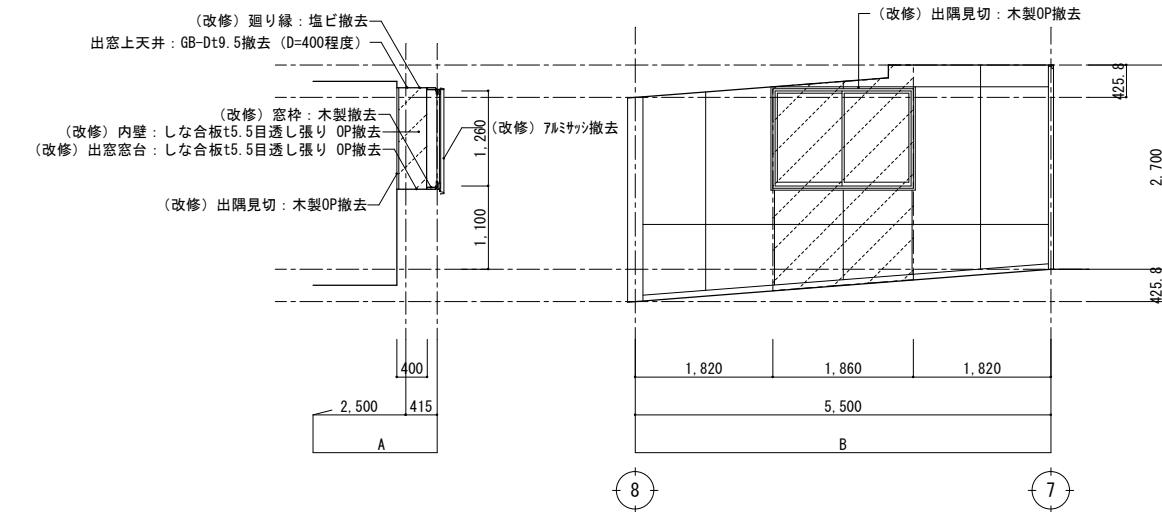
記事

工事名称	図面	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No.	縮 尺	(株)栗本設計事務所	
							既存・改修 展開図(3)	〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878

改修前



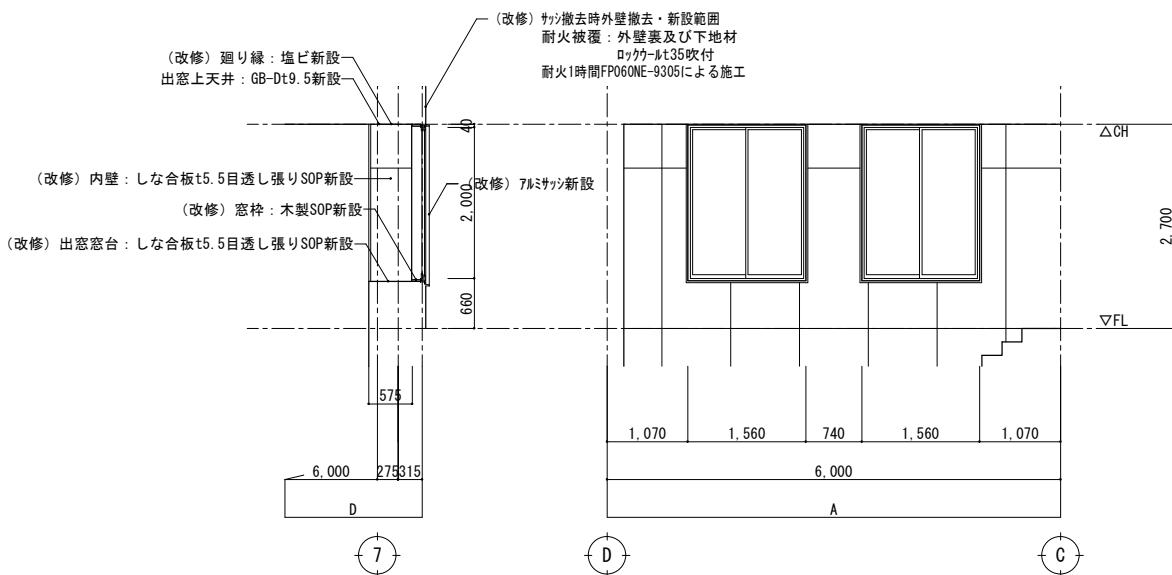
改修前



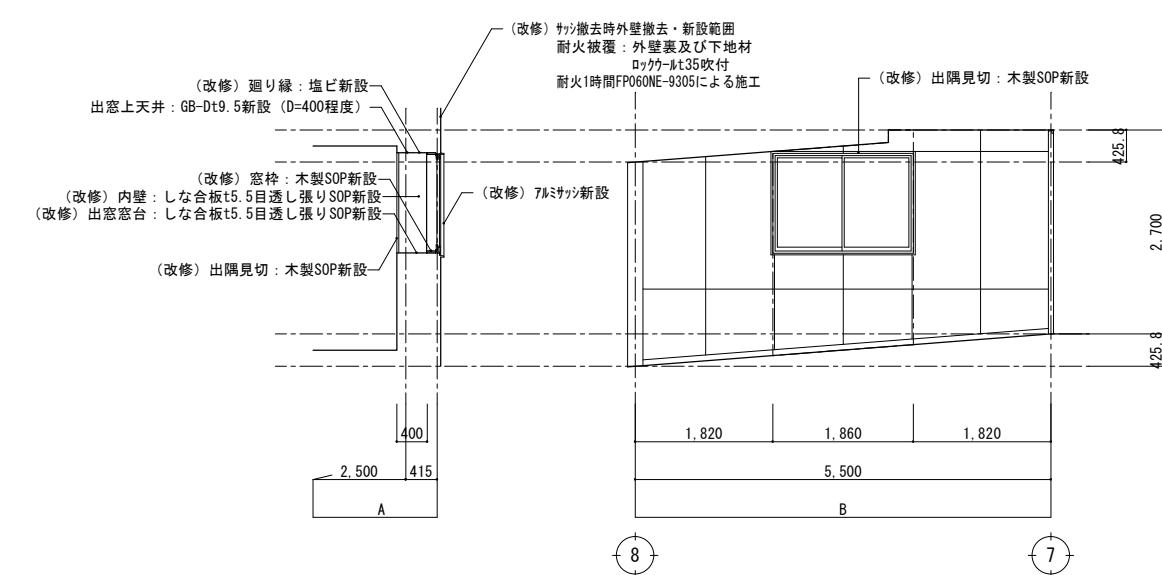
- 改修範囲を示す

- 改修範囲を示す

改修後



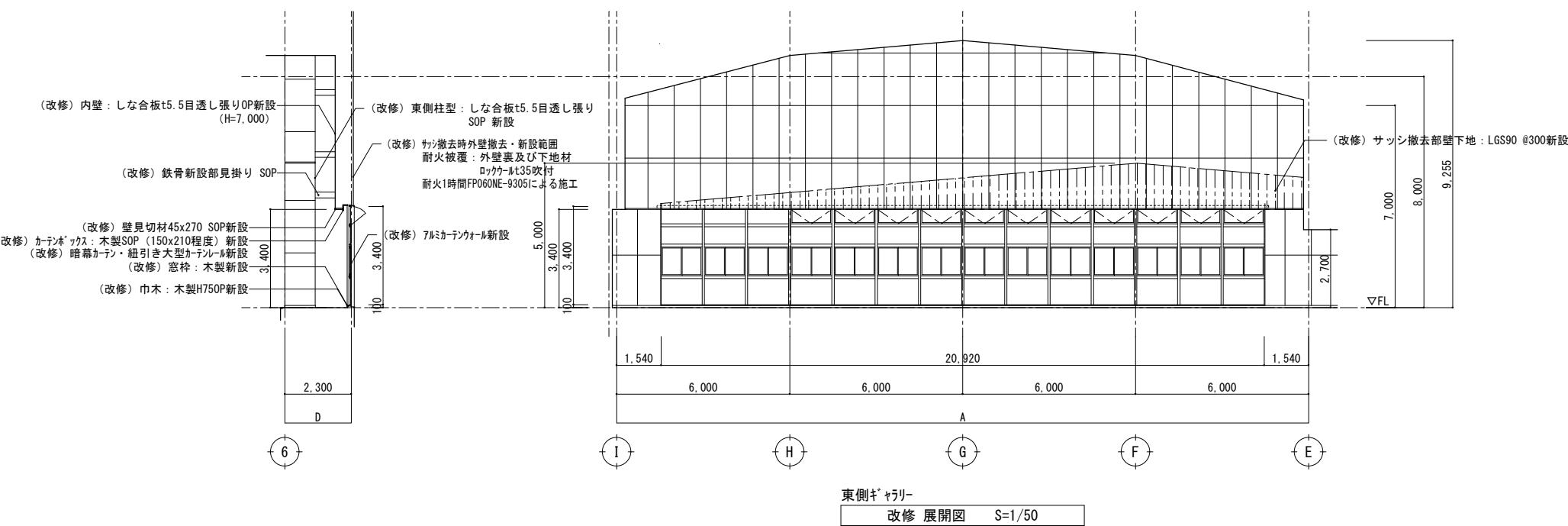
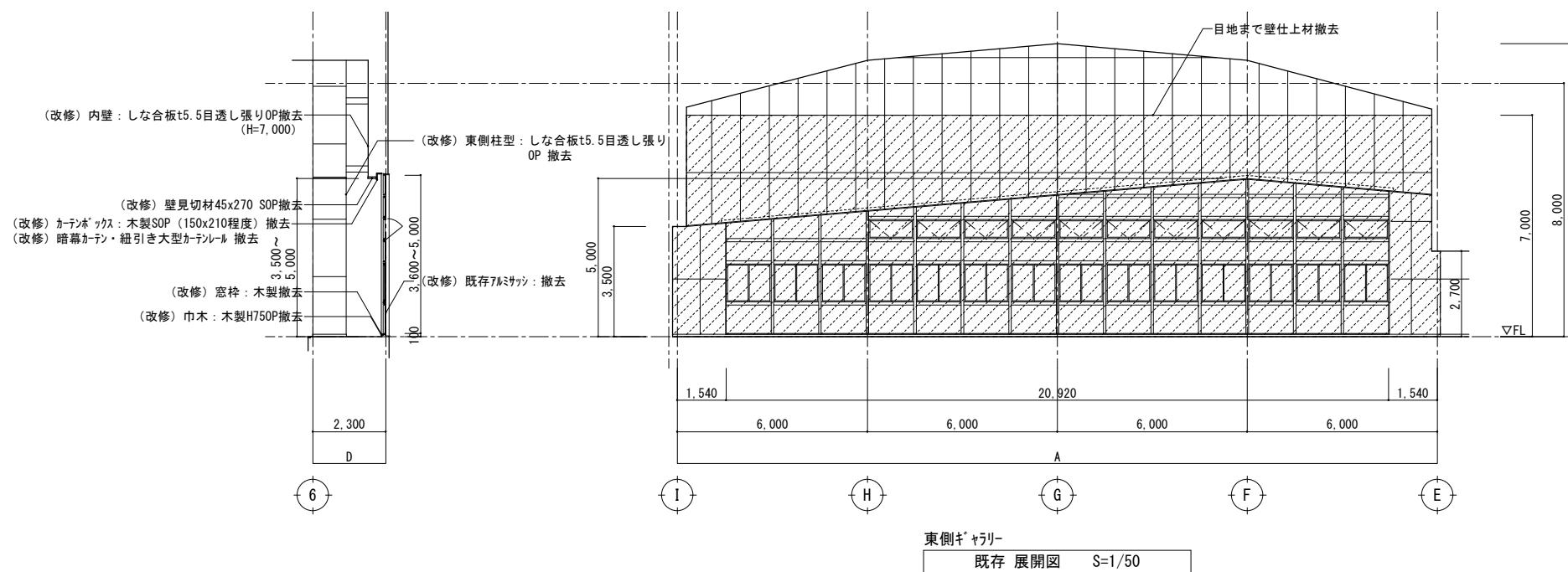
改修後

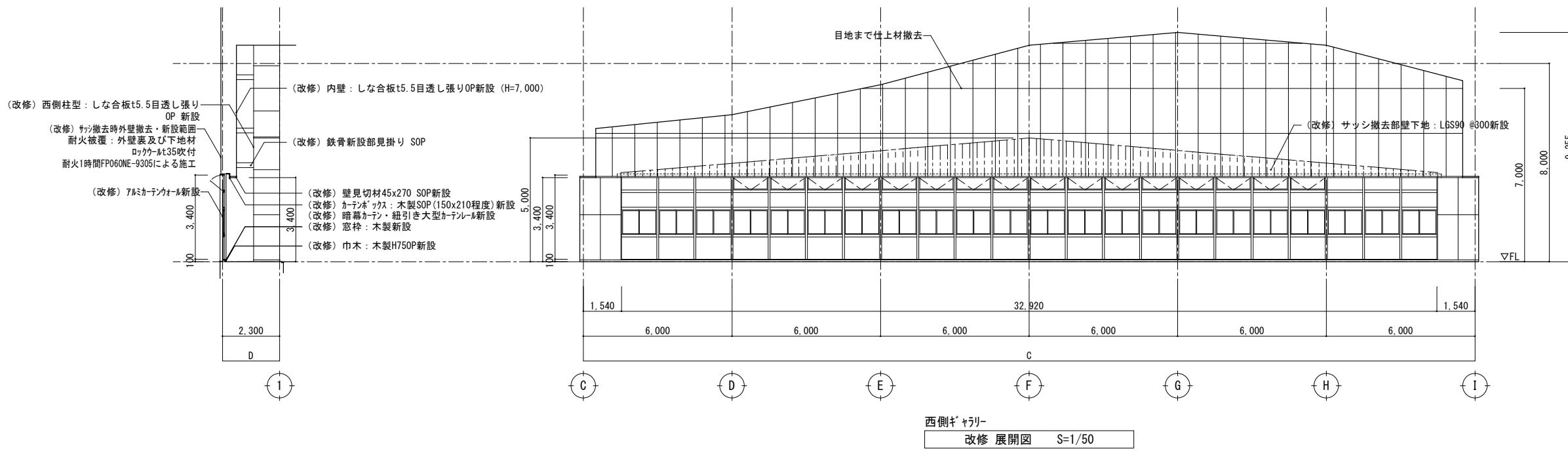
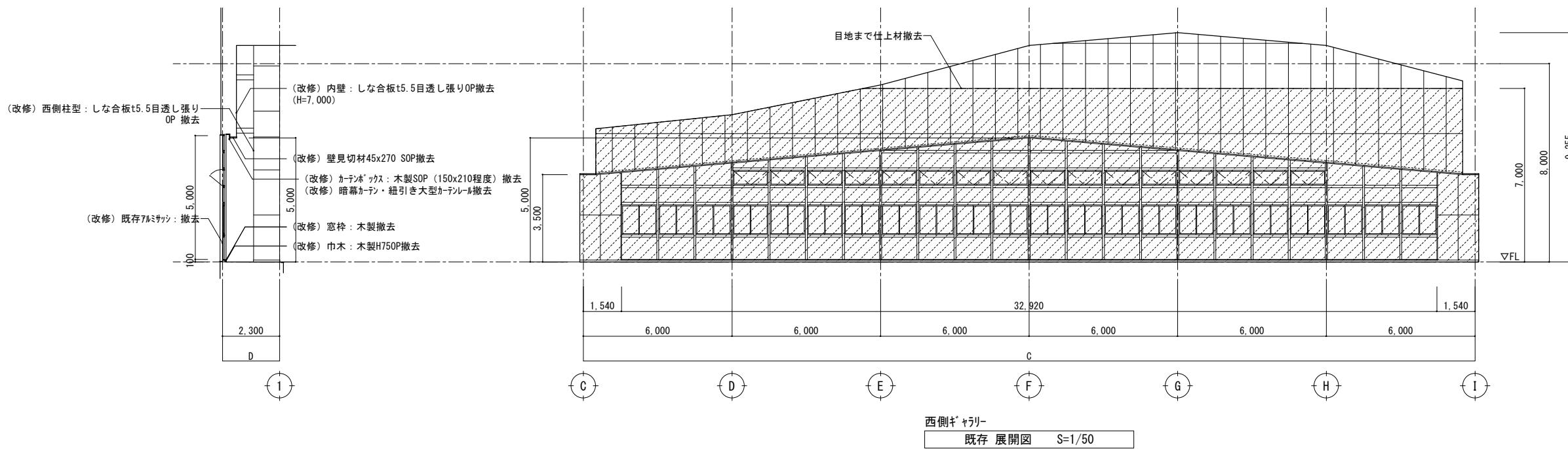
2階渡り廊下
改修 展開図 S=1/50

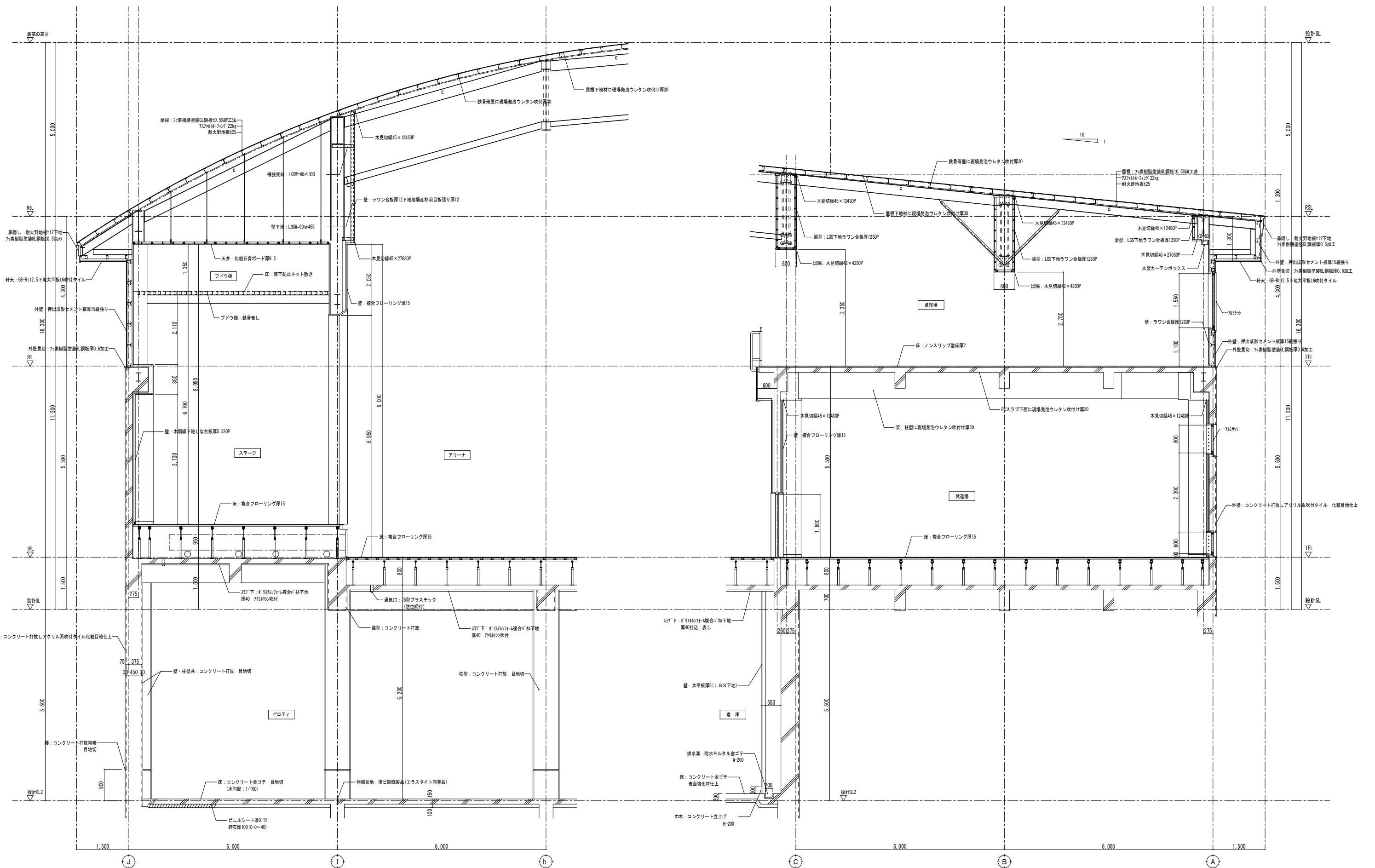
改修後	2階渡り廊下
床	既存のまま
巾木	新設
壁	新設
天井	新設
回縁	新設
備考	

記事

工事名称	図面	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事 既存・改修 展開図(4)	作図	査図	令和7年 10月日	図面No.	縮尺	(株)栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
			A-34			A1 S=1/50 A3 S=1/100		



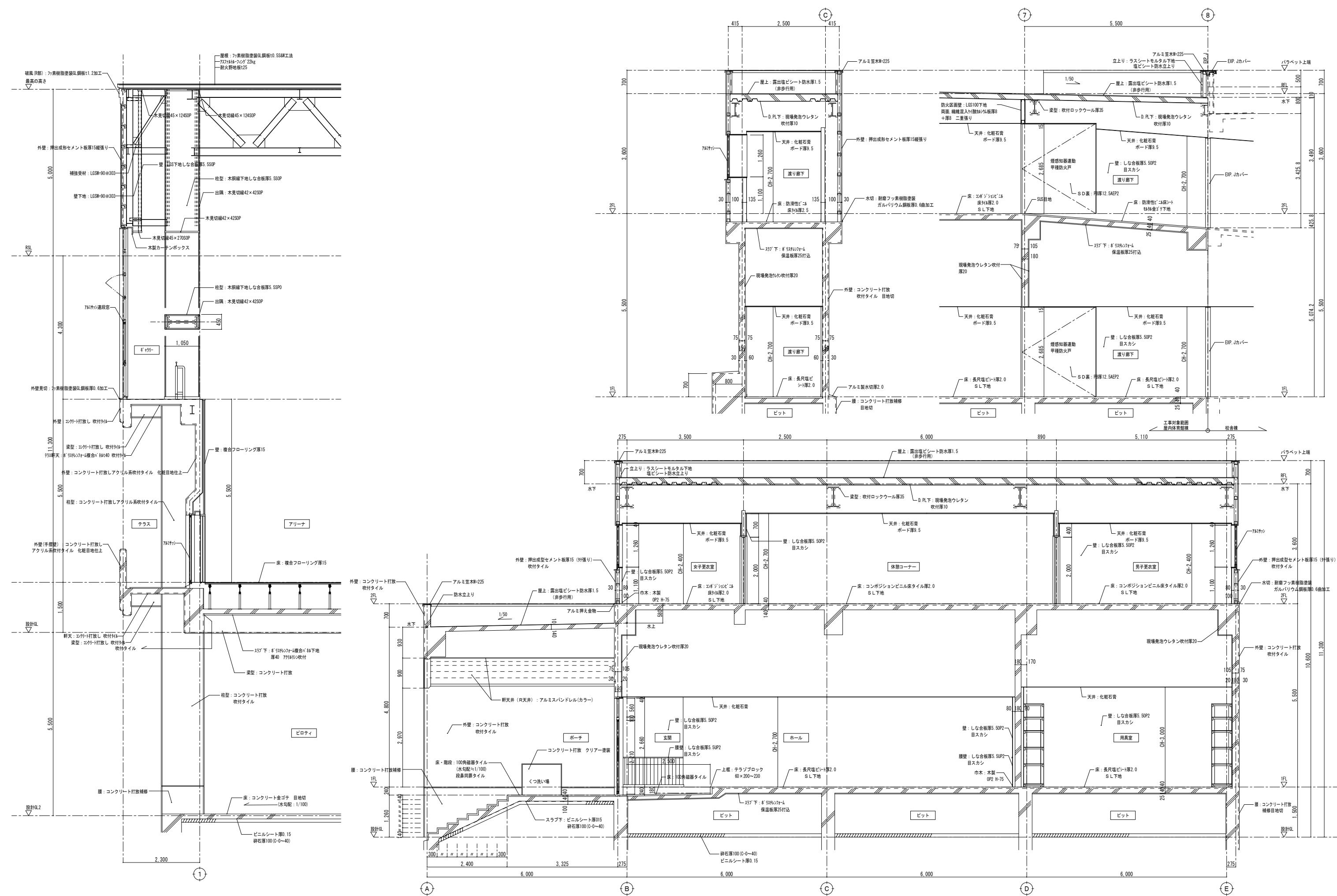




既存 矩計図 S=1/50

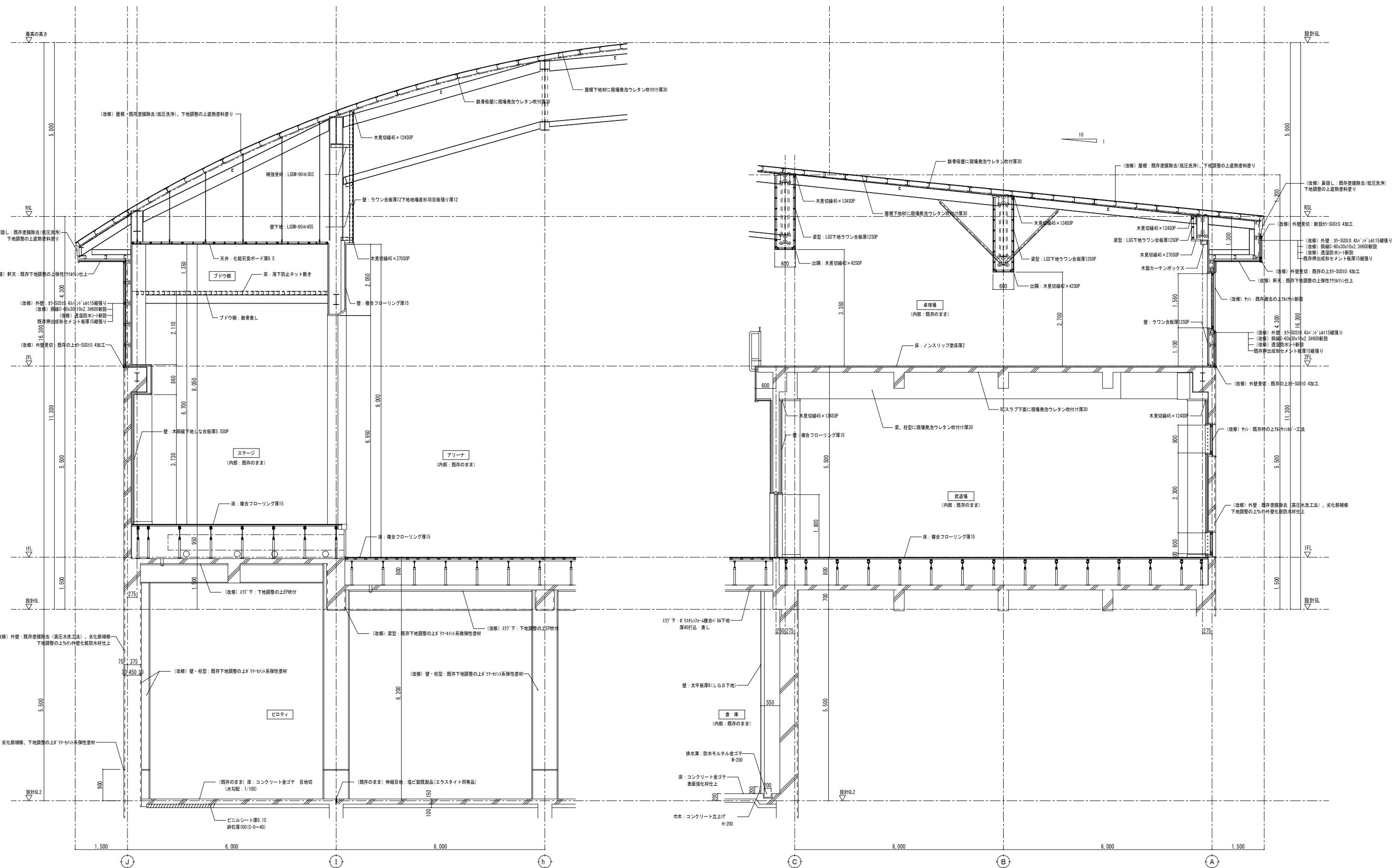
既存 矩計図 S=1/50

記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No. A-37	縮 尺 A1 S=1/50 A3 S=1/100	(株)栗本設計事務所 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
	図 面	既存 矩計図(1)						



記事

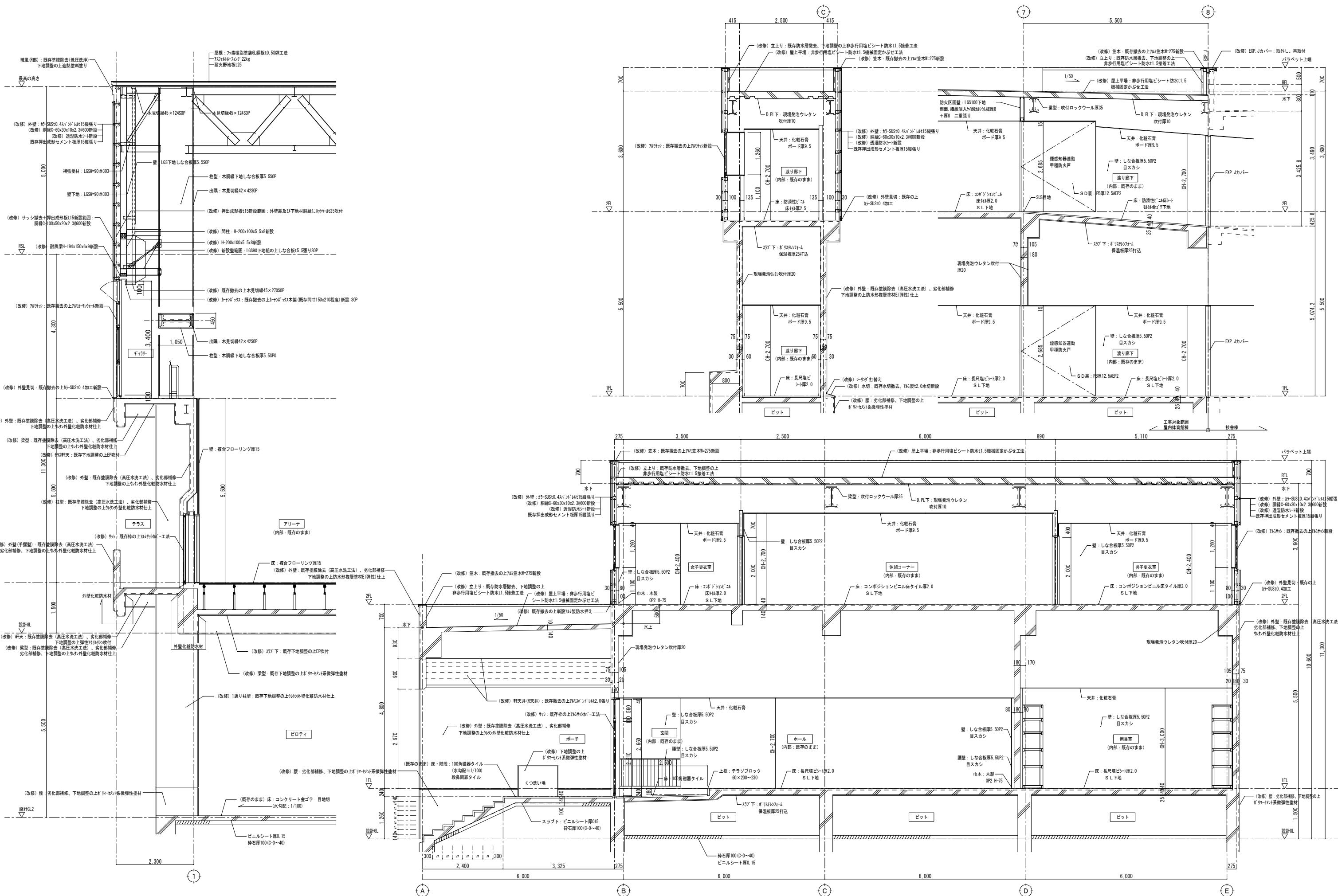
工事名称	図面	作図	査図	令和7年 10月 日	図面No.	縮尺	(株)栗本設計事務所
鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	既存 矩計図(2)				A-38	A1 S=1/50 A3 S=1/100	〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878



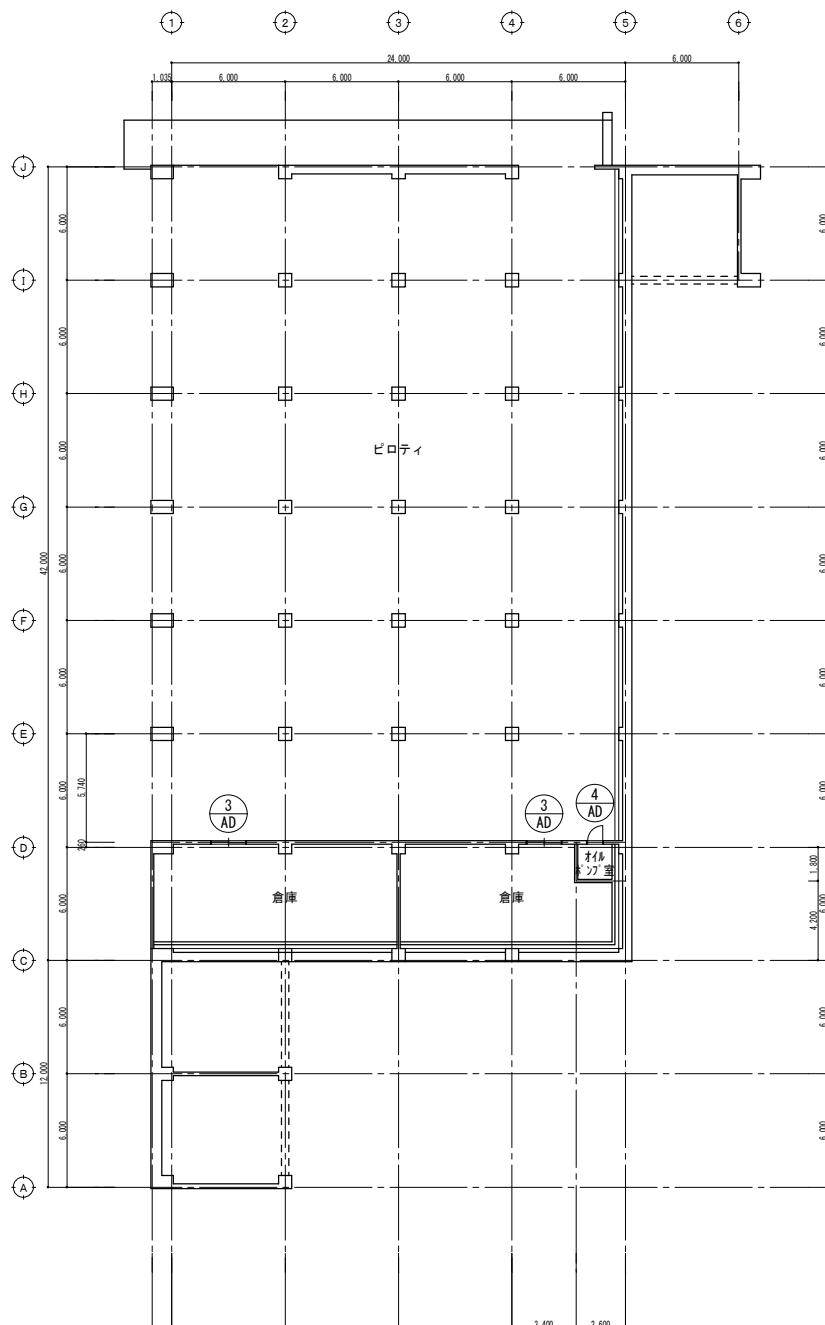
改修 矩計図 S=1/50

改修 矩計図 S=1/50

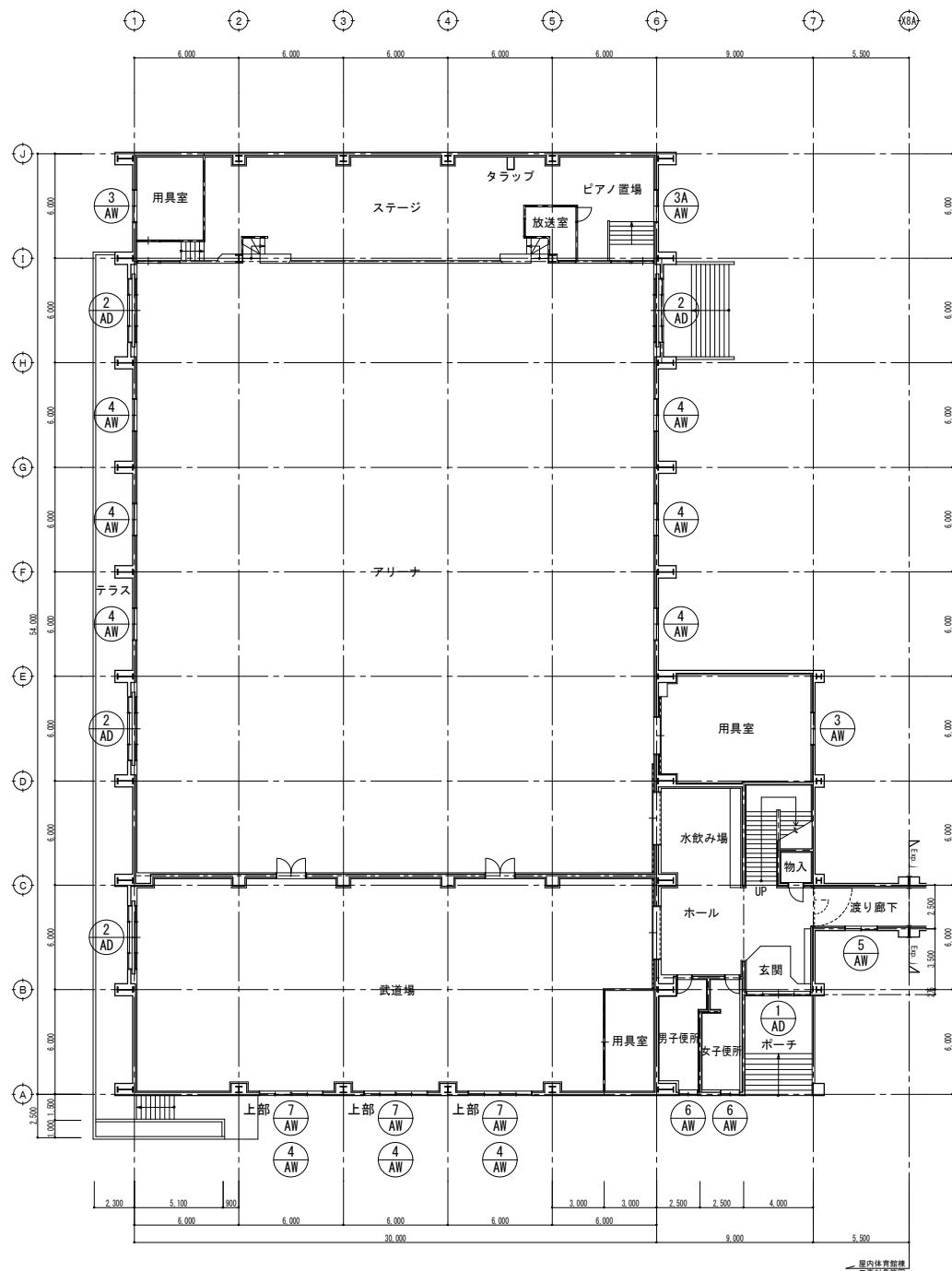
記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No. A-39	縮 尺 A1 S=1/50 A3 S=1/100	(株)栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
	図 面	改修 矩計図(1)						



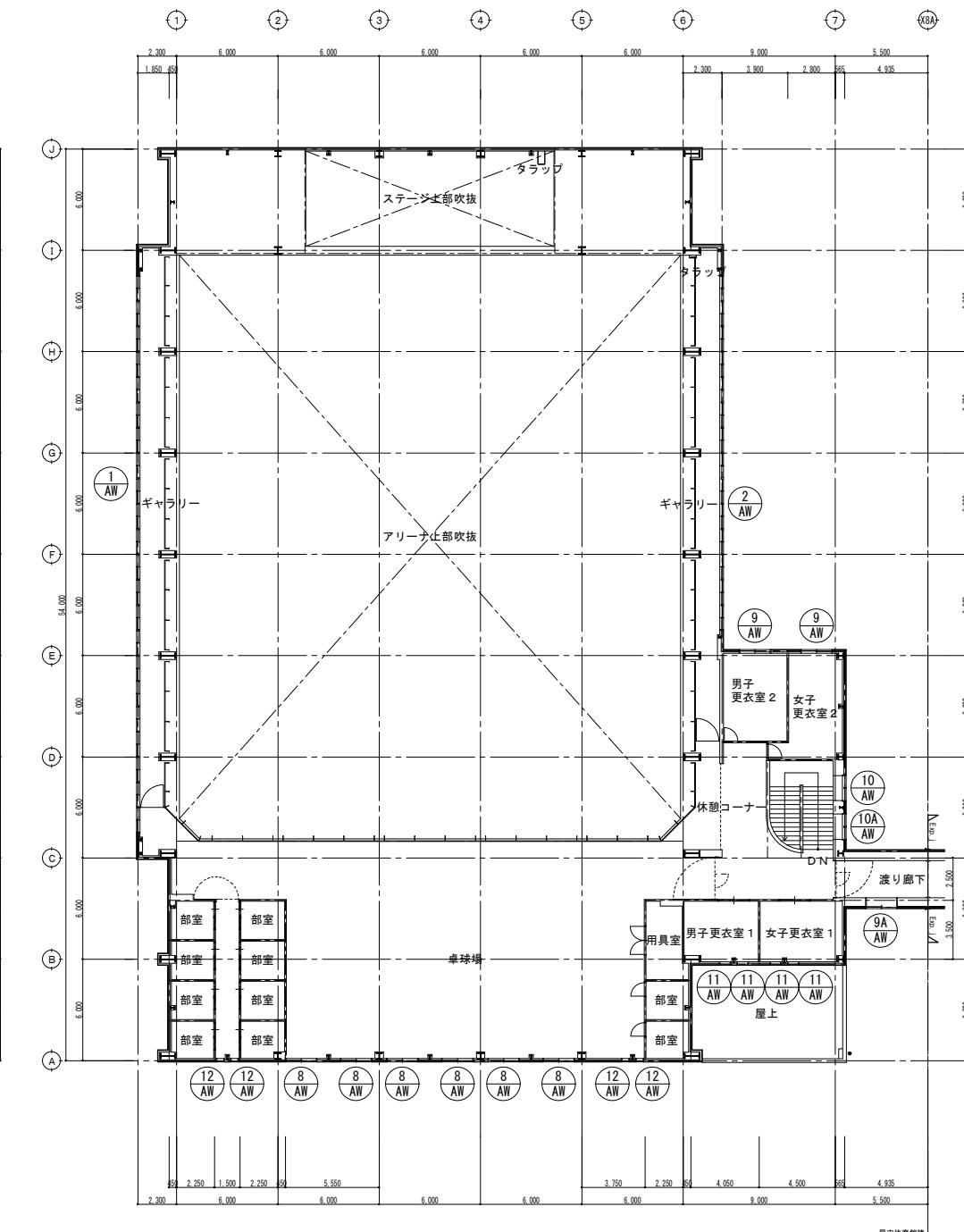
記事	工事名称	作図	図面 No.	縮尺	(株)栗本設計事務所
図面	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	10月	10月	A1 S=1/50 A3 S=1/100	〒997-0028 山形県鶴岡市山王5-25
	改修 矩計図(2)				一級建築士事務所第326422号 株本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878



B1階建具伏図 S=1/200



1階建具伏図 S=1/200



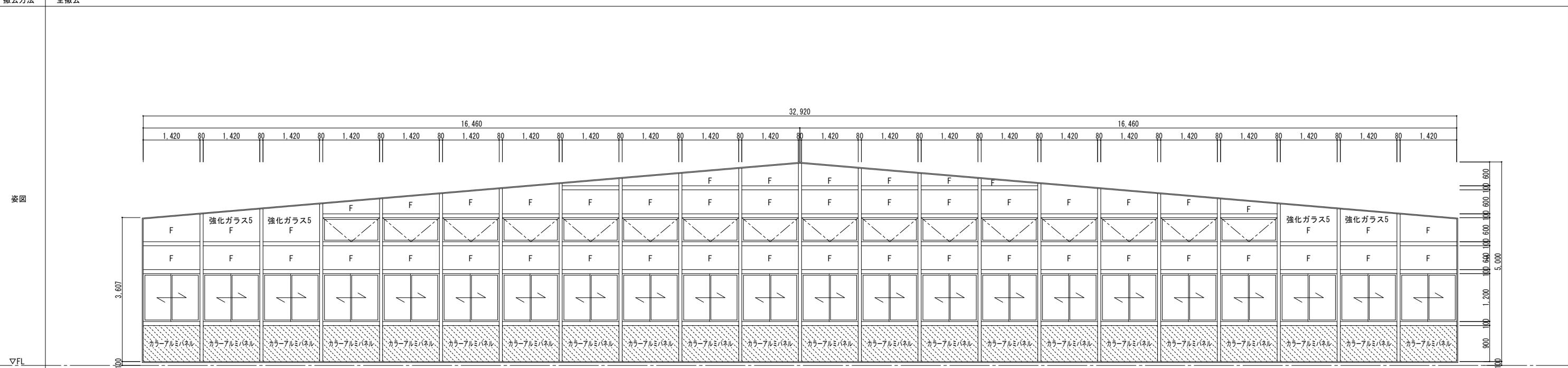
2階建具伏図 S=1/200

記事

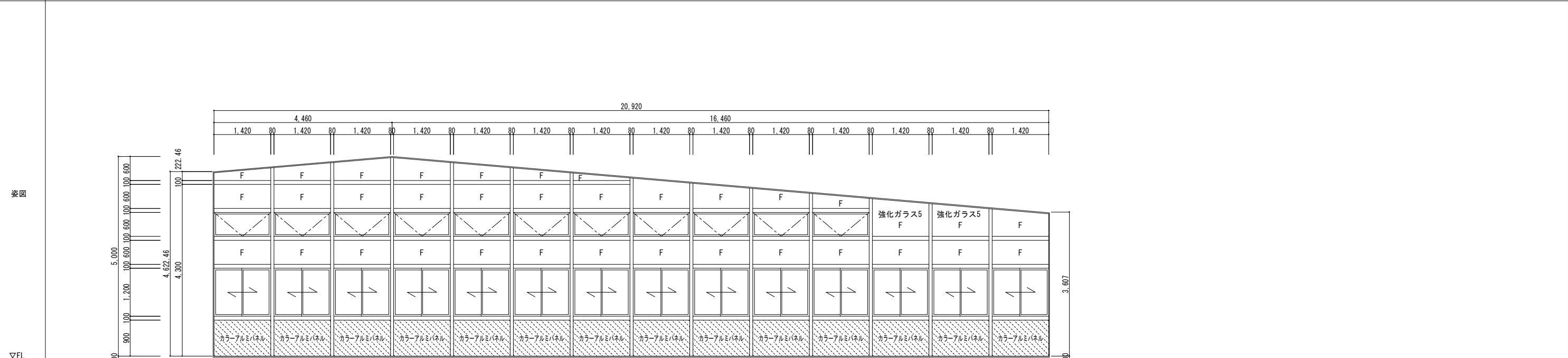
工事名称	作図	査図	令和7年 10月日	図面 No.	縮尺	(株)栗本設計事務所	
						10月	10月
鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事			10月	A-41	A1 S=1/200 A3 S=1/400	〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎	TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
B1階・1階・2階 建具伏図							

符号	位置	1 AW	ギャラリー	1 か所
----	----	------	-------	------

符号	数量	撤去方法	全撤去
----	----	------	-----



形状	F IX窓+突出し窓（オペレーター操作）+引違い窓（内はずし）+カラーアルミパネル
硝子	強化ガラス（学校用）4.一部5
枠	枠：木製合成樹脂ベンド2回、水切：7mm製アルマイト処理
金物等	引違い窓：クレセント その他付属金物一式、突出し窓：丁番、オペレーター操作
仕上	
備考	アルミ外額縁100×30、排煙オペレーター：既存撤去の上新設 カーテンボックス：木製150×200程度OP-2撤去の上新設、紐引き大型カーテンレール：既存撤去の上新設、カーテン：取外し、再取付
符号	2 AW
位置	ギャラリー
数量	
撤去方法	全撤去



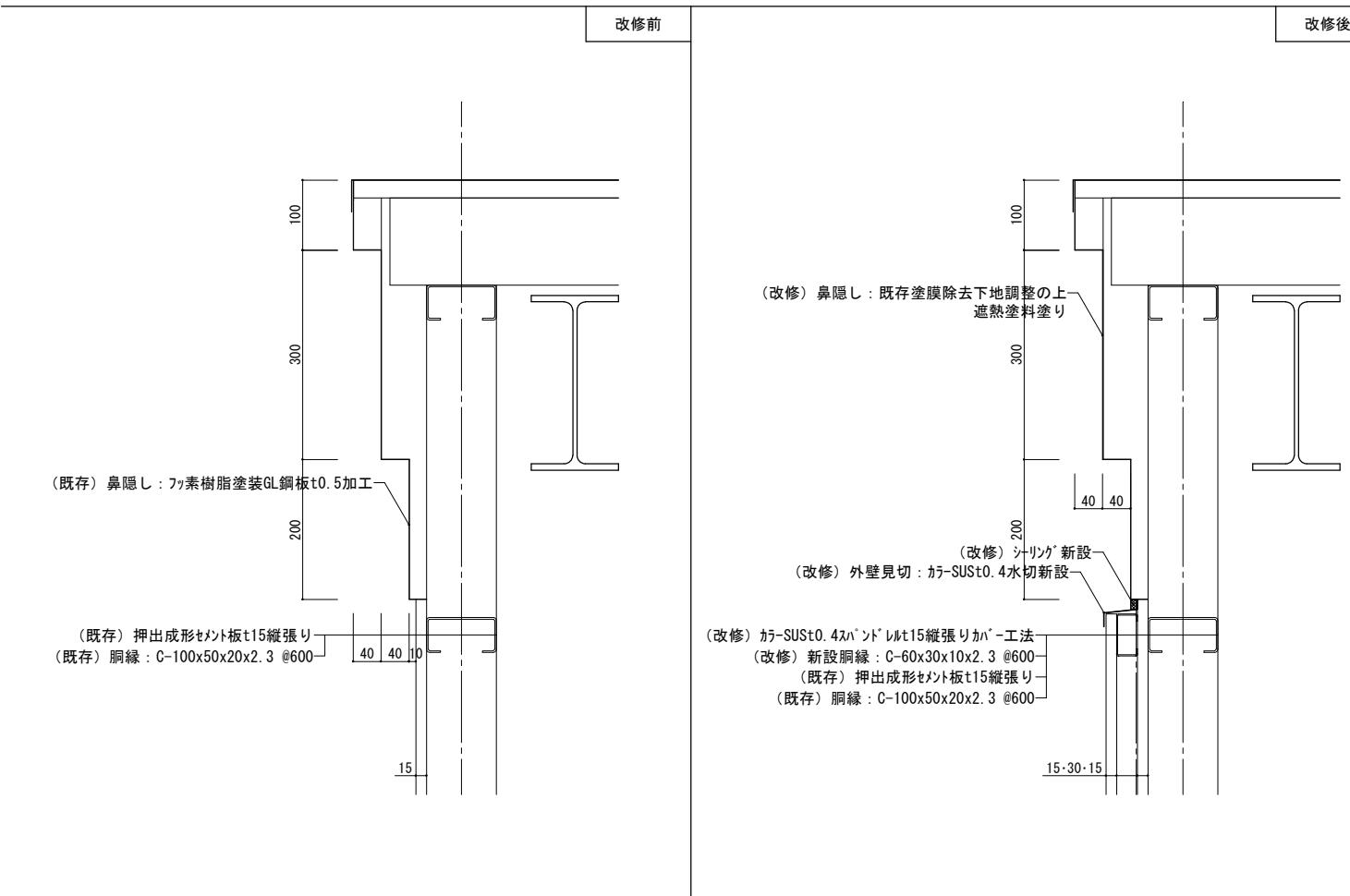
形状	F IX窓+突出し窓（オペレーター操作）+引違い窓（内はずし）+カラーアルミパネル
硝子	強化ガラス（学校用）4.一部5
枠	枠：木製合成樹脂ベンド2回、水切：7mm製アルマイト処理
金物等	引違い窓：クレセント その他付属金物一式、突出し窓：丁番、オペレーター操作
仕上	
備考	アルミ外額縁100×30、排煙オペレーター：既存撤去の上新設 カーテンボックス：木製150×200程度OP-2撤去の上新設、紐引き大型カーテンレール：既存撤去の上新設、カーテン：取外し、再取付

記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年	図面 No.	縮 尺	(株)栗本設計事務所	〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25
	図 面	既存 建具表(2)			10月 日				一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8875

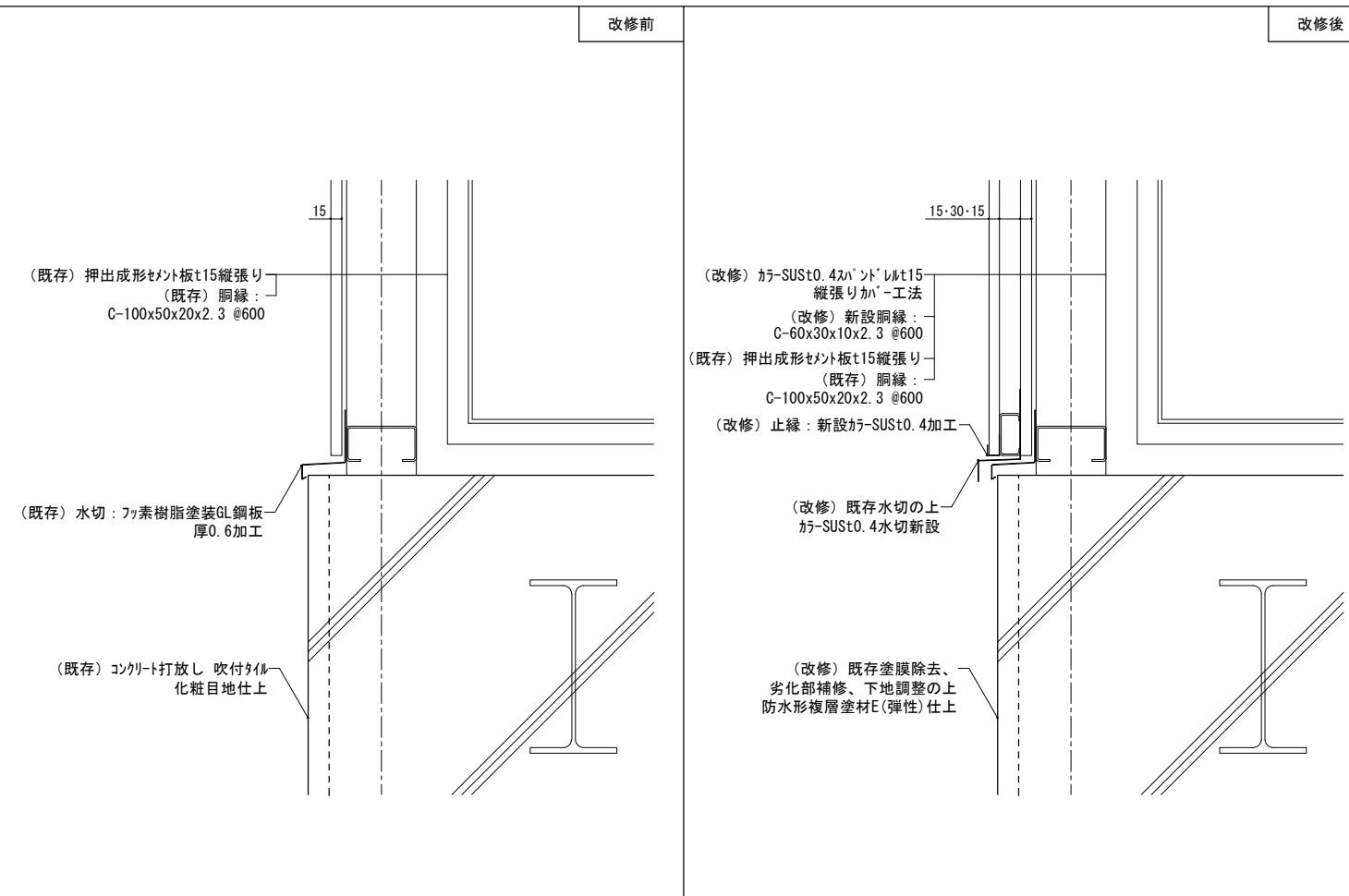
形状	アルミサッシ窓連窓（アルミハーフ+引違い窓+FIX窓+排煙外倒し窓）	引違い窓
硝子	FL5+A12+Low-E5、腰：アルミ断熱ハーフ（アルミ樹脂複合板 芯材7mm+板t20）	ガラス
枠	木製SOP新設	枠
金物等	クロセッタ、戸車、丁番、結露排出部品、排煙ハーフ-45°（遮光型）、付属金物一式	金物
仕上	アルミ標準色	仕上
備考	排煙ハーフ-45°：既存撤去の上新設 カーテンボックス：木製150x200程度OP-2撤去の上新設、紐引き大型カーテン：既存撤去の上新設、暗幕カーテン：既存撤去の上新設（遮光1級・防炎）W6,000×H3,500：4か所、W4,460×H3,500：2か所	備考
符号	位置 数量 2 AW	1 か所
撤去方法	全撤去の上新設	

形状	アルミサッシ連窓（アルミハーフ+引違い窓+FIX窓+排煙外倒し窓）	アルミサッシ連窓（アルミハーフ+引違い窓+FIX窓+排煙外倒し窓）
硝子	FL5+A12+Low-E5、腰：アルミ断熱ハーフ（アルミ樹脂複合板 芯材7mm）-ドアt20	FL5+A12+Low-E5、腰：アルミ断熱ハーフ（アルミ樹脂複合板 芯材7mm）-ドアt20
枠	木製SOP新設	木製SOP新設
金物等	クリント、戸車、丁番、結露排出部品、排煙ハーネス-45°（隠蔽型）、付属金物一式	クリント、戸車、丁番、結露排出部品、排煙ハーネス-45°（隠蔽型）、付属金物一式
仕上	アルミ標準色	アルミ標準色
備考	排煙ハーネス：既存撤去の上新設 カーテンボックス：木製150x200程度OP-2撤去の上新設 紙引き大型カーテンボックス：既存撤去の上新設 暗幕カーテン：既存撤去の上新設（遮光1級・防炎）W6,000xH3,500・2か所 W4,460xH3,500・2か所	排煙ハーネス：既存撤去の上新設 カーテンボックス：木製150x200程度OP-2撤去の上新設 紙引き大型カーテンボックス：既存撤去の上新設 暗幕カーテン：既存撤去の上新設（遮光1級・防炎）W6,000xH3,500・2か所 W4,460xH3,500・2か所

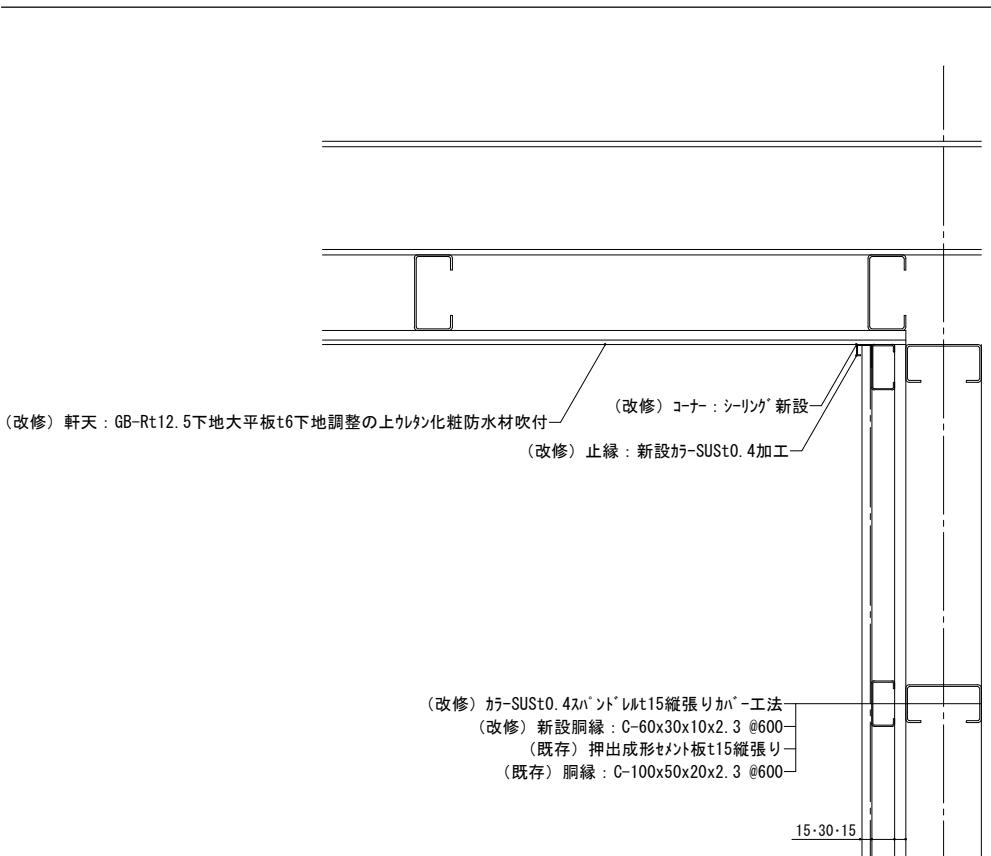
外壁改修詳細図 東・西側 破風・鼻隠し廻り S=1/5



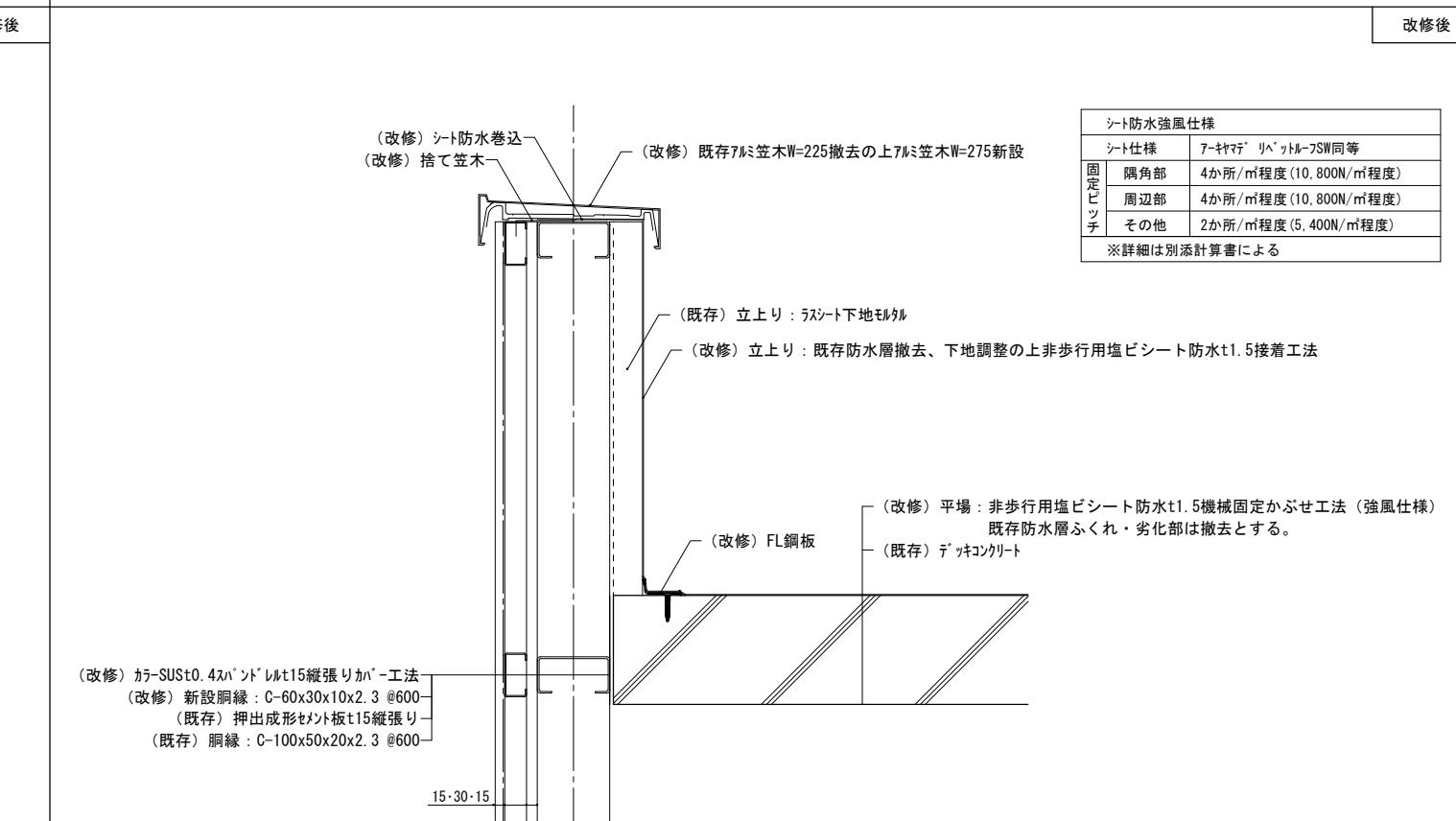
外壁改修詳細図 RC取合部 S=1/5



軒天廻り改修詳細図 S=1/5

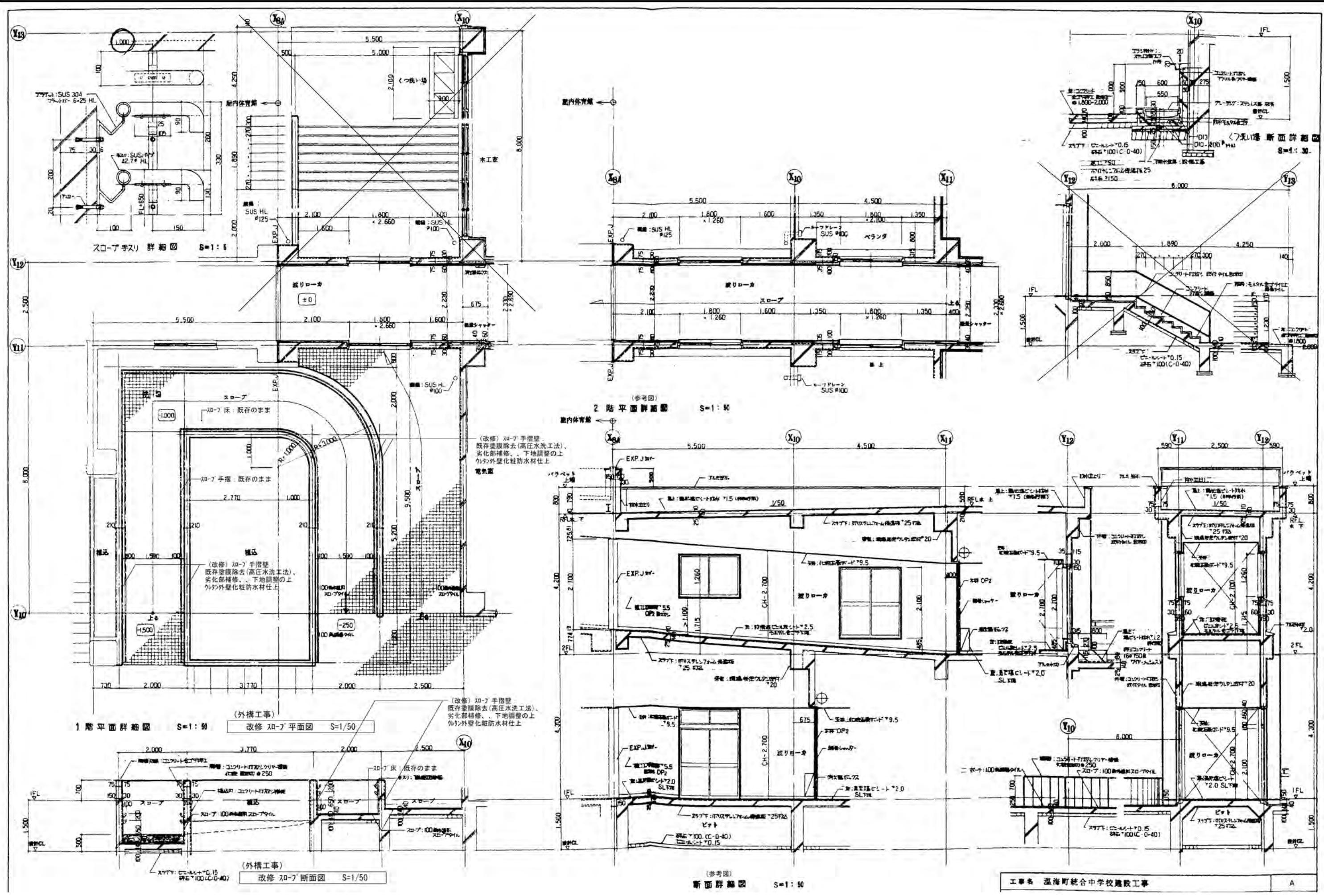


パラベット廻り改修詳細図 S=1/5

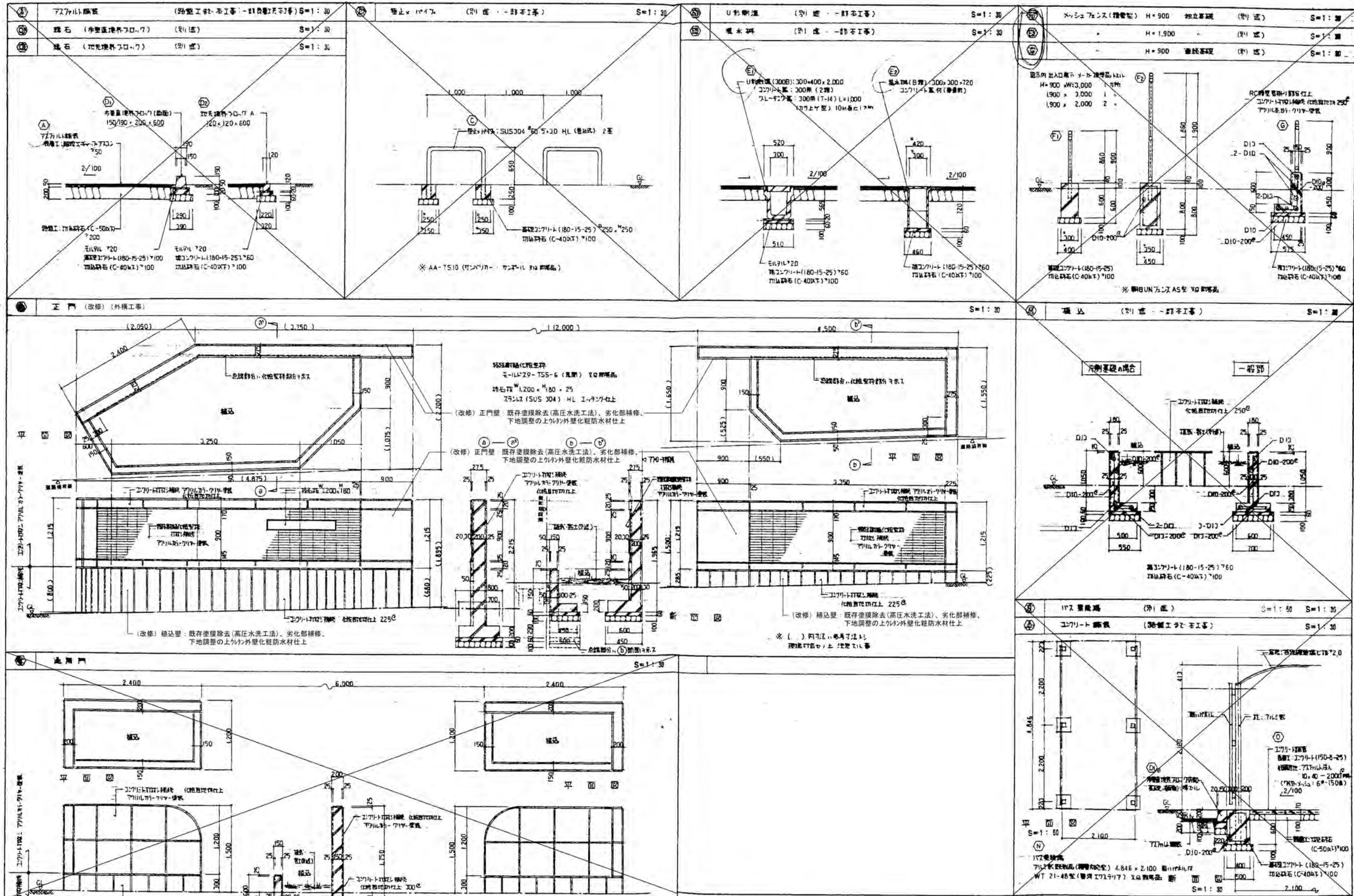


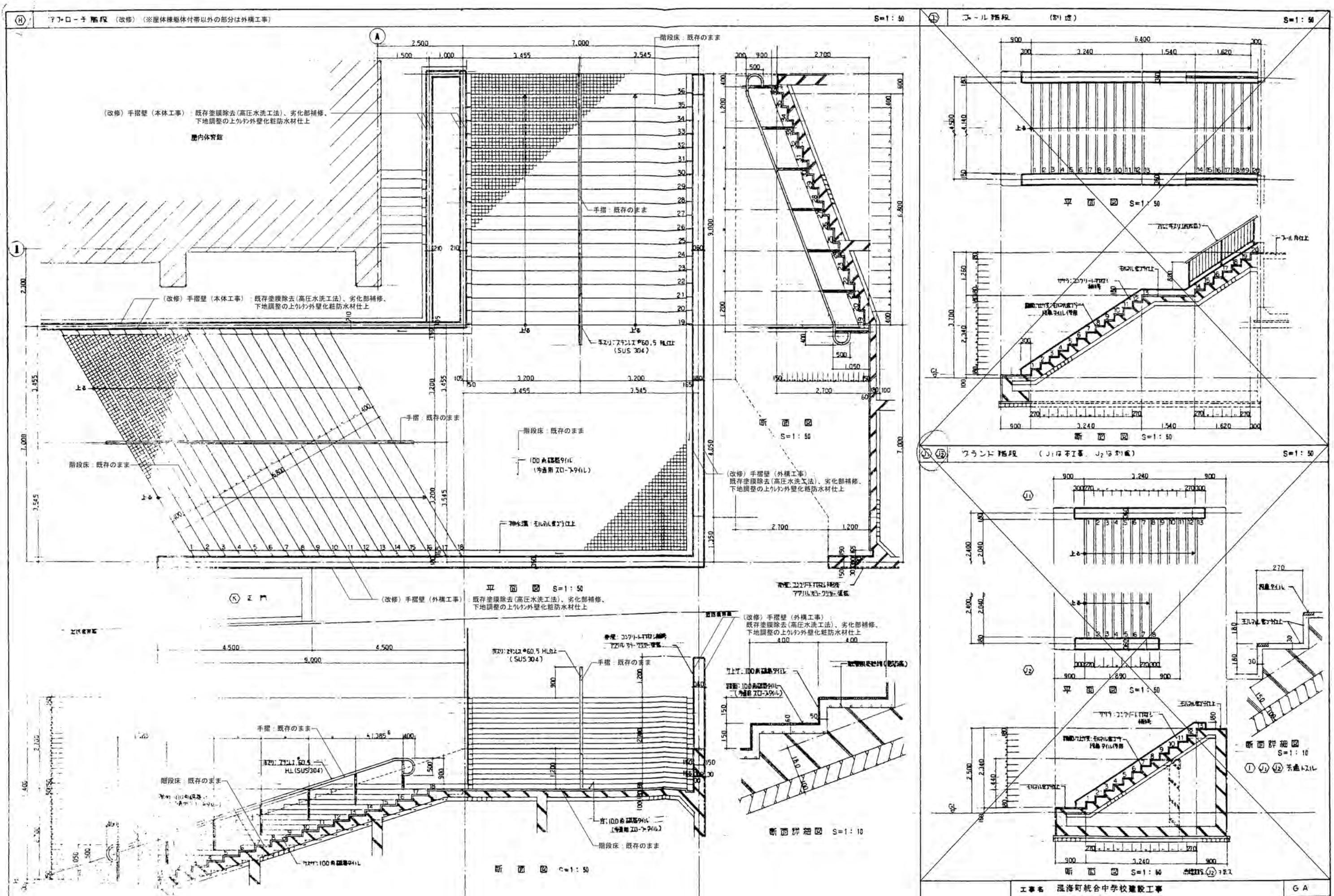
記事

工事名称	図面	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事 部分詳細図(1)	作図	査図	令和7年 10月 日	図面No. A-46	縮尺 A1 S=1/5 A3 S=1/10	(株)栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878

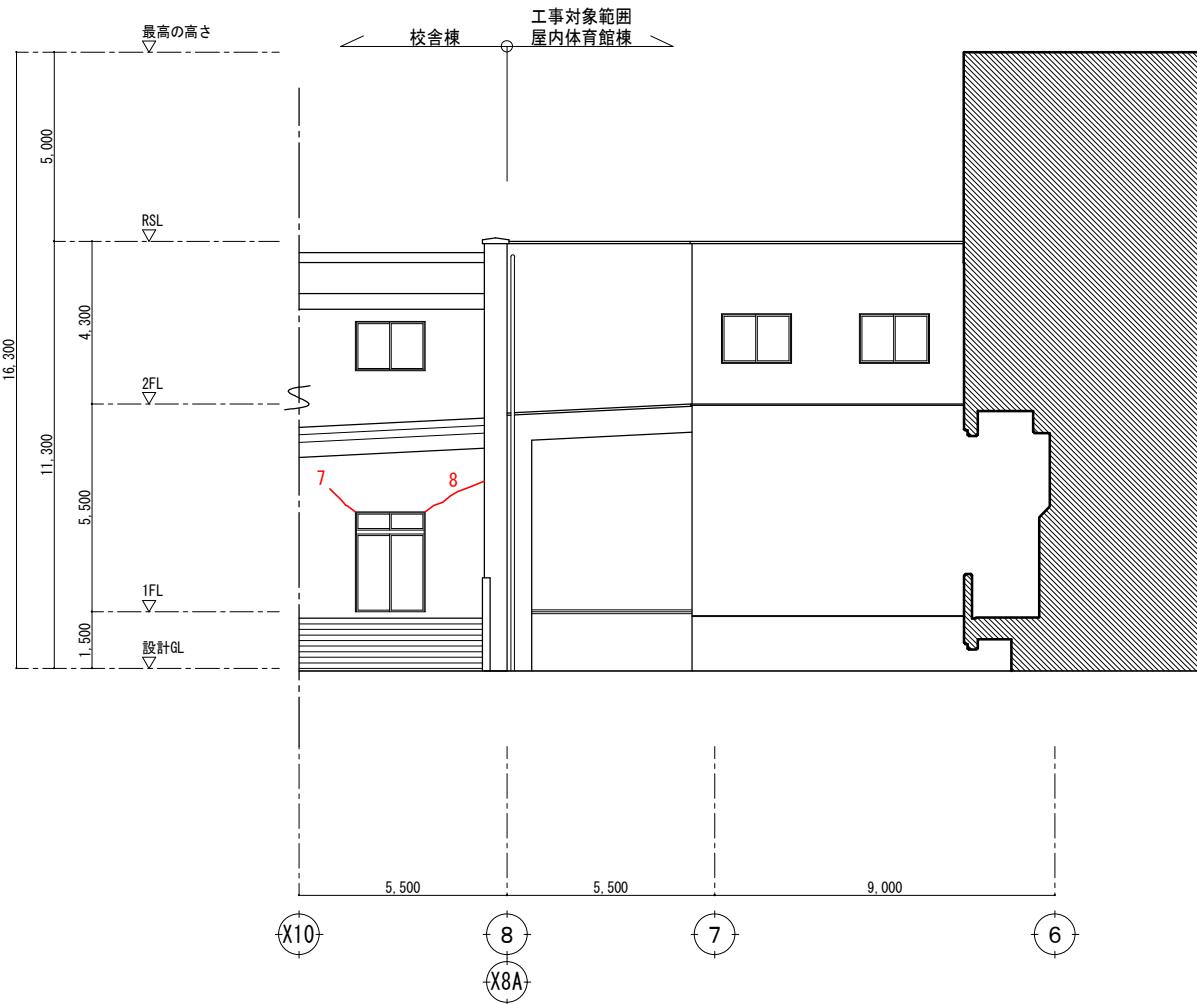


記事	工事名称	作図	査図	令和7年 10月 日	図面No.	縮尺	(株)栗本設計事務所	
							図面	改修外構詳細図(1) 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
記事	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事							
図面	改修外構詳細図(1)				A-48	A1 図示 A3 図示		

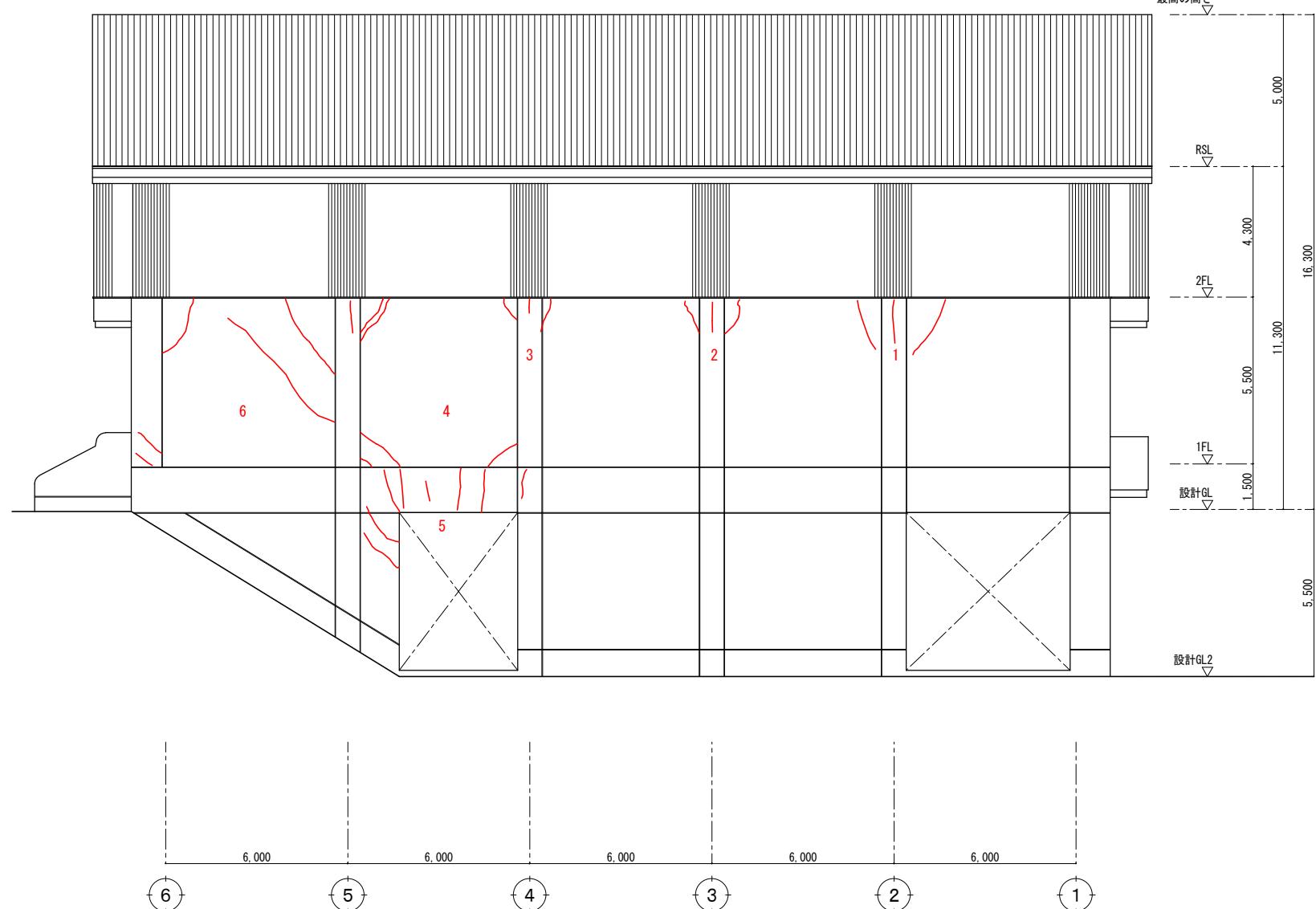




記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No. A-50	縮 尺 A1 図示 A3 図示	(株)栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
図面		改修 外構詳細図(3)						



北側 外壁劣化部調査図 S=1/100

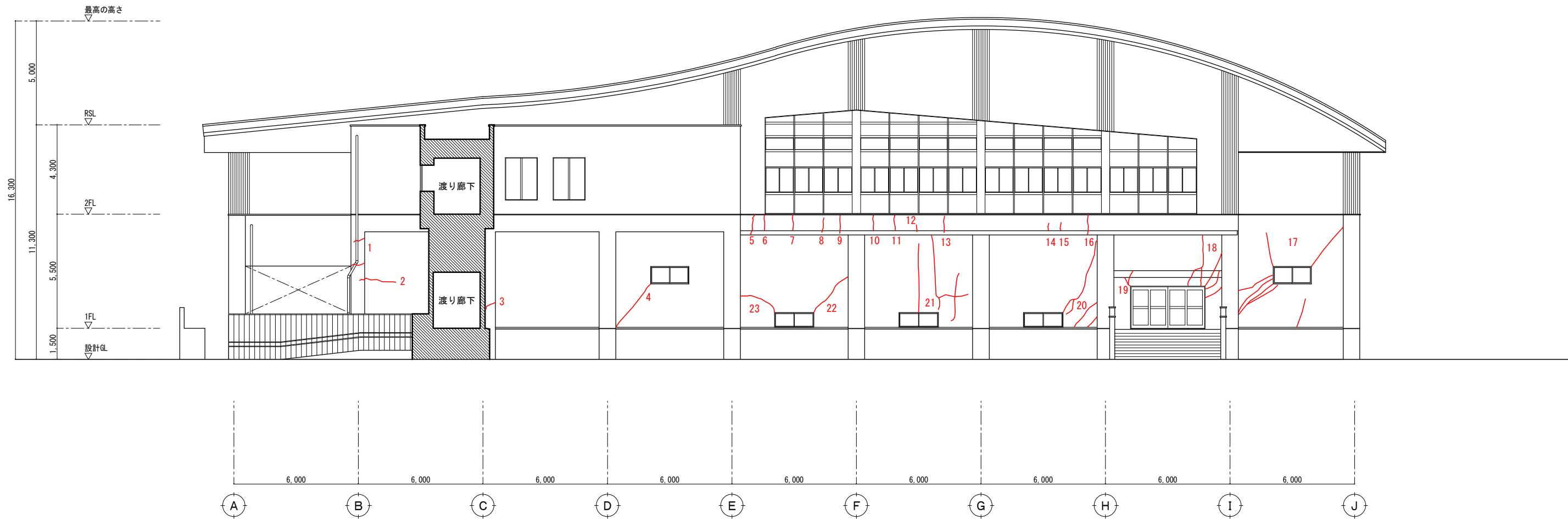


北側 外壁劣化部調査図 S=1/100

凡例	種別	数量
赤線	クラック 0.2mm以上	23.00 m

外壁劣化部改修方法			
(1) 事前調査	－ 目視による計測の上、現場マーキング 及び図面作成・施工数量を提出		
(2) 外壁クラック	－ エボキ樹脂注入工法		
(3) 爆裂鉄筋露出	－ 鑄落とし防錆処理の上ボリマーセメント系充填工法		
(4) Pコン補修	－ ボリマーセメント系充填工法		

屋内体育馆・渡り廊下 北側			
外壁クラック			
番号	長さ (m)	番号	長さ (m)
1	1.800	6	4.500
2	1.600	7	0.600
3	1.800	8	1.200
4	5.500		
5	6.000		
		合計	23.000 m

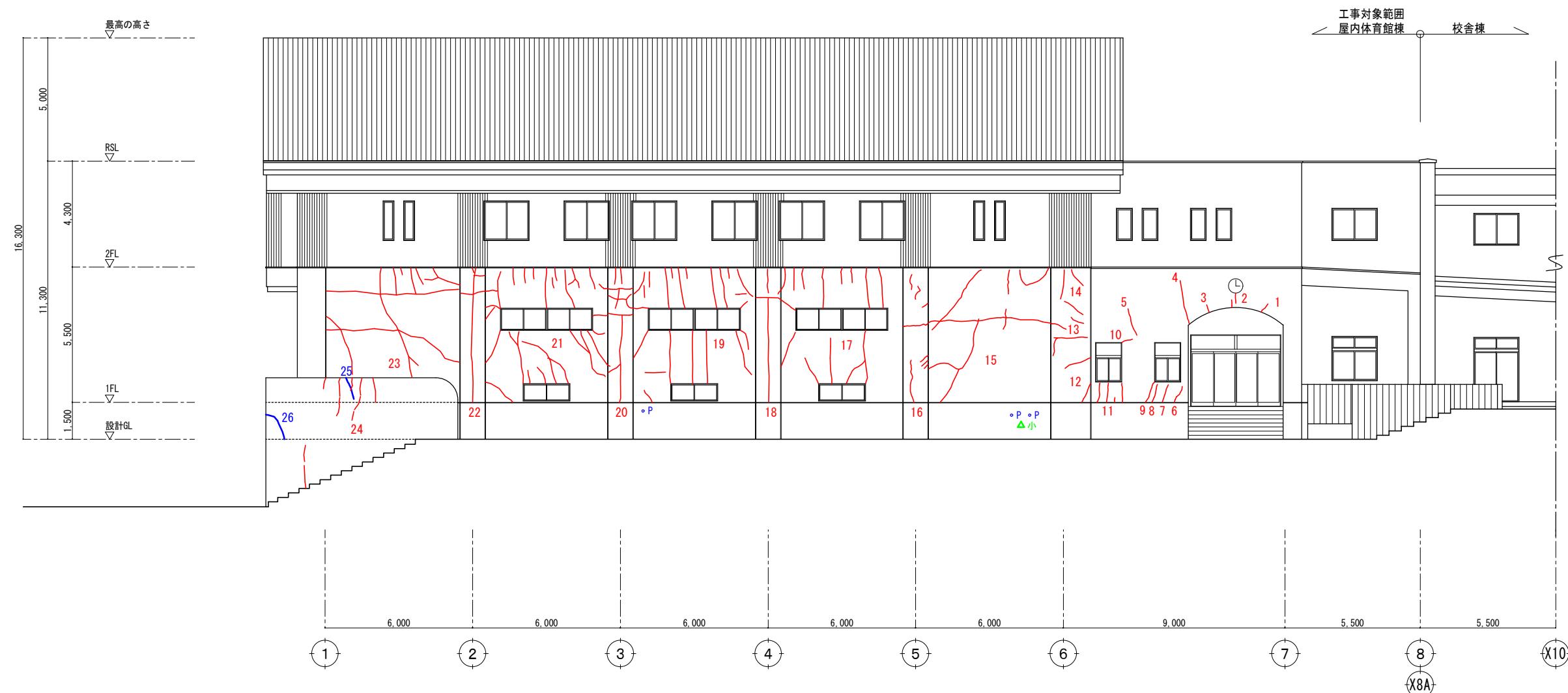


東側 外壁劣化部調査図 S=1/100

凡例	種別	数量
赤線	クラック 0.2mm以上	41.10 m

外壁劣化部改修方法	
(1) 事前調査	— 目視による計測の上、現場マーキング 及び図面作成・施工数量を提出
(2) 外壁クラック	— エボキシ樹脂注入工法
(3) 爆裂鉄筋露出	— 鑄落とし防錆処理の上ボーリマーセメント系充填工法
(4) ポンプ修	— ボーリマーセメント系充填工法

屋内体育館 東側									
外壁クラック									
番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)
1	1.500	6	0.500	11	0.500	16	0.500	21	7.000
2	1.400	7	0.500	12	0.300	17	9.000	22	1.800
3	0.400	8	0.500	13	0.300	18	6.000	23	1.200
4	1.800	9	0.500	14	0.300	19	0.800		
5	0.500	10	0.500	15	0.300	20	5.000		
									合計 41.100 m



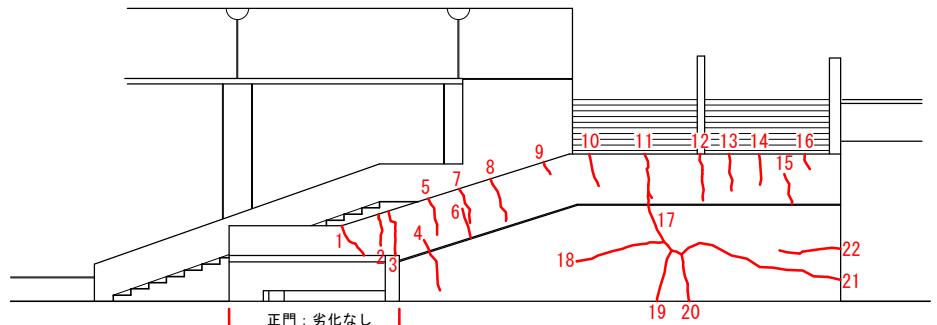
南側 外壁劣化部調査図 S=1/100

凡例	種別	数量
—	クラック 0.2mm以上	122.00 m
—	クラック (手摺壁裏面) 0.2mm以上	1.25 m
△ 小	鉄筋露出(爆裂) 小 0.2m×0.2m程度	1 か所
○ P	Pコン補修	3 か所

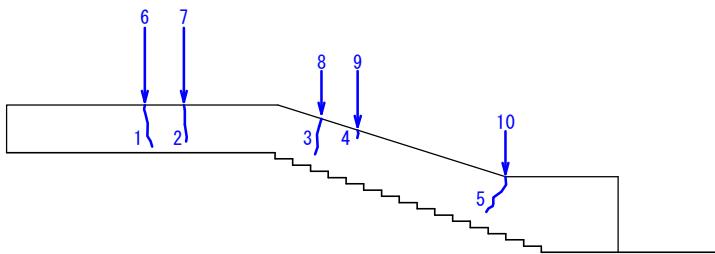
外壁劣化部改修方法
(1) 事前調査 — 目視による計測の上、現場マーキング及び図面作成・施工数量を提出
(2) 外壁カケラ — イモリキ樹脂注入工法
(3) 爆裂鉄筋露出 — 鋼落とし防錆処理の上モルマセメント系充填工法
(4) PTC補修 — ポリカーボネート系充填工法

屋内体育馆・渡り廊下 南側									
外壁ケラック									
番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)
1	0.400	6	0.300	11	1.800	16	4.500	21	16.000
2	0.600	7	0.400	12	1.200	17	15.000	22	6.000
3	0.400	8	0.900	13	1.600	18	6.000	23	15.000
4	1.500	9	1.000	14	2.400	19	18.000	24	5.000
5	0.800	10	0.200	15	14.000	20	9.000		
								合計	122.000 m

南側手摺壁裏面	
外壁クレック	
番号	長さ(m)
25	0.650
26	0.600
合計	1.250 m



階段手摺壁西側 劣化部調査図 S=1/100



階段手摺壁東側 劣化部調査図 S=1/100

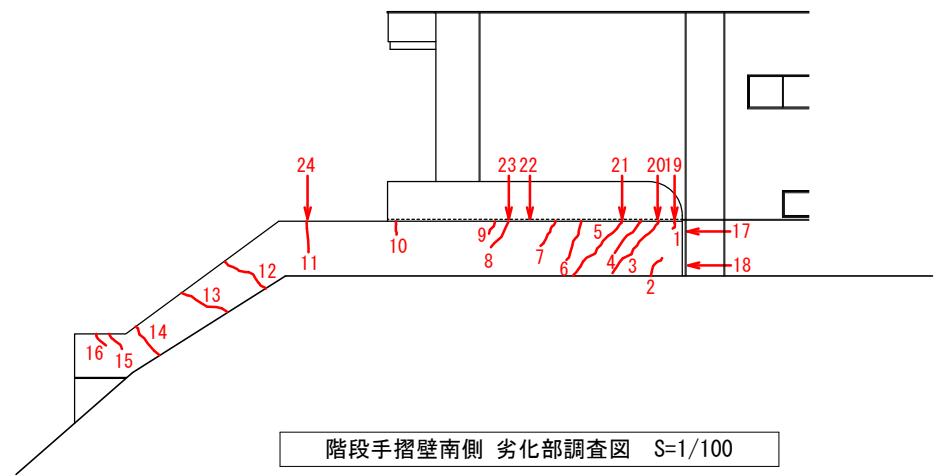
凡例	種別	数量
—	クラック 0.2mm以上	23.80 m

階段手摺壁 西側									
外壁クラック									
番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)
1	0.600	6	0.700	11	1.300	16	0.200	21	4.500
2	0.450	7	0.600	12	1.000	17	1.000	22	1.200
3	0.850	8	1.000	13	0.900	18	2.000		
4	1.800	9	0.500	14	0.600	19	1.300		
5	0.600	10	0.700	15	0.700	20	1.300		
合計									
23.800 m									

凡例	種別	数量
—	クラック 0.2mm以上	5.20 m

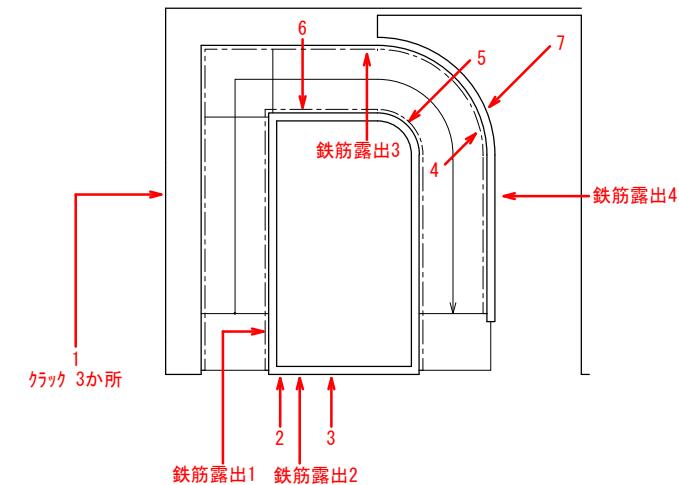
階段手摺壁 東側			
外壁クラック		天端クラック	
番号	長さ (m)	番号	長さ (m)
1	1.200	6	0.300
2	1.000	7	0.300
3	0.750	8	0.300
4	0.150	9	0.200
5	0.700	10	0.300
合計		5.200 m	

外壁劣化部改修方法
(1) 事前調査 — 目視による計測の上、現場マッピング及び図面作成・施工数量を提出
(2) 外壁クラック — エポキシ樹脂注入工法
(3) 爆裂鉄筋露出 — 鋼落とし防錆処理の上にリマセメント系充填工法
(4) Pコン補修 — ポリマーセメント系充填工法

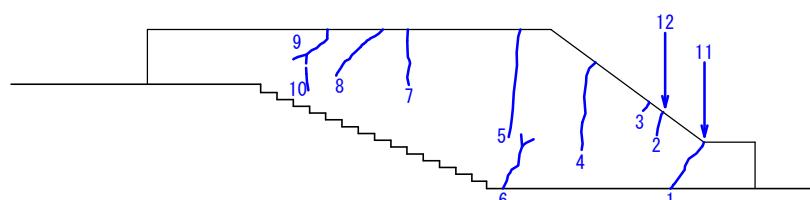


凡例	種別	数量
	クラック 0.2mm以上	18.05 m

ア'ローチ階段 南側											
外壁クラック						天端クラック					
番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)
1	0.350	6	1.400	11	1.250	16	0.450	19	0.300	24	0.300
2	0.900	7	0.800	12	1.400	17	0.300	20	0.300		
3	1.700	8	1.000	13	1.000	18	0.300	21	0.200		
4	1.000	9	0.500	14	1.100			22	0.300		
5	1.800	10	0.500	15	0.600			23	0.300		
											合計 18.050 m



スローフ° 劣化部調査図 S=1/100



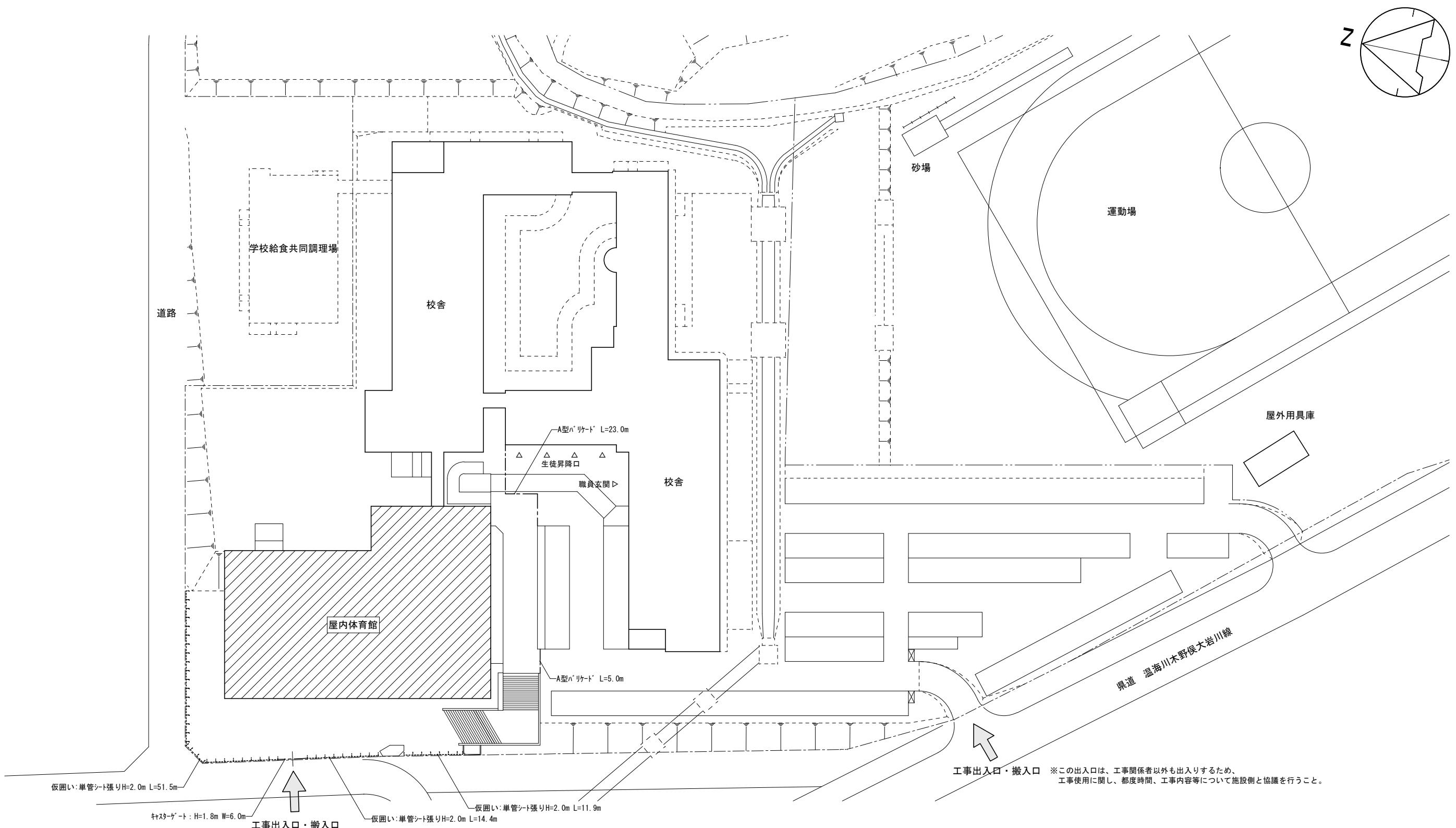
スローフ°					
外壁クラック				外壁爆裂	
番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	寸法 (m)
1	0.750	4	6.000	鉄筋露出1(大)	0.3m×1.2m 0.36m ²
	0.750	5	1.500	鉄筋露出2(大)	0.4m×0.5m 0.20m ²
	0.750	6	1.200	鉄筋露出2(大)	1.5m×0.4m 0.60m ²
2	2.500	7	1.100	鉄筋露出1(小)	0.2m×0.1m
3	2.000				
合計 16.550 m				合計	1.16m ²

階段手摺壁北側 劣化部調査図 S=1/100

凡例	種別	数量
	クラック 0.2mm以上	15.50 m

ア'ローチ階段 北側					
外壁クラック			天端クラック		
番号	長さ (m)	番号	長さ (m)	番号	長さ (m)
1	1.400	6	2.000	11	0.300
2	0.700	7	1.250	12	0.300
3	0.250	8	2.700		
4	1.650	9	1.900		
5	2.200	10	0.850		
合計 15.500 m					

外壁劣化部改修方法					
(1) 事前調査 - 目視による計測の上、現場マーキング及び図面作成・施工数量を提出					
(2) 外壁クラック - エポキシ樹脂注入工法					
(3) 爆裂鉄筋露出 - 鋸落とし防錆処理の上にリマセメント系充填工法					
(4) ポンチ修復 - ポリマセメント系充填工法					



仮設計画図 S=1/400

記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No. A-57	縮尺 A1 S=1/400 A3 S=1/800	(株)栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
	図面	仮設計図面						

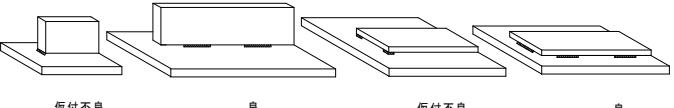
鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

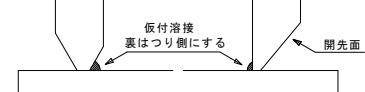
- (1) 材料及び検査
 - (a) 構造設計仕様による
 - (b) 通用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
 - (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
 - (a) 鉄骨製作及び施工に先立つて「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
 - (b) 鋼管部材の分岐部手の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 - (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正する
- (3) 高力ボルト接合
 - (a) 本統めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接記号
 - (a) 溶接工

溶接工は施工する溶接に適応する JIS Z3801(手溶接)又は JIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引き継ぎ、半年以上溶接に従事している者とする
 - (b) 溶接機器
 - (イ) 交流アーケ溶接機 300A~500A
 - (二) 炭酸ガスアーケ半自動溶接機
 - (ホ) アーケエアーガウジング機(直流)
 - (ハ) サブマージアーケ溶接機1式
 - (ヘ) 溶接専用乾燥器
 - (c) 溶接方法
 - アーケ手溶接(MC)
 - セルフ(ノンガス)シールドアーケ半自動溶接(NGC)
 - ガスシールドアーケ半自動溶接(GC)
 - アーケエアーガウジング(AAG)
 - (d) 溶接姿勢
 - 下向 F
 - 立向 V
 - 横向 H
 - 上向 O
- (e) 仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置

仮付溶接は溶接の始、終点、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



(ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



- (f) 溶接施工
- (イ) エンドタブ
 - I) 突合せ接合、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
 - II) エンドタブの材質は、母材と同質とする
 - III) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上
 - NGC, GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切削して、グラインダー仕上げとする
 - IV) ブレスタブ、固定タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る

- (ロ) 裏あて金

材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする

- (ハ) スカラップ

半径は30~35mmとする

(二) 裏はつり

規格図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を

履行し、部材に確認マークをつける

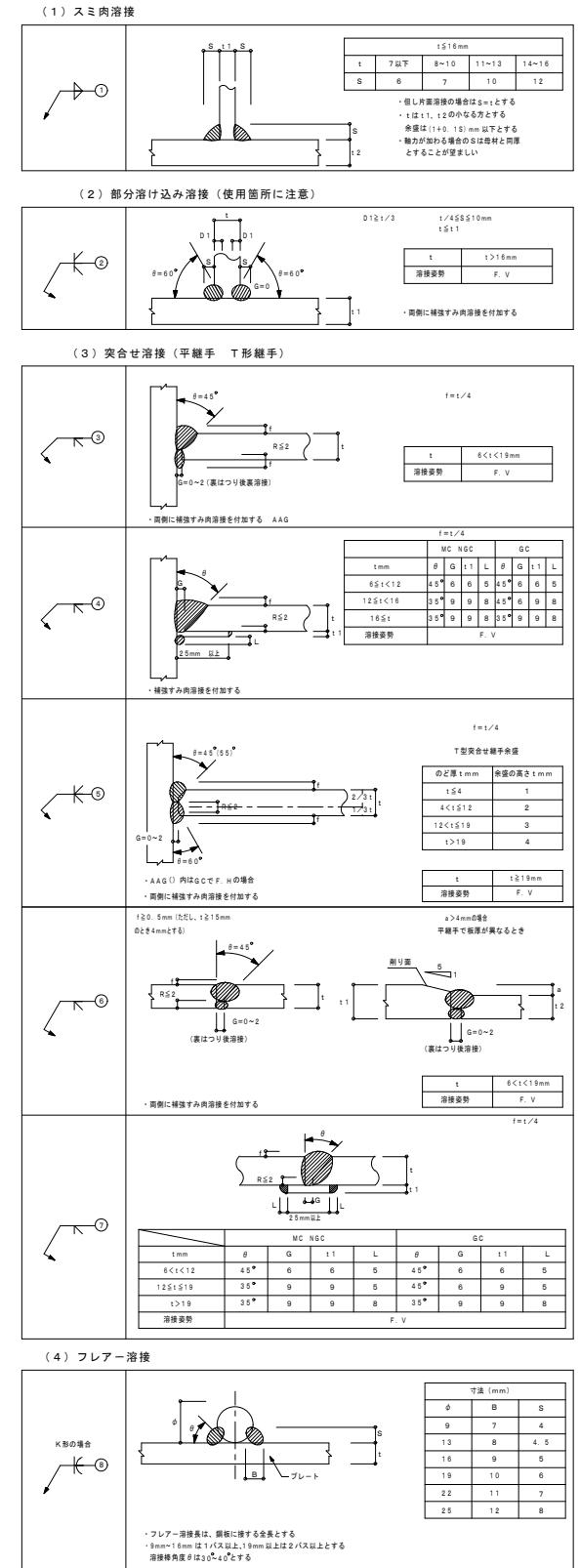
(ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う

(5) 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

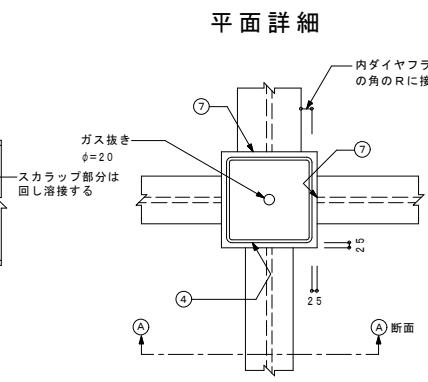
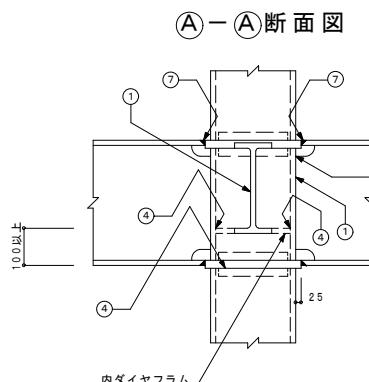
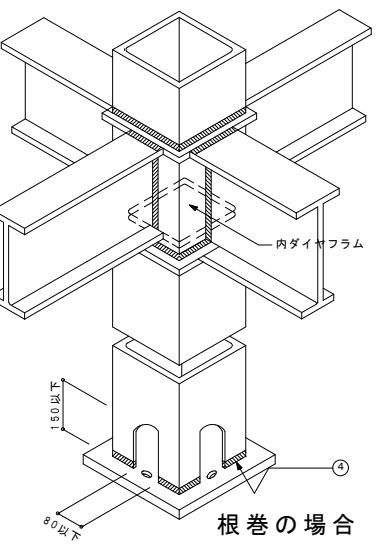
2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)



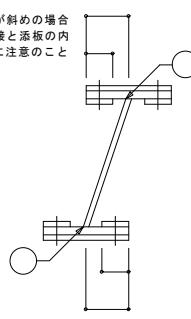
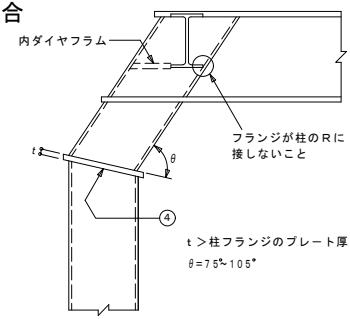
○溶接記号番号を○中に記入のこと

● BOX型(通しダイヤフラムの場合)

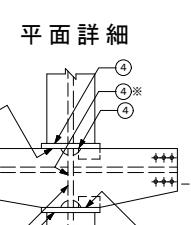
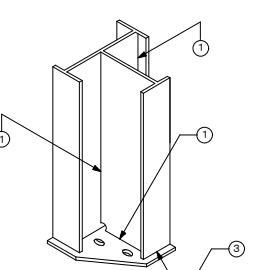
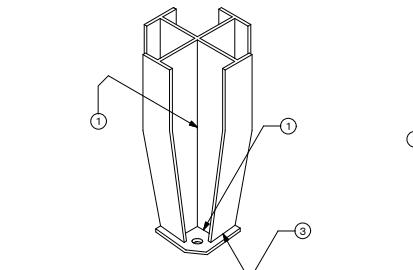
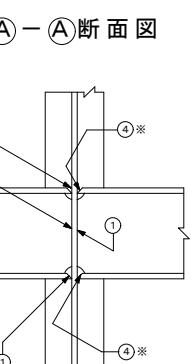
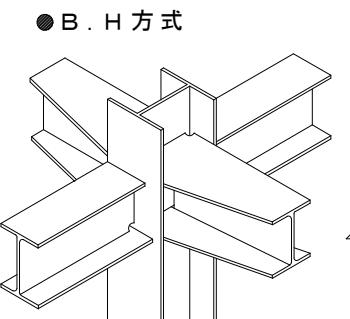
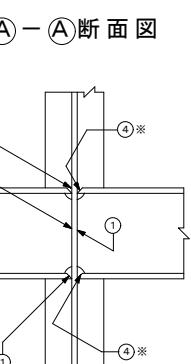
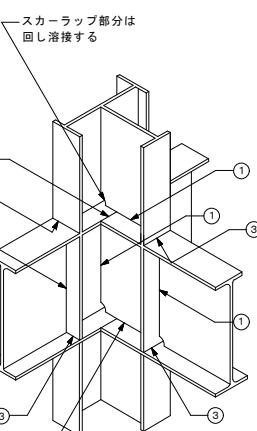
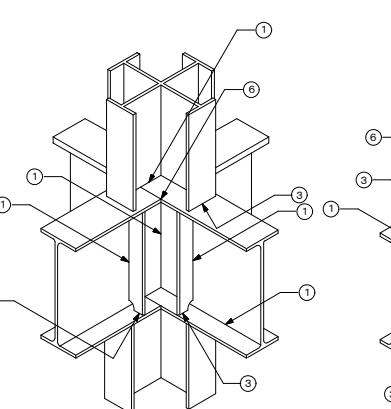


平面詳細

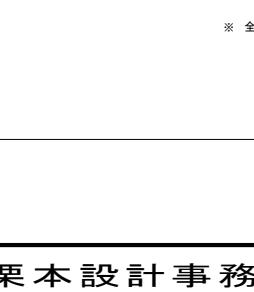
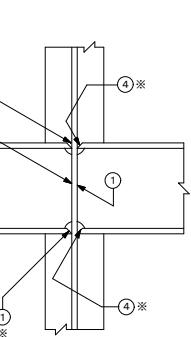
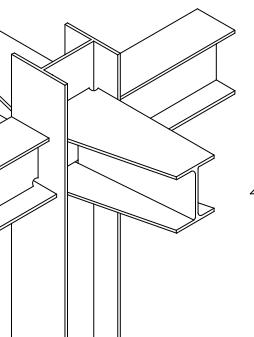
● 柱が途中で折れる場合 及梁成が異なる場合



● H、H、H型



● B.H方式



平面詳細

※ 全周すみ肉溶接又は突合せ(裏あて金付)

記事

工事名称

鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事

作図

査図

令和7年
10月日

図面No.

S-02

縮尺

(株)栗本設計事務所

〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25

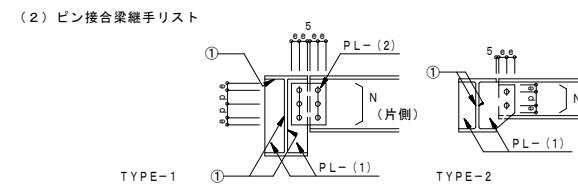
一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878

鉄骨構造標準図(2)

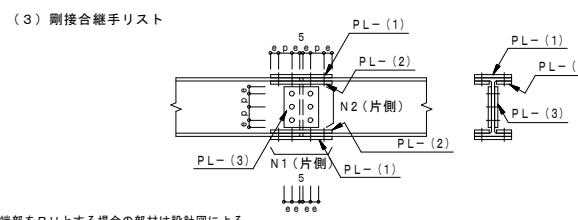
3. 継手規準図、その他

(1) ボルトピッチ (P)、ボルト穴径・最小縫端距離 (mm)						
呼び	ボルト穴径	最小縫端距離 (e)	(2)(3)の標準	ピッチ (P)	最小	標準
M16	18.0	40	28	22	40	60
M20	22.0	50	34	26	50	60
M22	24.0	55	38	28	40	55
M24	26.0	60	44	30	45	60

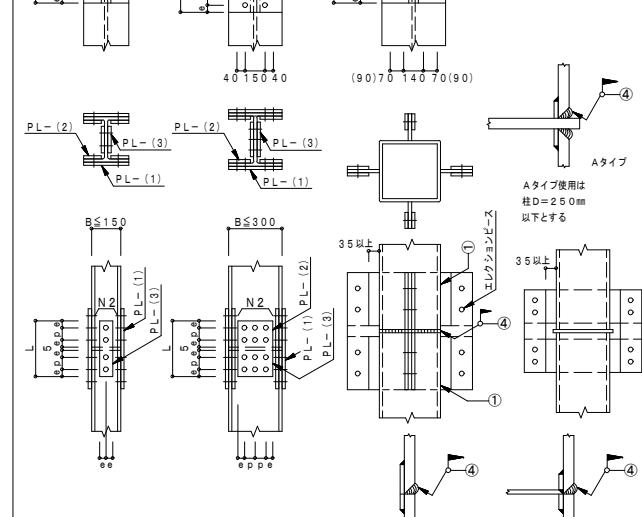
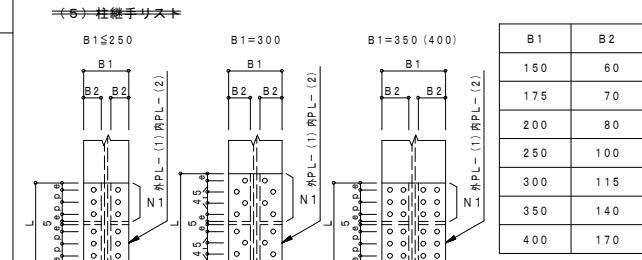
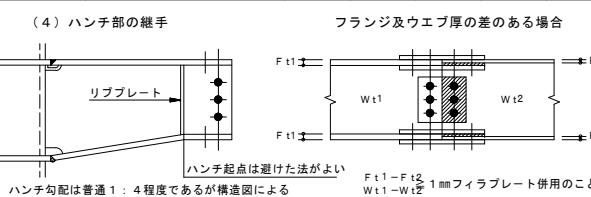
(注) (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縫端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縫端距離
 (3) 压延線・自動ガス切断線・のこぎり線・機械仕上線の場合の縫端距離



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
部材リストによる					



符号	部材	フランジ			ウエブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
部材リストによる						



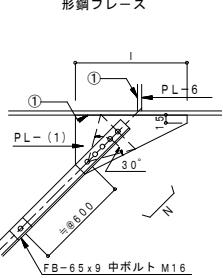
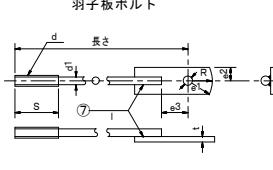
符号	部材	PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
部材リストによる						

ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	
軸径 d1	最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
調整ねじの長さ S	100	115	125	140	150	165	175	
取付ボルト穴径 R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5	
はしあき (最小) (2) e1	35	40	45	50	50	55	50	
切板製	へりあき (最小) (2) e2	22	28	28	34	38	38	
板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9	
平鋼製	へりあき (最小) (2) e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	
板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9	
ボルト端から取付ボルト穴心のあき (最小) e3	47	52	59	66	66	73	70	
溶接長さ (最小) l	40	50	55	60	75	85	85	
(2) 取付ボルト								
ねじの呼び	M12	M14	M16	M20	M22	M24		
本 数	1	1	1	1	1	1	2	

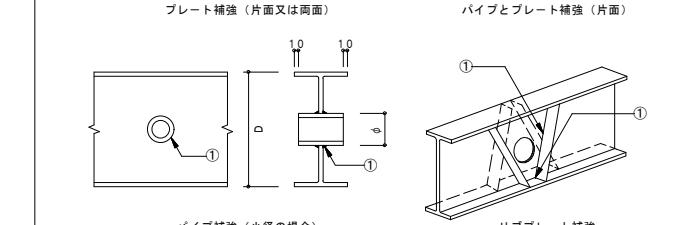
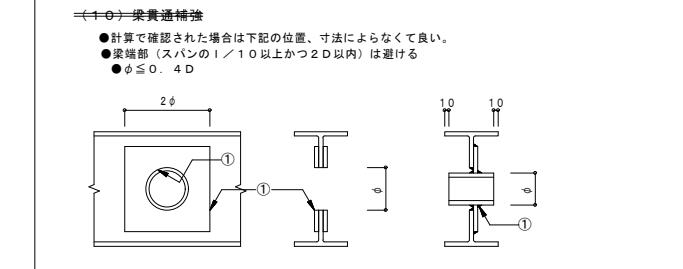
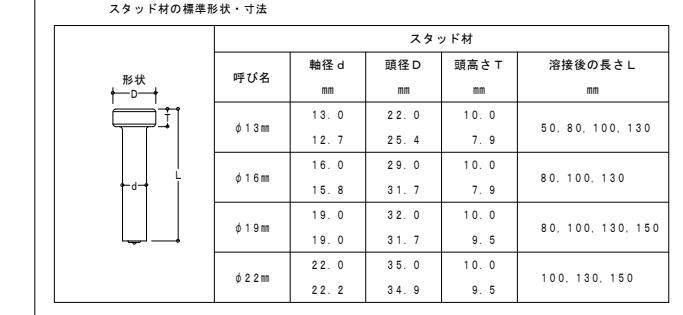
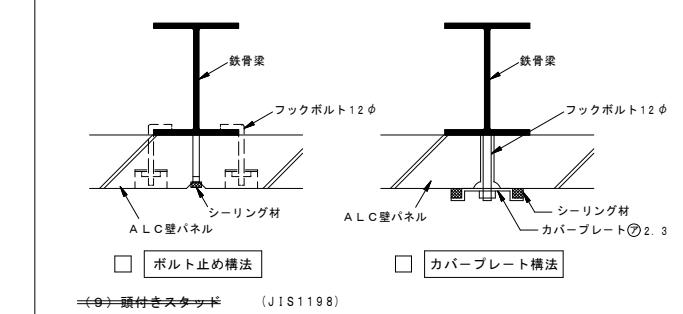
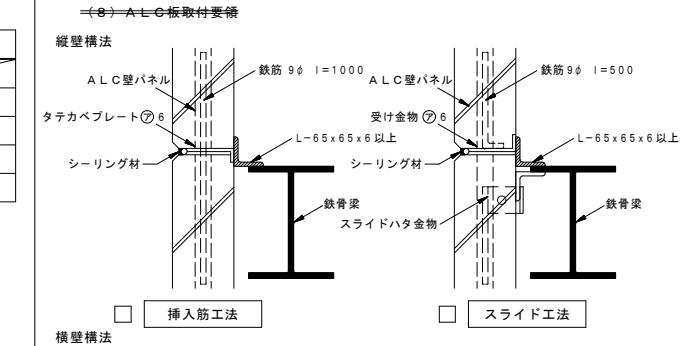
(注) (1) e1, e2が確保されていれば形状は自由でよい
 (2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支持)接合とする

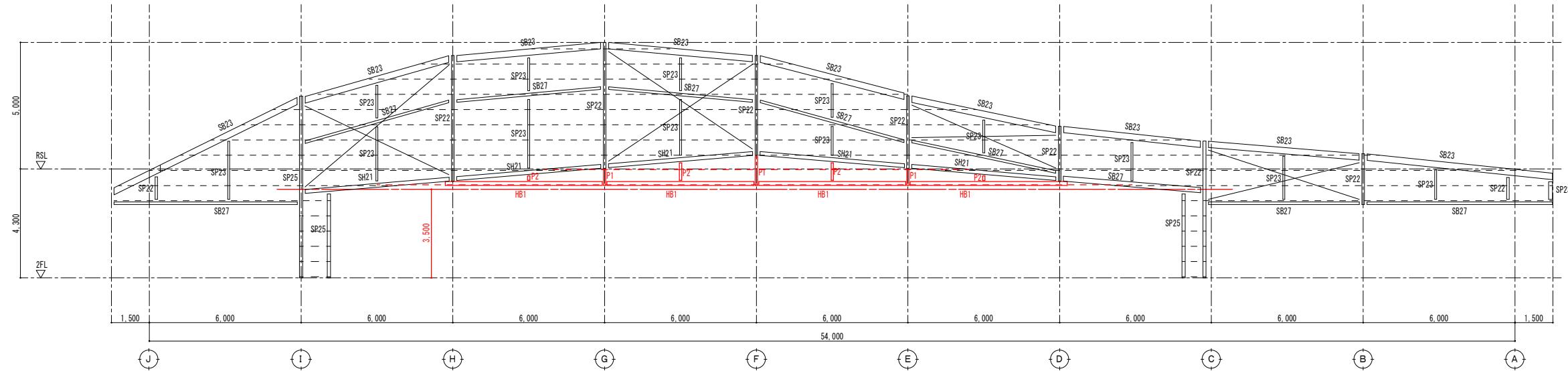
(b) 形鋼プレース

符 号	部 材	PL-(1)	N-径	I
部材リストによる				

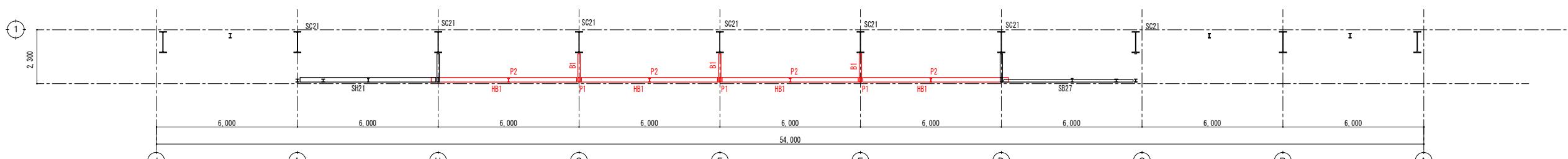


(c) ALC板取付要領

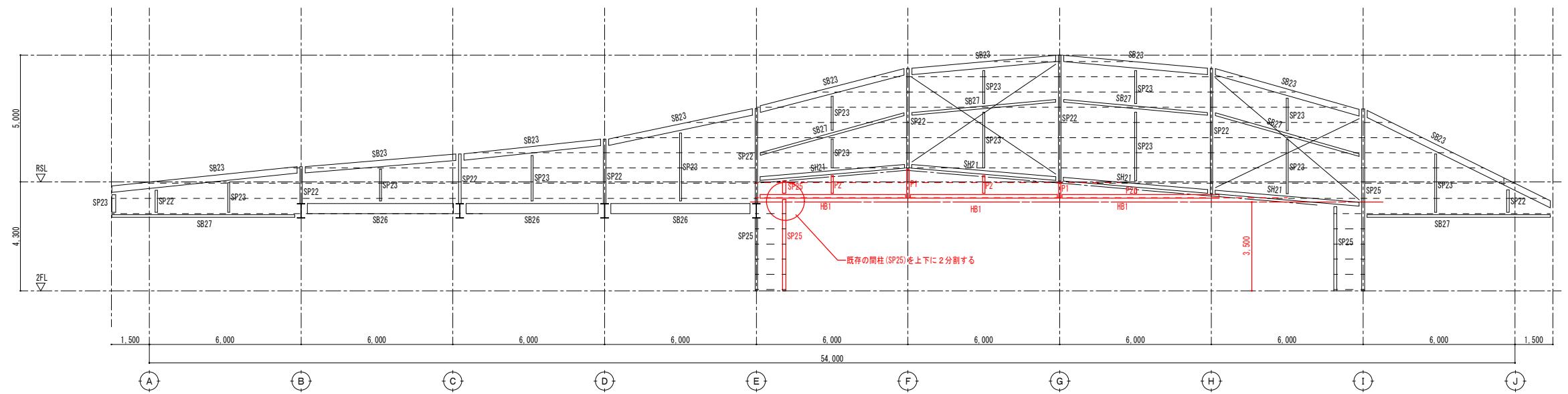




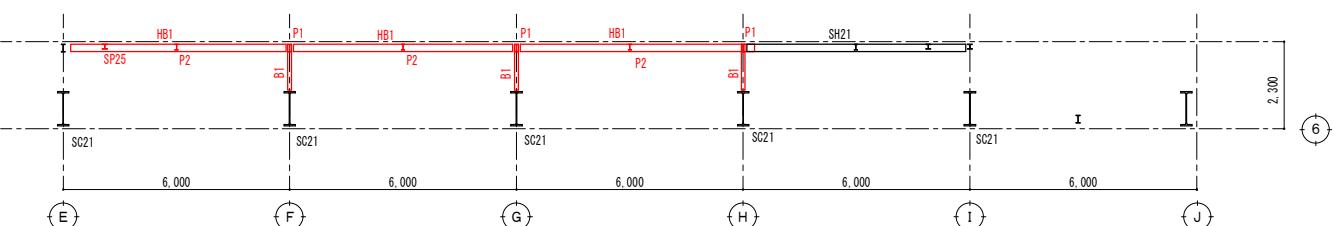
① -2,300 通り軸組図 S=1/100



① -2,300通りカーテンウォール受梁伏図 S=1/100

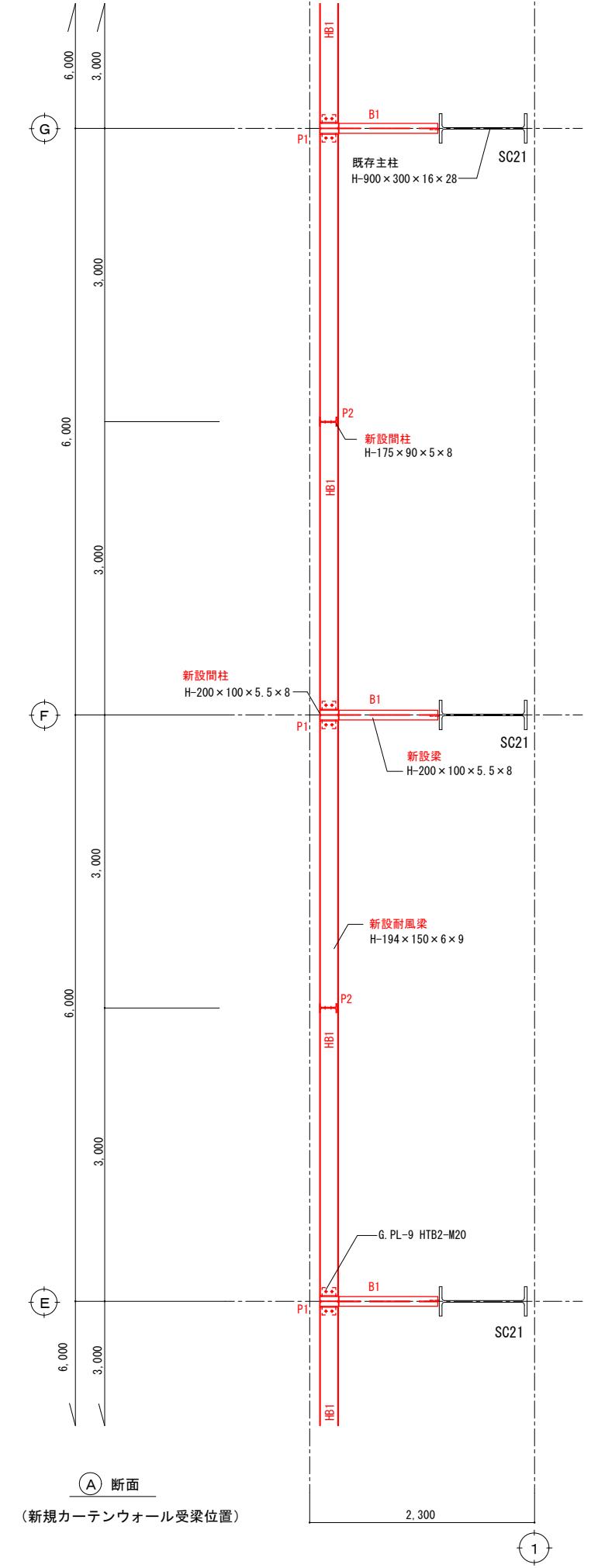
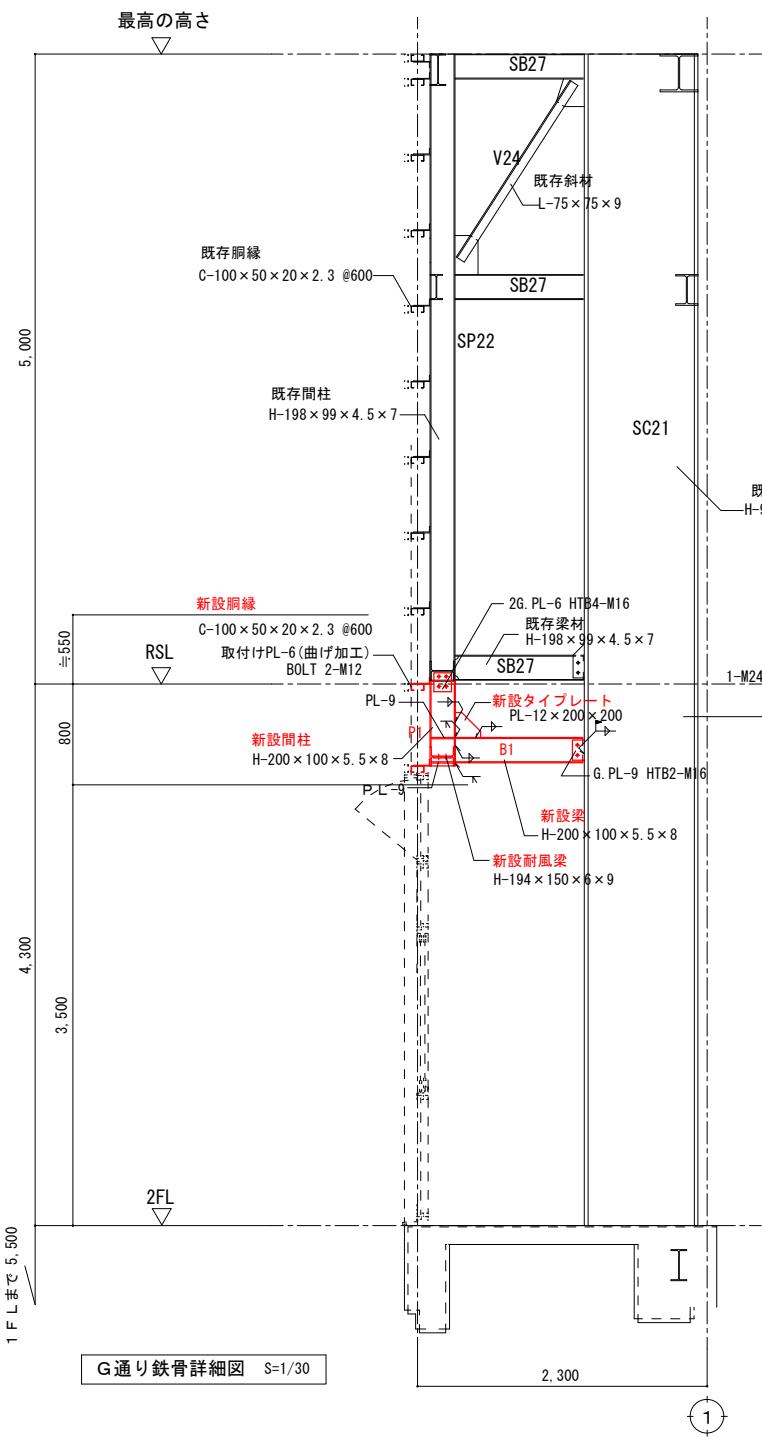
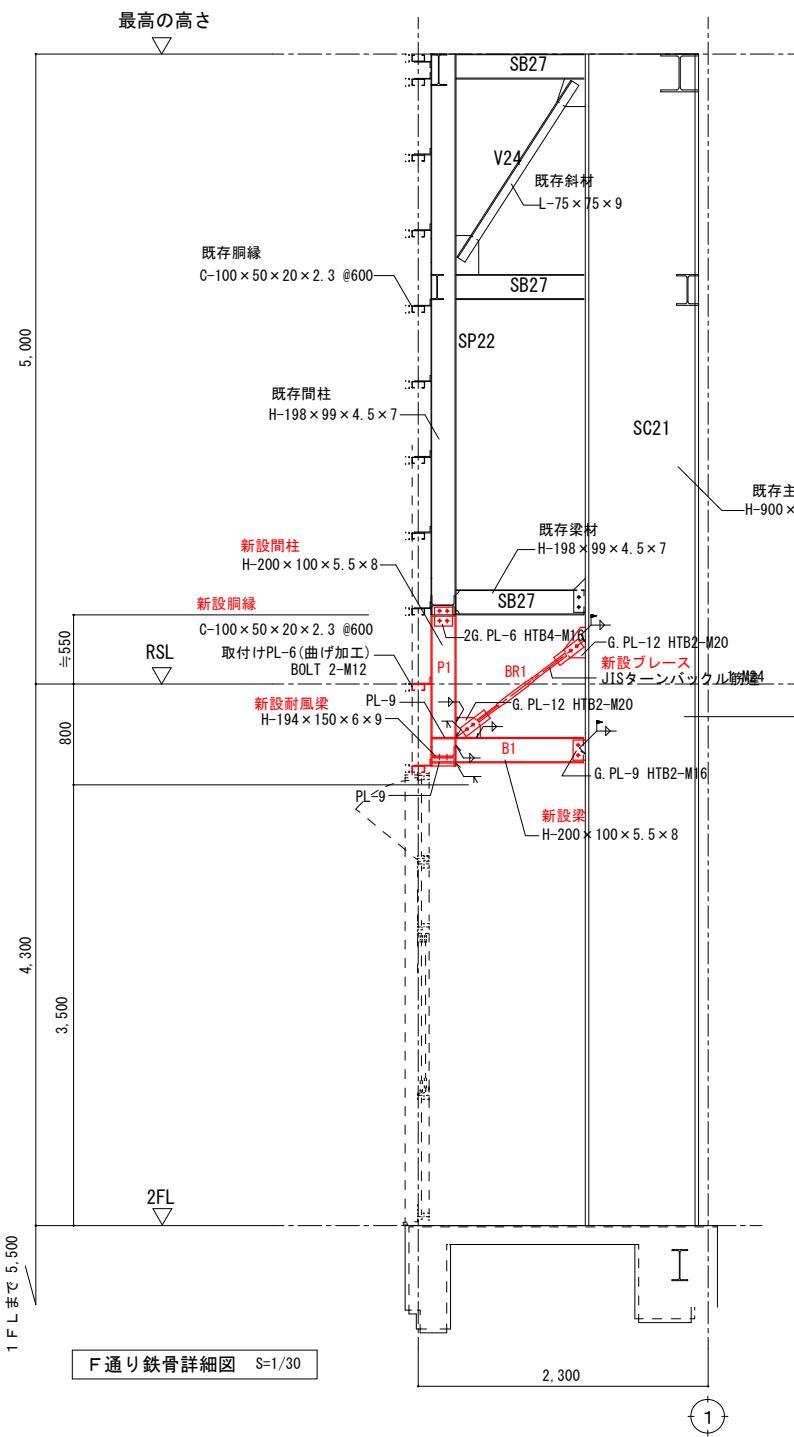


⑥ +2,300 通り軸組図 S=1/100

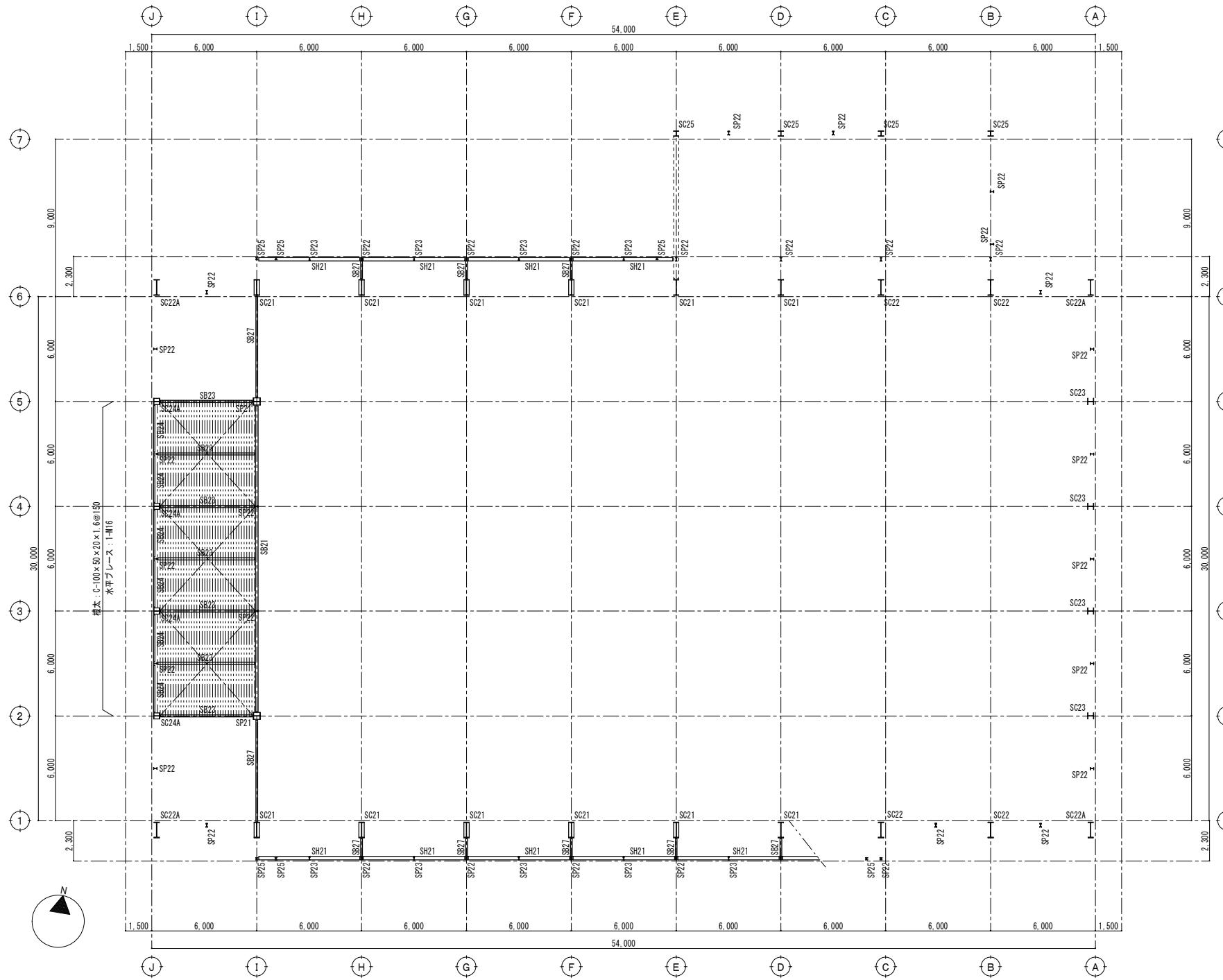


⑥ +2,300通りカーテンウォール受梁伏図 S=1/100

記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No.	縮 尺	(株)栗本設計事務所	
								A1 S=1/100 A3 S=1/200	
	図面	梁伏図 軸組図				S-04		〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878	

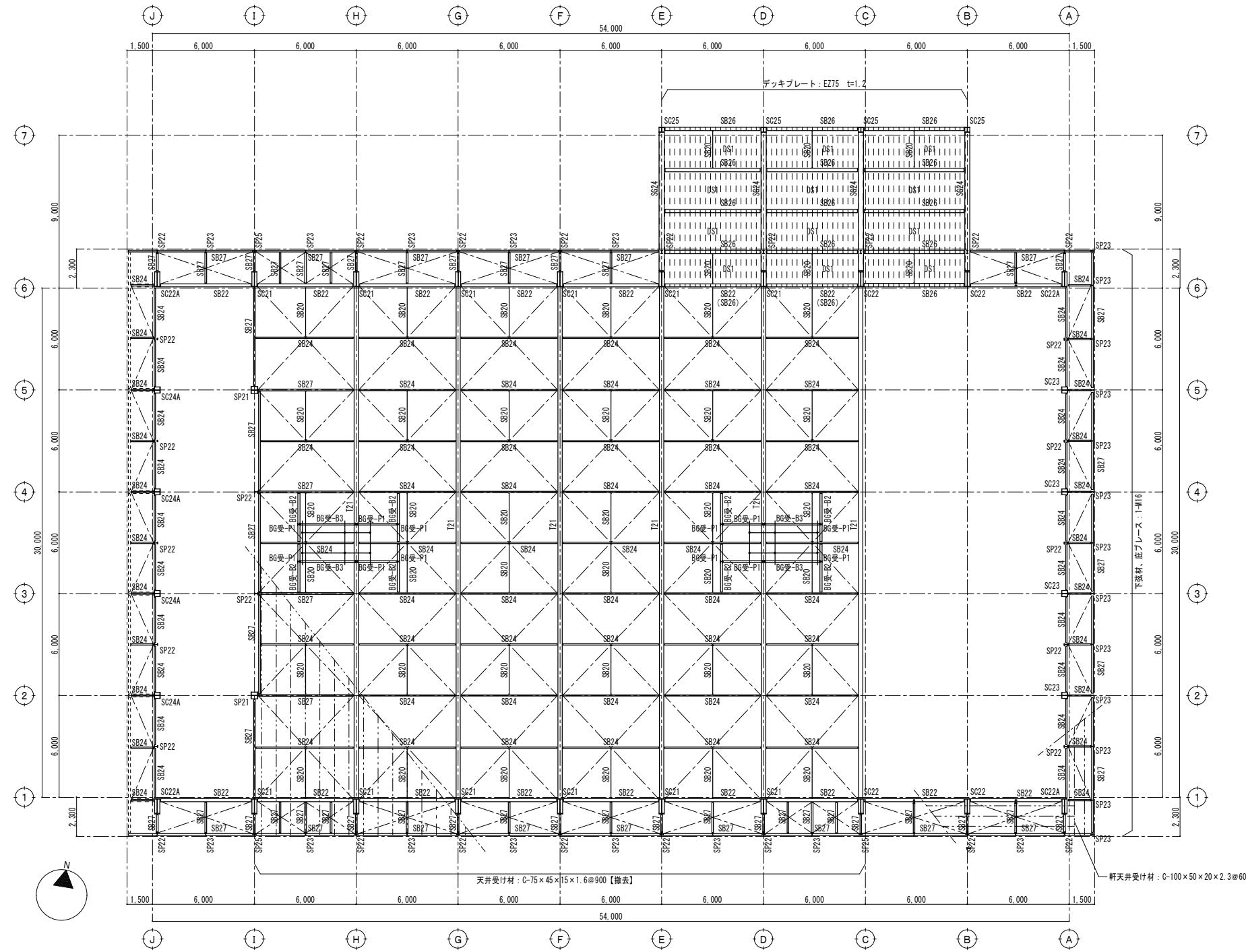


鉄骨部材リスト HTB: S10T, F10T (中ボルト)																
既存部材																
符号	部材			フランジ面		ウェブ面		符号	部材			フランジ面		ウェブ面		
	接合	サイズ	使用材料	外プレート	内プレート	H. T. B	プレート		接合	サイズ	使用材料	外プレート	内プレート	H. T. B	プレート	H. T. B (BOLT)
SB23	剛 ピン	H-250x125x6x9	SS400	PL-9	2PLs-9	4-M16	2PLs-6x160 GPL-6	2-M16 2-M20	HB1	ピン	H-194x150x6x9	SS400			GPL-9	2-M20
SB26	剛 ピン	H-400x200x8x13	SS400	PL-9	2PLs-9	6-M20	2PLs-9x170 GPL-9	4-M20 4-M20	B1	剛 ピン	H-200x100x5.5x8	SS400			GPL-9	2-M16
SB27	ピン	H-198x99x4.5x7	SS400				GPL-6	2-M16	P1		H-200x100x5.5x8	SS400			2GPL-6	4-M16
SH21	ピン	H-194x150x6x9	SS400				GPL-6	2-M20	P2		H-175x90x5x8	SS400			GPL-6	2-M16
									SP25		H-125x125x6.5x9	SS400			GPL-9	2-M16
SP22		H-198x99x4.5x7	SS400				GPL-6	2-M16							GPL-12	2-M20
SP23		H-150x75x5x7	SS400				GPL-6	2-M16	BR1		1-M24 (JISターンバックル筋達)	SS400			GPL-6 (曲げ加工)	(2-M12)
SP25		H-125x125x6.5x9	SS400				GPL-9	2-M16	胴縁		2C-100x50x20x2.3 @600	SS400				
胴縁		2C-100x50x20x2.3 @600	SS400				曲げPL-6	(2-M12)								



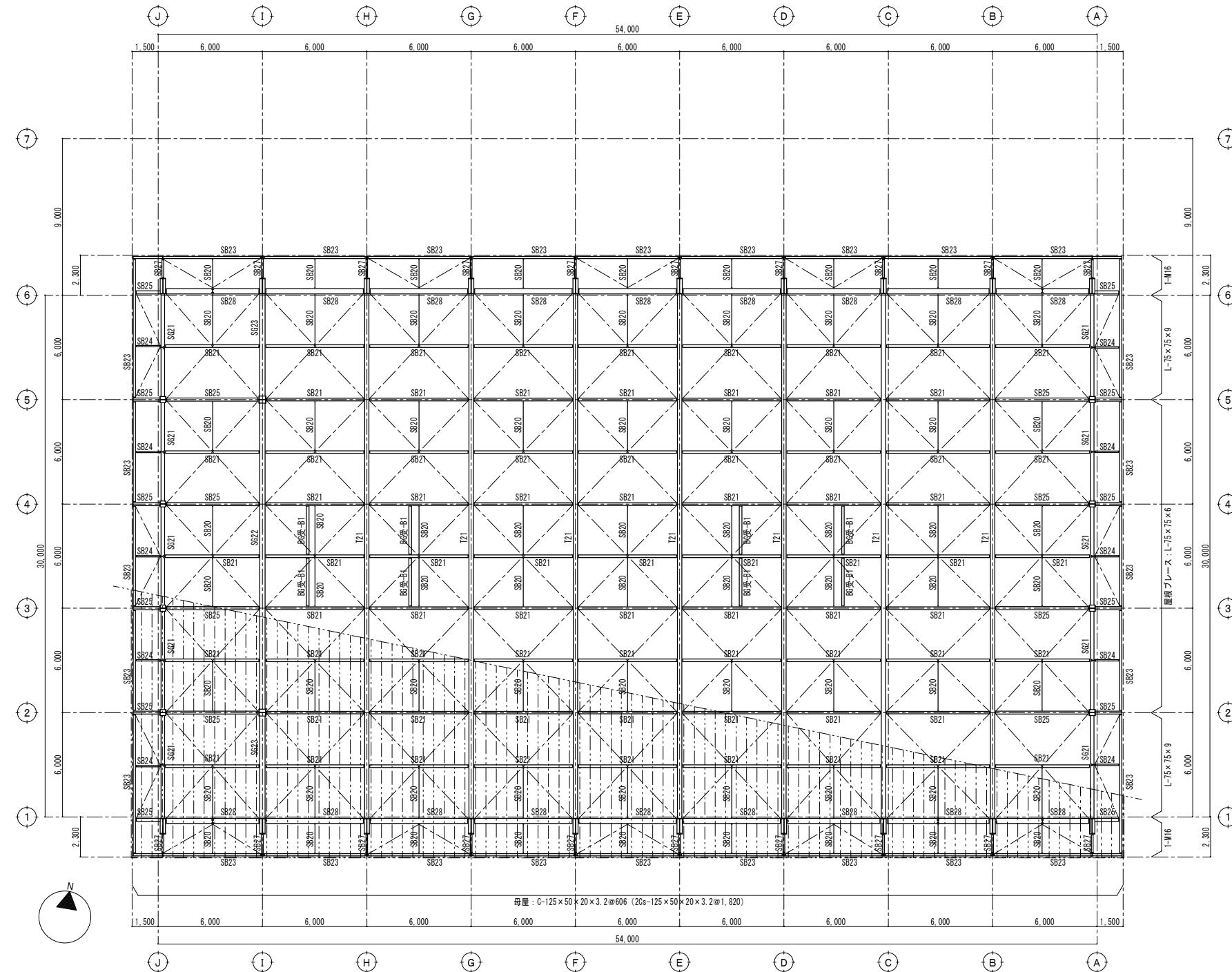
既存カーテンウォール受け梁レベル伏図 S=1/150 (参考図)

記事	工事名称	作図	査図	令和7年 10月日	図面No.	縮尺	(株)栗本設計事務所	
	図面						S-06	A1 S=1/150 A3 S=1/300
	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事						〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25	一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
	既存カーテンウォール受け梁レベル伏図 (参考図)							



既存トラス梁下弦材レベル伏図 S=1/150 (参考図)

記事	工事名称	作図	査図	令和7年 10月日	図面No.	縮尺	(株)栗本設計事務所
	図面						
	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事				S-07	A1 S=1/150 A3 S=1/300	〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
	既存トラス梁下弦材レベル伏図 (参考図)						

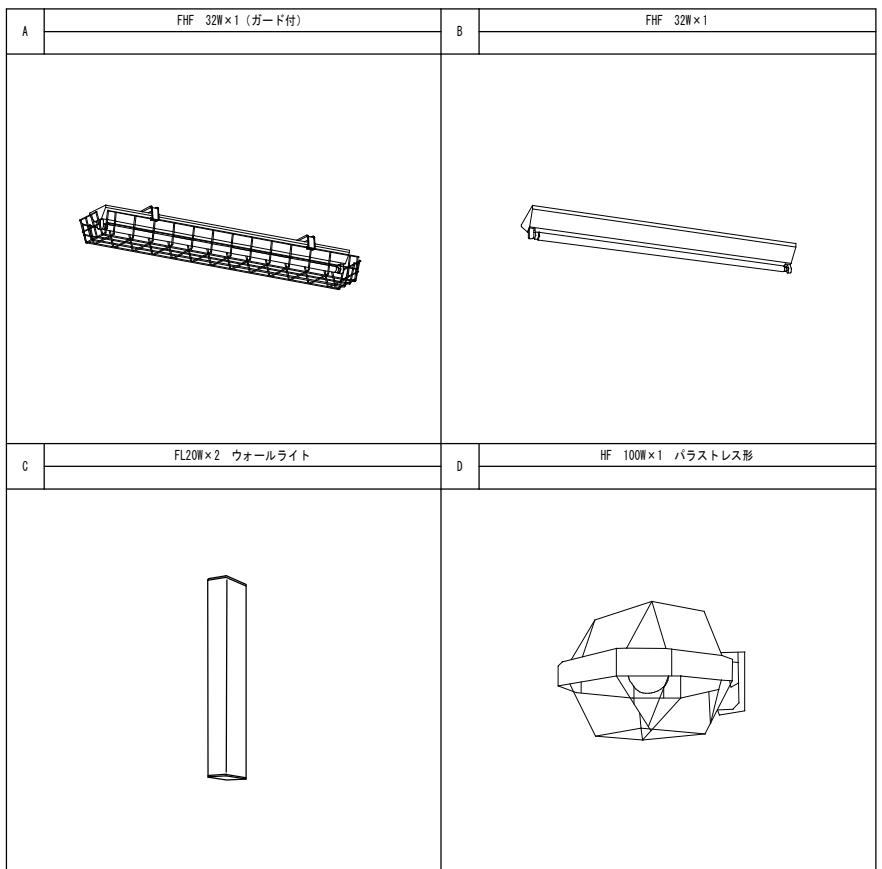


既存トラス梁上弦材レベル伏図 S=1/150 (参考)

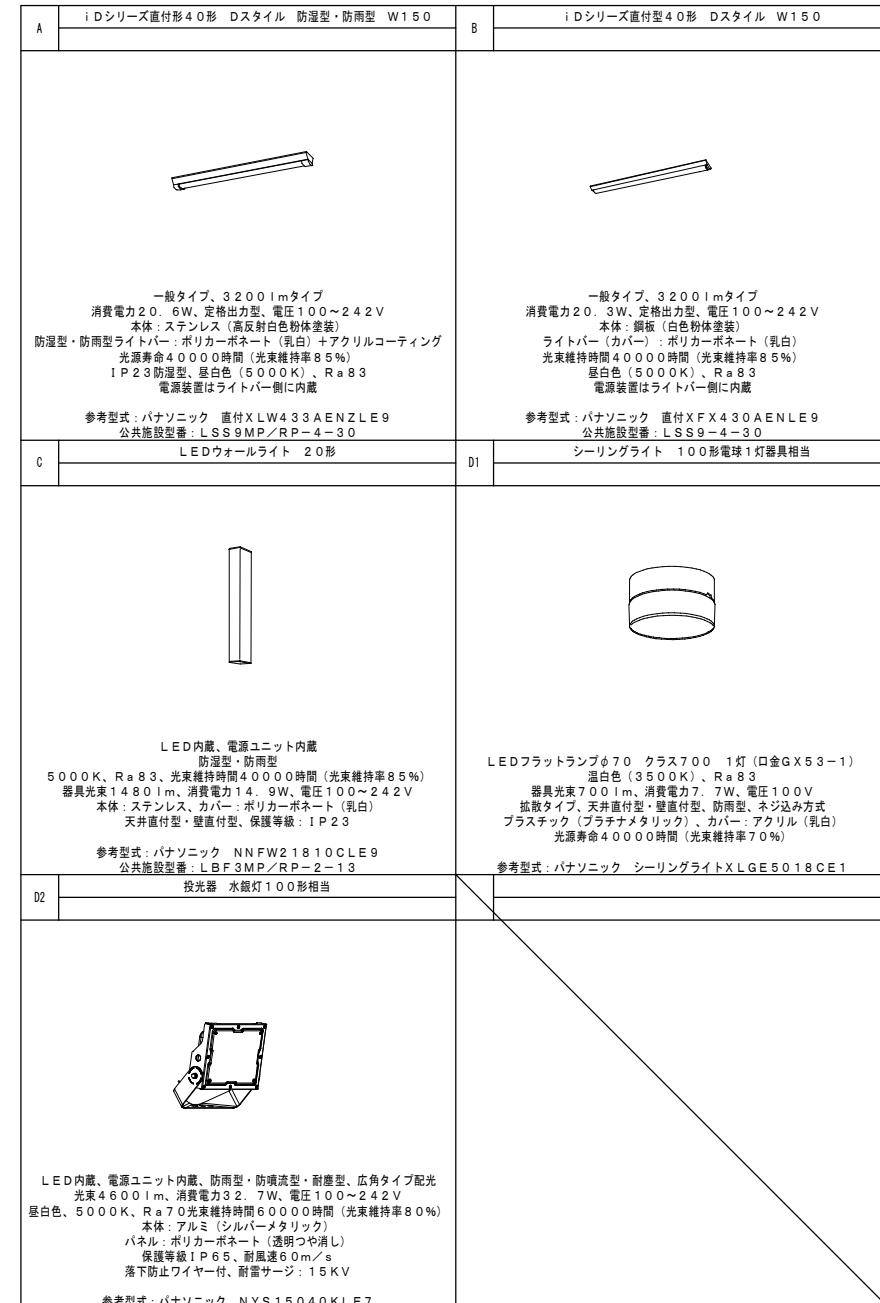
使用材料		SS400、SSC400 HTB : S10T、F10T (中ボルト)					
符 号	部 材	フランジ面			ウェブ面		備 考
		外プレート	内プレート	H. T. B	プレート	H. T. B	
SG21	剛	H-596×199×10×15	PL-12	2PLs-12	8-M20	2PLs-9×520	7-M22
SG22	剛	H-800×300×14×26	PL-19	2PLs-19	10-M24 (チドリ)	2PLs-9×660	7-M24
SG23	剛	H-582×300×12×17	PL-12	2PLs-12	8-M24 (チドリ)	2PLs-9×450	6-M22
SG24	剛	H-582×300×12×17	PL-12	2PLs-12	8-M24 (チドリ)	2PLs-9×450	6-M22
T21	上下弦材	剛	H-250×250×9×14	PL-9	2PLs-9	6-M20	4-M20 (ダブル)
	ラチス材	ピン	2P s-200×70×7×10			GPL-19	10-M20 (ダブル)
SB20	ピン	φ-75×40×5×7				GPL-9	2-M12 (中ボルト)
SB21	ピン	H-300×150×6.5×9				GPL-6	3-M20
SB22	剛 ピン	H-244×174×7×11	PL-9	2PLs-9	4-M20	2PLs-6×170 GPL-9	2-M20 2-M20
SB23	剛 ピン	H-250×125×6×9	PL-9	2PLs-9	4-M16	2PLs-6×160 GPL-6	2-M16 2-M20
SB24	ピン	H-150×75×5×7				GPL-6	2-M16
SB25	剛 ピン	H-244×174×7×11	PL-9	2PLs-9	4-M20	2PLs-6×170 GPL-9	2-M20 2-M20
SB26	剛 ピン	H-400×200×8×13	PL-9	2PLs-9	6-M20	2PLs-9×170 GPL-9	4-M20 4-M20
SB27	ピン	H-198×99×4.5×7				GPL-6	2-M16
SB28	ピン	H-300×300×10×15				GPL-19	4-M22
SH21	ピン	H-194×150×6×9				GPL-6	2-M20
V21	ピン	φ-267.4×6.0				2PLs-12 GPL-16	8-M20
V22	ピン	φ-165.2×5.0				2PLs-12 GPL-9	3-M20
V23	ピン	L-75×75×6				GPL-9	5-M20
V24	ピン	L-75×75×9				GPL-9	3-M20
屋根プレース	ピン	L-75×75×9				GPL-9	3-M20
屋根プレース	ピン	L-75×75×6				GPL-9	3-M20
庇プレース	ピン	1-M16 (ターンパックル付)				GPL-9	1-M16
胴 縁	ピン	C-100×50×20×2.3@600				受けビース 曲げPL-6	2-M12 (中ボルト)
母 屋	ピン	C-125×50×20×3.2@606				受けビース L-90×90×7	2-M12 (中ボルト)
根 太	ピン	C-100×50×20×1.6@150				受けビース L-90×90×7	2-M12 (中ボルト)
天井受け	ピン	C-75×45×15×1.6@900				受けビース L-90×90×7	2-M12 (中ボルト)
軒天井受け	ピン	C-100×50×20×2.3@600				受けビース L-90×90×7	2-M16
方 杖	ピン	2L s-65×65×6				GPL-6	2-M16

記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図 図面	令和 7 年 10 月 日	図面 No.	縮 尺	(株)栗本設計事務所	〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25
	図面	既存鉄骨部材リスト(参考図)			S-09		一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎	TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878

鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事 (特記仕様書)		○特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理		○フロアプレート		○地盤の種別	
I. 工事概要		○再資源化等をする施設の名称住所 (km)		○鋼合金製		記 号	
1. 工事場所		○する ○しない		○アルミ製		接地抵抗値	
山形県鶴岡市大岩川字黒岩35		km		○水平調整付プレート (空転防止リング付) とする。		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
2. 建物概要		○する ○しない		○アルミ製		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
建物名称		建築基準法上の面積		○樹脂製		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
構 造		地上 階数		○電線器具の蓋		表 2 「接地一覧表」	
屋内運動場		塔屋		別表第1の区分		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
SRC造		2F		床面積 (m ²)		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
屋内運動場		2547.74		床面積 (m ²)		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
7 項		備考		● 電源周波数		表 2 「接地一覧表」	
4. 工事種目 (印の付いたものを使用する。)		○特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理		○50Hz		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
建物別及び工事種別		工事種別		備考		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
工事種目 (印の付いたものを使用する。)		屋内運動場		○特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
□ 采 光 灯 設 備		○		○		表 2 「接地一覧表」	
□ 電 気 設 備		○		○		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
□ 電 气 設 備		○		○		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
□ 换 气 設 備		○		○		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
■ 换 气 (非止・換気灯付) 設 備		改修一式		○		表 2 「接地一覧表」	
□ コンセント 設 備		○		○		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
□ 発 电 設 備		○		○		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
□ 换 气 設 備		○		○		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
■ 换 气 (非止・換気灯付) 設 備		改修一式		○		表 2 「接地一覧表」	
□ 非 常 放 送 設 備		○		○		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
□ 電 脳 放 送 設 備		○		○		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
□ 换 气 設 備		○		○		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
■ 换 气 (非止・換気灯付) 設 備		改修一式		○		表 2 「接地一覧表」	
□ 電 脳 放 送 設 備		○		○		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
□ 電 脳 放 送 設 備		○		○		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
□ 電 脳 放 送 設 備		○		○		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		表 2 「接地一覧表」	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		表 2 「接地一覧表」	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		表 2 「接地一覧表」	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		表 2 「接地一覧表」	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		表 2 「接地一覧表」	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		表 2 「接地一覧表」	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		接地棒の種別は下記を標準とし、EBの長さは1, 500mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		ただし、D=1は1, 000mm, W=3は1, 200mmとする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		装着器具及び屋外灯用接地棒の理設標準は不要とする。	
□ 橋 内 計 算 設 備		○		○		表 2 「接地一覧表」	
□ 橋 内							

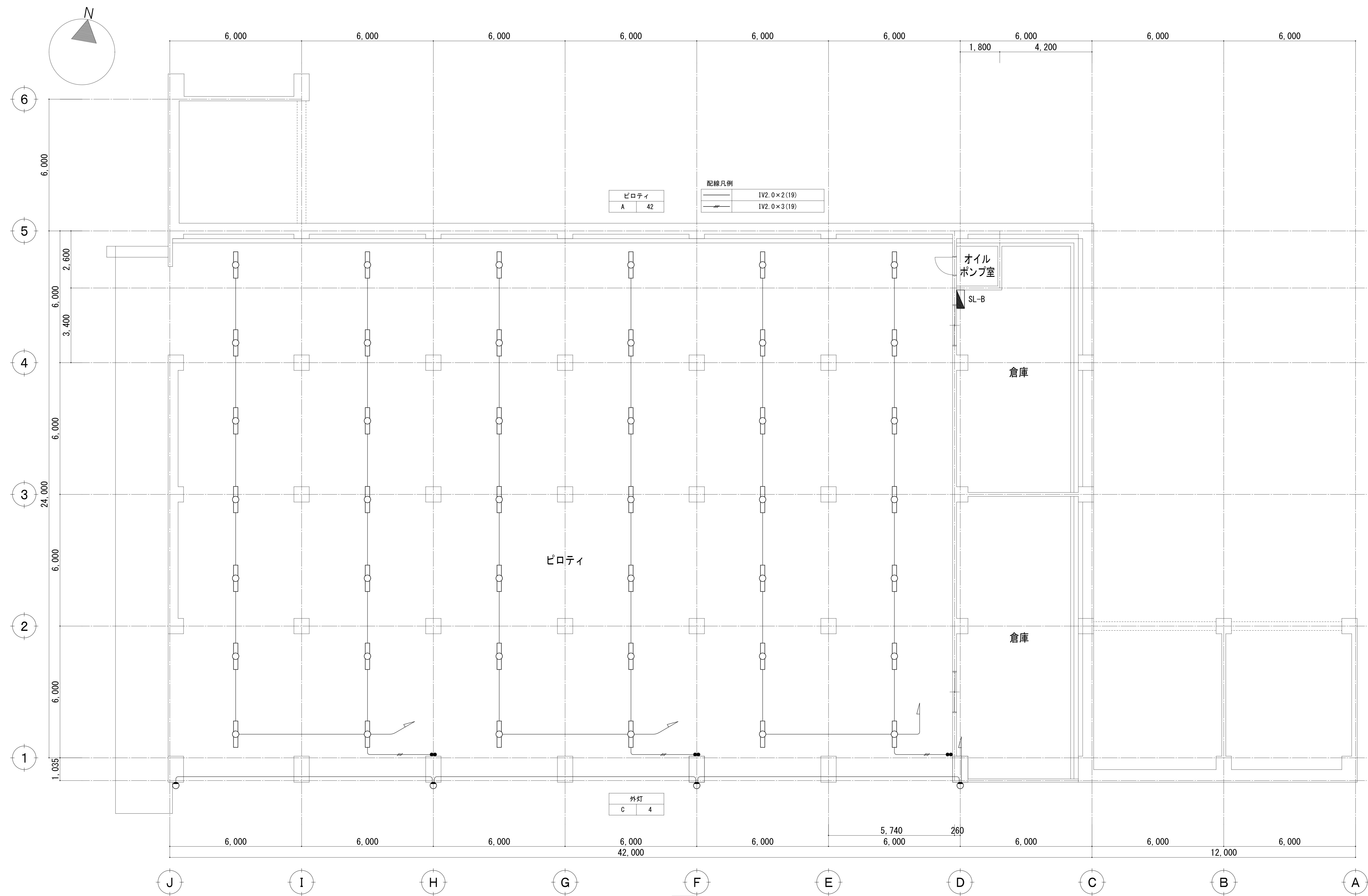


改修前



改修後

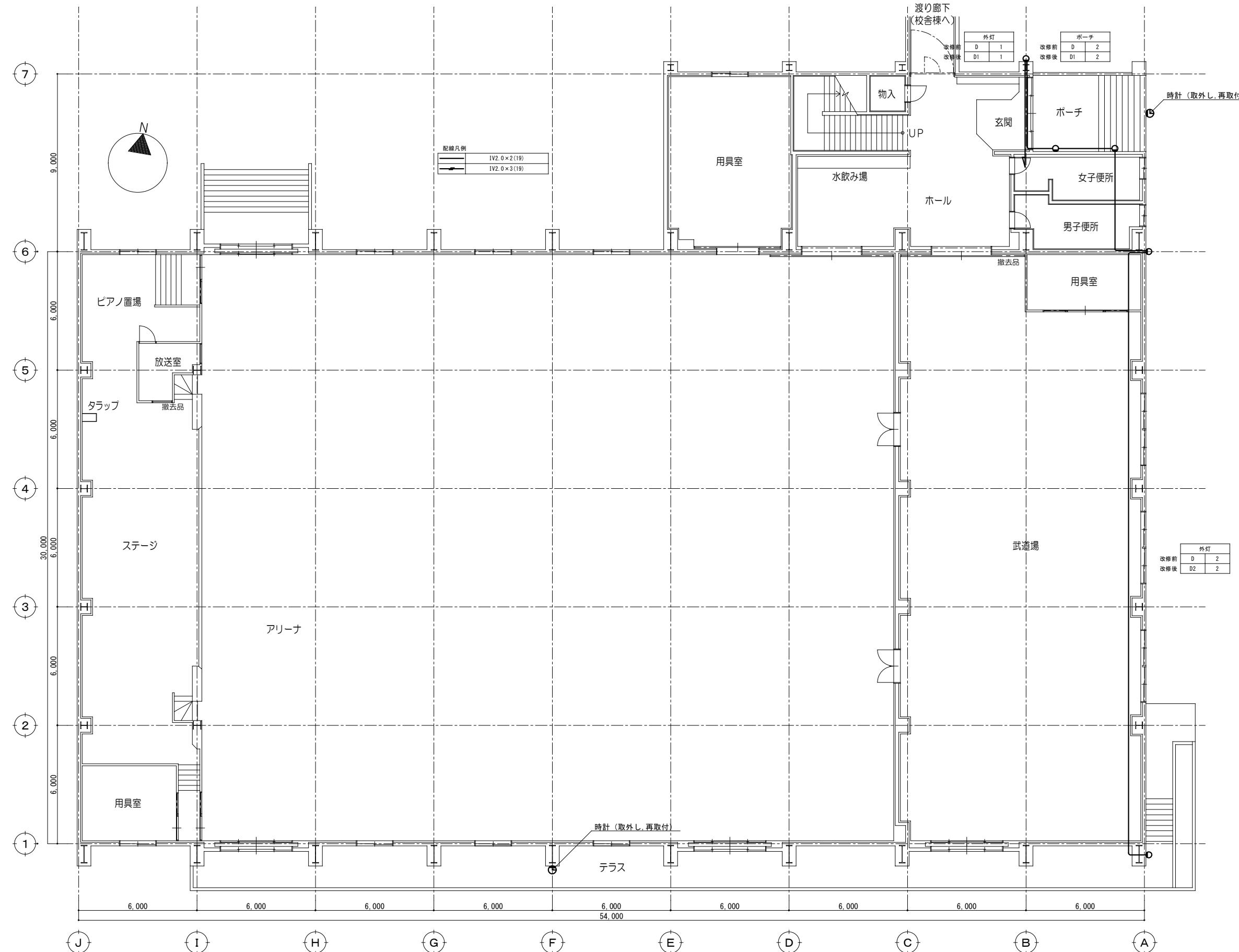
記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No. E-02	縮 尺 A1 S=N/S A3 S=N/S	(株)栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
図面	照明器具姿図 (改修前・改修後)							



注記

1. 原則、照明器具機器のみ更新とし、既設配管配線は改修対象外とする。

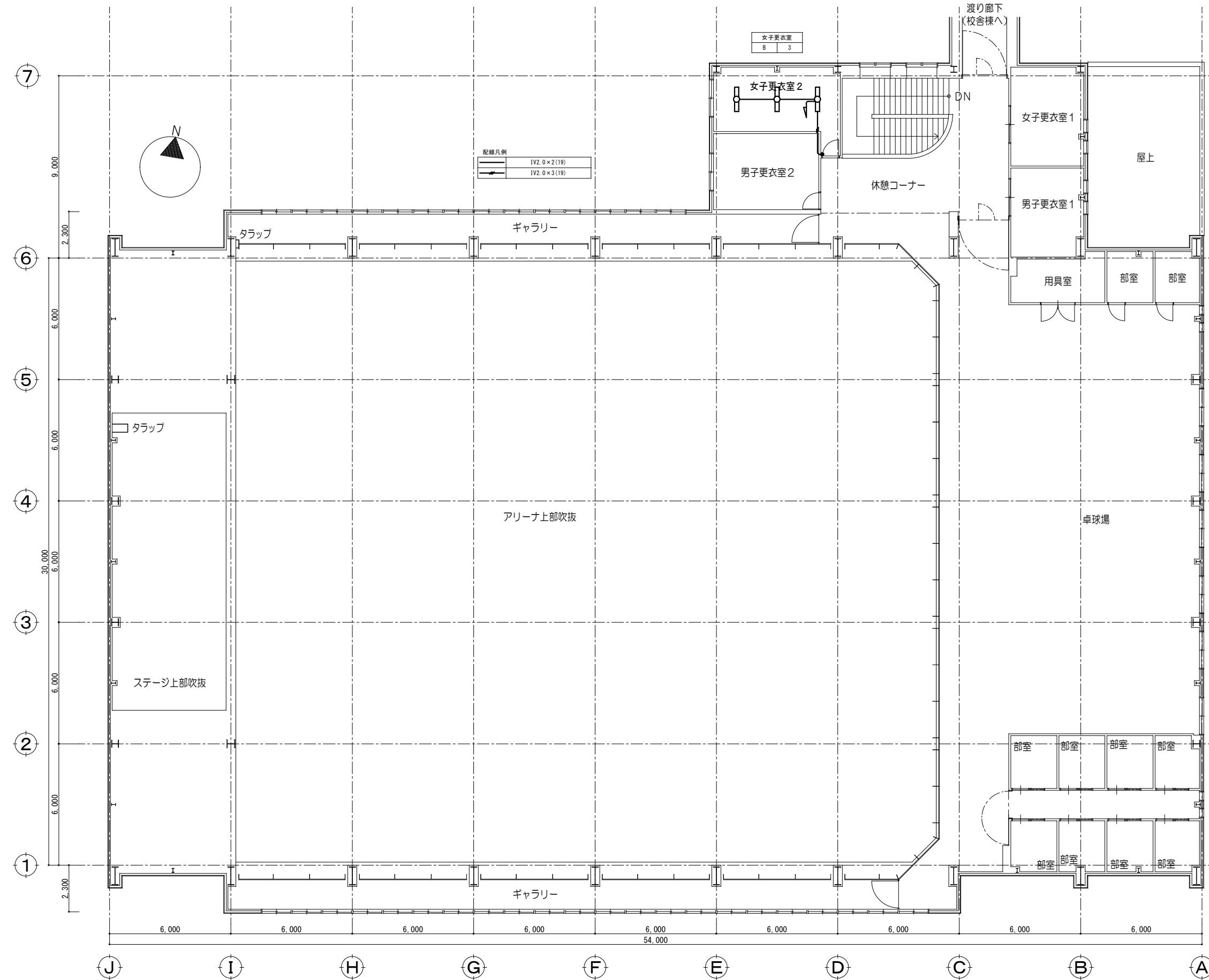
記事	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	図面No.	縮尺	株式会社 設計事務所	
						〒970-28 山形県鶴岡市上町5-25	
		令和7年		E-03	A1 1/100	10月 日	
					A3 1/200		一級建築士事務所第2098号 一級建築士第3642号 神木 健太郎 E-03-223-37-FX035-5388



注記

1. 原則、照明器具機器のみ更新とし、既設配管配線は改修対象外とする

記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和 7 年 10 月 日	図面 No. E-04	縮 尺 A1 S=1/100 A3 S=1/200	(株) 栗本設計事務所 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878
	図面	照明設備 1階 平面図						



注記

1. 原則、照明器具機器のみ更新とし、既設配管配線は改修対象外とする。

記事	工事名称	鶴岡市立温海中学校屋内運動場大規模改修工事	作図	査図	令和7年 10月 日	図面 No.	縮尺	(株)栗本設計事務所	
	図面							E-05	A1 S=1/100 A3 S=1/200
		照明設備 2階 平面図						〒997-0028 山形県鶴岡市山王町5-25 一級建築士事務所第2098号 一級建築士第326422号 栗本 健太郎 TEL 0235-22-8837 FAX 0235-25-8878	